

(19) 日本国特許庁(JP)

(12) 公開特許公報(A)

(11) 特許出願公開番号

特開2005-306871

(P2005-306871A)

(43) 公開日 平成17年11月4日(2005.11.4)

(51) Int. Cl. ⁷	F I	テーマコード (参考)
A 6 1 K 7/00	A 6 1 K 7/00	4 C 0 8 3
A 6 1 K 7/48	A 6 1 K 7/48	

審査請求 有 請求項の数 18 O L 外国語出願 (全 116 頁)

(21) 出願番号	特願2005-120359 (P2005-120359)	(71) 出願人	391023932 ロレアル
(22) 出願日	平成17年4月18日 (2005. 4. 18)		
(31) 優先権主張番号	0404125	(74) 代理人	フランス国パリ, リュ ロワイヤル 1 4 100064908
(32) 優先日	平成16年4月19日 (2004. 4. 19)		弁理士 志賀 正武
(33) 優先権主張国	フランス (FR)	(74) 代理人	100089037 弁理士 渡邊 隆
		(74) 代理人	100108453 弁理士 村山 靖彦
		(74) 代理人	100110364 弁理士 実広 信哉
		(72) 発明者	ジャン-イヴ・レジェンドル フランス・75015・パリ・リュ・ドゥ ・ラ・コンヴェンション・199・ビス

最終頁に続く

(54) 【発明の名称】 化粧品の処方用キット

(57) 【要約】

【課題】 多少増粘された、または活性物質において多少濃縮された、または特別な色または香りを有する組成物を利用可能に提供する。

【解決手段】 本発明は、(1)少なくとも1種の脂肪性物質を含有する水性組成物および(2)水性組成物を変性し得る少なくとも1種の化合物を含有する少なくとも1つの水溶性無水フィルムを含む化粧品であって、水性組成物とフィルムは即時に混合されて化粧品の形成する、化粧品の処方キットに関する。本発明はまた、i)水性組成物；ii)少なくとも1つの第1の水溶性無水フィルム；およびiii)少なくとも1つの第2の水溶性無水フィルムを含み、前記第2のフィルムは、それが含有している少なくとも1種の化合物の濃度および/または性質に関して第1のフィルムと異なる、化粧品の処方用キットに関する。無水フィルムおよび水性組成物は、特に皮膚、粘膜、外皮または毛髪のためのメイキャップまたはケア製品であり得る製品を形成するために即時に混合されることが意図される。

【選択図】 なし

【特許請求の範囲】

【請求項1】

(1)少なくとも1種の脂肪性物質を含有する水性組成物および(2)水性組成物を変性し得る少なくとも1種の化合物を含有する少なくとも1つの水溶性無水フィルムを含む化粧品の処方用キット。

【請求項2】

i)水性組成物；および

ii)安定性のために即時にのみ前記組成物と混合することができ、化粧品を形成することができる少なくとも1種の化合物を含有する少なくとも1つの水溶性無水フィルムを含む化粧品の処方用キット。

10

【請求項3】

i)水性組成物；

ii)少なくとも1つの第1の水溶性無水フィルム；および

iii)少なくとも1つの第2の水溶性無水フィルムを含み、前記第2のフィルムは、それが含有している少なくとも1種の化合物の濃度および/または性質に関して第1のフィルムと異なる化粧品の処方用キット。

【請求項4】

i)水性組成物；

ii)化粧品を形成するために前記水性組成物と混合することを意図した複数の同一のまたは異なる水溶性無水フィルム、および

20

iii)前記組成物と混合される同一のまたは異なる水溶性無水フィルムの数の関数として前記化粧品をカスタム化処方するための使用説明書を含む化粧品のカスタム化された処方用キット。

【請求項5】

前記フィルムが、少なくとも1種の水溶性または水分散性ポリマーから形成されることを特徴とする請求項1から請求項4のいずれか一項に記載のキット。

【請求項6】

前記ポリマーが、蛋白質タイプのポリマー；キチンベースまたはキトサンベースのポリマー；多糖類ポリマー；アクリルポリマーまたはコポリマー；ビニルポリマー；天然由来のポリマー；およびそれらの混合物から選ばれることを特徴とする請求項1から請求項5のいずれか一項に記載のキット。

30

【請求項7】

前記フィルムが10~1000 μ m、好ましくは20~500 μ mの厚さを有することを特徴とする請求項1から請求項6のいずれか一項に記載のキット。

【請求項8】

前記フィルムが水を10%未満含有することを特徴とする請求項1から請求項7のいずれか一項に記載のキット。

【請求項9】

ポリマーの量が前記フィルムの全量に対して5~100%の範囲であることを特徴とする請求項5から請求項8のいずれか一項に記載のキット。

40

【請求項10】

前記フィルムが、1種または複数の可塑剤を含むことを特徴とする請求項1から請求項9のいずれか一項に記載のキット。

【請求項11】

前記水性組成物が、水の他に少なくとも1種の脂肪性物質を含むことを特徴とする請求項2から請求項10のいずれか一項に記載のキット。

【請求項12】

前記水性組成物が、お互いに分散された水相および油相を含む乳化物の形であることを特徴とする請求項1から請求項11のいずれか一項に記載のキット。

【請求項13】

50

前記フィルムが、化粧品用活性剤および処方助剤、およびそれらの混合物から選ばれることを特徴とする請求項1から請求項12のいずれか一項に記載のキット。

【請求項14】

前記水性組成物が、化粧品用活性剤および処方助剤、およびそれらの混合物から選ばれる1種または複数の化合物を含むことを特徴とする、請求項1から請求項13のいずれか一項に記載のキット。

【請求項15】

前記化合物が湿潤活性剤、抗脂漏活性剤、老化防止活性剤、抗微生物活性剤、抗炎症活性剤または鎮静活性剤、脂肪分解性またはスリム化活性剤、充填剤、日焼け防止剤、皮膚着色剤または毛髪着色剤、コンシーラー、制汗活性剤、消臭活性剤、毛髪トリートメント活性剤、除毛剤、顔料、染料、ポリマー、香料、電解質、pH調整剤および保存剤、およびそれらの混合物から選ばれることを特徴とする請求項13または14に記載のキット。

10

【請求項16】

少なくとも1つのフィルムが、外部刺激に対して感受性のある化合物、角質溶解剤、充填剤およびテンショニング剤、およびそれらの混合物から選ばれた少なくとも1種の化合物を含むことを特徴とする請求項1から請求項15のいずれか一項に記載のキット。

【請求項17】

a) 処方しようとする化粧品の少なくとも1つの特徴を決定する工程（前記特徴は、複数の同一の水溶性無水フィルム中と複数の互いに異なる水溶性無水フィルム中とのいずれかに存在する少なくとも1種の化合物に基づき、特にそれらが含有する少なくとも1種の化合物の濃度および/または性質に関する特徴である）、及び

20

b) 処方しようとする化粧品の前記の特徴に依存する数の、前記の同一のまたは異なるフィルムを水性組成物に加える工程からなる化粧品の処方方法。

【請求項18】

水性組成物のレオロジー、色、および/または香りの特性を変更できる1種または複数の化合物を含む1つ又は複数の水溶性無水フィルムを水性組成物に加えることからなる、化粧品を処方する目的のための前記水性組成物のレオロジー、色、および/または香りの特性を変更する方法。

【発明の詳細な説明】

30

【技術分野】

【0001】

本発明は、化粧品の処方用キット、さらに詳しくは、少なくとも1つの無水の薄いフィルムおよび水性組成物を含み、そのフィルムおよび水性組成物は、化粧品を形成するために即時に混合されることを意図されていて、その化粧品は、特に皮膚、粘膜、外皮または毛髪のメーキャップまたはケア製品であり得る、化粧品の処方用キットに関するものである。

【0002】

本発明はまた、皮膚、粘膜、外皮または毛髪の化粧品用処理のための本製品の化粧品用使用に関する。

40

【0003】

本発明は、キットを使用して製品を処方する方法に関するものである。

【背景技術】

【0004】

化粧品は、製品の提供形態、製品の活性または製品の何らかのその他の性質、例えば製品のおいまたは製品の色などのいずれかの点で役割を演ずる様々な化合物を含んでいる。したがって、例えば、活性剤の存在は、例えば皮膚の健康を維持するために、および/または皮膚の状態を改良するために製品の皮膚への効力に寄与し、粘性剤は製品のテクスチャーを調整し、色素は、与えられた色調をそれに付与する。さらに通常はこれらの製品は、多数の異なる化合物を含んでおり、それは製品を使用する前に一緒に混合されるため

50

に、様々な理由で望ましくないようなことが起こりうる。たとえば、化合物、特に活性剤は、互いに非相容性であるか、またはそれらを含む組成物の不安定性を引き起こす可能性がある。

【 0 0 0 5 】

さらに、ユーザーは、彼らがそのようにしたいと思ったときに、そのようにしたいと思ったように、それを作ることを望む使用に適した組成物をますます探し求めている。したがって、気分、季節または外部温度に応じて、ユーザーはその時の彼または彼女の要求に合った組成物を利用できるようにすること、例えば、多少増粘された、または活性物質において多少濃縮された、または特別な色または香りを有する組成物を利用できるようにすることを望んでいるが、これらの特徴は時間がたつて変わる可能性がある。

10

【 特許文献 1 】 US-A-5965708

【 特許文献 2 】 US-A-5962053

【 特許文献 3 】 JP-A-10/215792

【 特許文献 4 】 WO-A-2002/085119

【 特許文献 5 】 WO-A-2002/043657

【 特許文献 6 】 WO-A-2001/070194

【 特許文献 7 】 EP-A-1110546

【 特許文献 8 】 JP-A-63/220876

【 特許文献 9 】 JP-A-2002/212027

【 特許文献 1 0 】 WO-A-2002/05789

20

【 特許文献 1 1 】 US-A-2002/0127254

【 特許文献 1 2 】 WO-A-2003/075812

【 特許文献 1 3 】 US-A-2003/0186826

【 特許文献 1 4 】 FR-A-2840221

【 特許文献 1 5 】 FR 0351002

【 特許文献 1 6 】 US-A-2973882

【 特許文献 1 7 】 GB-A-2358627

【 特許文献 1 8 】 CH-A-461025

【 特許文献 1 9 】 US-A-6578732

【 特許文献 2 0 】 EP-A-641557

30

【 特許文献 2 1 】 EP-A-705593

【 特許文献 2 2 】 EP-A-864320

【 特許文献 2 3 】 EP-A-815844

【 特許文献 2 4 】 EP-A-1069142

【 特許文献 2 5 】 WO-A-2002/43689

【 特許文献 2 6 】 WO-A-2002/44231

【 特許文献 2 7 】 WO-A-2002/44271

【 特許文献 2 8 】 WO-A-2002/44270

【 特許文献 2 9 】 WO-A-2002/43686

【 特許文献 3 0 】 WO-A-2002/44267

40

【 特許文献 3 1 】 WO-A-2002/43688

【 特許文献 3 2 】 WO-A-2002/43677

【 特許文献 3 3 】 WO-A-2002/43687

【 特許文献 3 4 】 WO-A-2002/44230

【 特許文献 3 5 】 EP-A-1355990

【 特許文献 3 6 】 EP-A-1355625

【 特許文献 3 7 】 EP-A-1307501

【 特許文献 3 8 】 EP-A-1363964

【 特許文献 3 9 】 WO-A-89/11907

【 特許文献 4 0 】 DE-A-4318171

50

【特許文献 4 1】EP-A-815846	
【特許文献 4 2】EP-A-728460	
【特許文献 4 3】EP-A-780114	
【特許文献 4 4】EP-A-780115	
【特許文献 4 5】EP-A-879589	
【特許文献 4 6】EP-A-1010413	
【特許文献 4 7】EP-A-1010414	
【特許文献 4 8】EP-A-1010415	
【特許文献 4 9】EP-A-1010416	
【特許文献 5 0】EP-A-1013338	10
【特許文献 5 1】EP-A-1016453	
【特許文献 5 2】EP-A-1018363	
【特許文献 5 3】EP-A-1020219	
【特許文献 5 4】EP-A-1025898	
【特許文献 5 5】EP-A-1120102	
【特許文献 5 6】EP-A-1120101	
【特許文献 5 7】EP-A-1160005	
【特許文献 5 8】EP-A-1172077	
【特許文献 5 9】EP-A-1353629	
【特許文献 6 0】EP-A-1166747	20
【特許文献 6 1】EP-A-1172096	
【特許文献 6 2】EP-A-1172095	
【特許文献 6 3】EP-A-1174122	
【特許文献 6 4】EP-A-1277463	
【特許文献 6 5】EP-A-1295594	
【特許文献 6 6】FR-A-2824262	
【特許文献 6 7】JP-A-2295912	
【特許文献 6 8】FR-A-2570377	
【特許文献 6 9】EP-A-199636	
【特許文献 7 0】EP-A-325540	30
【特許文献 7 1】EP-A-402072	
【特許文献 7 2】WO-A-00/26167	
【特許文献 7 3】FR-A-2180033	
【特許文献 7 4】WO-A-99/10318	
【特許文献 7 5】US-A-6139322	
【特許文献 7 6】US-A-6465001	
【特許文献 7 7】US-A-5349003	
【特許文献 7 8】EP-A-1038519	
【特許文献 7 9】FR-A-2819429	
【特許文献 8 0】EP-A-838217	40
【特許文献 8 1】FR-A-2829025	
【特許文献 8 2】EP-A-1352643	
【特許文献 8 3】FR-02/14828	
【特許文献 8 4】FR-A-2793681	
【特許文献 8 5】FR-A-2809005	
【特許文献 8 6】FR-A-2798590	
【特許文献 8 7】EP-A-0704210	
【特許文献 8 8】FR-A-2746951	
【特許文献 8 9】WO-A-93/18743	
【特許文献 9 0】FR-A-2617401	50

- 【特許文献 9 1】EP-A-838217
- 【特許文献 9 2】FR-A-2782921
- 【特許文献 9 3】FR-A-2774292
- 【特許文献 9 4】EP-A-1028120
- 【特許文献 9 5】EP-A-0392883
- 【非特許文献 1】"Fluorescent Whightening Agent, Encyclopedia of Chemical Technology, Kirk-Othmer", vol.11, pp.227~241, 4th edition, 1994, Wiley
- 【特許文献 9 6】US-A-3792068
- 【特許文献 9 7】US-A-6407056
- 【特許文献 9 8】US-A-6171595 10
- 【特許文献 9 9】US-A-6075052
- 【特許文献 1 0 0】US-A-6020006
- 【特許文献 1 0 1】US-A-4885289
- 【特許文献 1 0 2】US-A-4720489
- 【特許文献 1 0 3】US-A-5132293
- 【特許文献 1 0 4】US-A-5096911
- 【特許文献 1 0 5】US-A-5095007
- 【特許文献 1 0 6】US-A-5143925
- 【特許文献 1 0 7】US-A-5328686
- 【特許文献 1 0 8】US-A-5440090 20
- 【特許文献 1 0 9】US-A-5364885
- 【特許文献 1 1 0】US-A-5411991
- 【特許文献 1 1 1】US-A-5648394
- 【特許文献 1 1 2】US-A-5468476
- 【特許文献 1 1 3】US-A-5475763
- 【特許文献 1 1 4】US-A-5455608
- 【特許文献 1 1 5】US-A-5674477
- 【特許文献 1 1 6】US-A-5728736
- 【特許文献 1 1 7】US-A-5652273
- 【特許文献 1 1 8】WO-A-94/27586 30
- 【特許文献 1 1 9】WO-A-94/27563
- 【特許文献 1 2 0】WO-A-98/03149
- 【特許文献 1 2 1】US-A-6375948
- 【非特許文献 2】S. Arctander, Perfume and Flavor Chemicals (Montclair, N.J., 1969)
- 【非特許文献 3】S. Arctander, Perfume and Flavor Materials of Natural Origin (Elizabeth, N.J., 1960)
- 【非特許文献 4】"Flavor and Fragrance Materials-1991". Allured Publishing Co. Wheaton, Ill. USA.
- 【発明の開示】 40
- 【発明が解決しようとする課題】
- 【0 0 0 6】
- したがって、本発明の対象を形成するキットは、これらの問題を克服することを可能にする。このキットは、いくつかの実施態様を有する。
- 【0 0 0 7】
- それゆえに、本発明の1つの対象は、(1)少なくとも1種の脂肪性物質を含有する水性組成物および(2)該水性組成物を変性し得る少なくとも1種の化合物を含有する少なくとも1つの水溶性無水フィルムを含む化粧品の処方用キットである。
- 【0 0 0 8】
- この組成物およびフィルムは、即時に一緒に混合され、前記の化粧品を形成する。 50

【0009】

この化粧品は、特に皮膚、粘膜、外皮または毛髪のためのケアまたはメーキャップ製品として使用され得る。

【0010】

本特許出願において、「水性組成物を変性し得る化合物」という表現は、前記組成物の活性および/または外観を変性すること、例えば、1種または複数の活性剤の添加によってその活性を変性し、増粘剤の添加によって(粘度の変性)、または色素の添加によって(色の変性)または香料の添加によって(においの変性)その外観を変性することを意味する。

【0011】

「脂肪性物質」という用語は、水不溶性の化合物を意味し、この化合物は、油(液体の脂肪性物質)または固体の脂肪性物質であり得る。それは、好ましくは油である。

10

【0012】

即時の混合物は、所望の量の水性組成物およびフィルムを単に混合することによって得られ、これらの量は、最終の目的に応じて決定される。得られる混合物は、単一使用の化粧品を構成する。しかしながら、同一のまたは異なる組成物のいくつかのフィルムを含むことができ、それは、それぞれの使用で同一の、または異なる化粧品を何回も得ることを可能にする。

【0013】

また、本発明の対象は、i)水性組成物;およびii)安定性の理由で即時にのみ該組成物と混合することができ、化粧品を形成することができる少なくとも1種の化合物を含有する少なくとも1つの水溶性無水フィルムを含む化粧品の処方用キットである。

20

【0014】

また、本発明の対象は、i)水性組成物;およびii)少なくとも1つの第1の水溶性無水フィルム;およびiii)少なくとも1つの第2の水溶性無水フィルムを含み、その第2のフィルムは、特にそれが含んでいる少なくとも1種の化合物の濃度および/または性質に関して第1のフィルムと異なる化粧品の処方用キットである。

【0015】

前記の化粧品は、前記の水性組成物に1種またはそれ以上の第1のフィルムおよび1種またはそれ以上の前記の第2のフィルムを加えることによって得られる。

【0016】

本発明の対象はまた、i)水性組成物;およびii)化粧品を形成するために該水性組成物と混合することを意図した複数の同一のまたは異なる水溶性無水フィルム、およびiii)該組成物と混合される同一のまたは異なる水溶性無水フィルムの数の関数として前記の化粧品をカスタム化処方するための、特に説明的な注記に関する使用説明書を含む化粧品、特にケアまたはメーキャップ製品のカスタム化された処方用キットである。

30

【0017】

「カスタム化された処方」は、使用ときにおける消費者の要求に適合した処方を意味する。

【0018】

本発明の対象はまた、a)処方しようとする化粧品の少なくとも1つの特徴、すなわち、複数の同一の水溶性無水フィルム中、または複数の互いに異なる水溶性無水フィルム中のいずれかに存在する少なくとも1種の化合物に基づく特徴、特にそれらが含む少なくとも1種の化合物の濃度および/または性質に関する特徴、特に色調または濃度に関する特徴を決定し、b)処方しようとする化粧品の前記の特徴に依存する数の、前記同一または異なるフィルムを水性組成物に加えることからなる化粧品、特にケアまたはメーキャップ製品の処方方法である。

40

【0019】

本発明の対象はまた、水性組成物のレオロジー、色、および/または香りの特性を変更できる1種または複数の化合物を含む1種又はそれ以上の水溶性無水フィルムを水性組成物に加えることからなる、化粧品、特にケアまたはメーキャップ製品を処方する目的のため

50

の水性組成物のレオロジー、色、および/または香りの特性を変更する方法である。

【0020】

水または唾液に接触してすぐに溶解する無水フィルム、および保存寿命を増大するために食品を包装するための可食性フィルムを使用することは、明らかに知られた慣行であり、この手法は、特許出願(例えばUS-A-5965708、US-A-5962053およびJP-A-10/215792)の対象であった。同様にこのタイプの技術は、口の中で即ときに破壊する処方形式で経口的に活性体を投与するために医薬分野において(参照:例えば文献WO-A-2002/085119、WO-A-2002/043657およびWO-A-2001/070194)または、その他の粘膜、例えば腔(EP-A-1110546)への応用および傷(JP-A-63/220876)への応用によって使用されている。さらに、文献JP-A-2002/212027には、水溶性フィルムの形の化粧用調製品の製造および組成が記載されており、
10 文献WO-A-2002/05789、US-A-2002/0127254およびWO-A-2003/075812には、予め潤された皮膚に対する化粧用組成物の直接的な施用のための無水のポリマーフィルムの製造およびその施用が記載されている。さらに文献US-A-2003/0186826には、水と共に皮膚または毛髪に施用される、ポリマーおよび界面活性剤に基づく乾燥状の化粧用組成物が記載されている。しかしながら、これらの文献は、薄いフィルムおよび水性組成物、特に乳化形態の水性組成物を含むキットを使用する化粧用または外皮用の製品の即時の調製を全く予見していない。

【0021】

明らかに、文献FR-A-2840221には、液体(ただし、この液体は水または例えば油またはエタノールのような溶剤であり得る)中に放出されることを意図された活性剤を含むフィルムが開示されている。しかしながら、この文献は、例えば乳化物のような複雑な媒体中へフィルムを入れること、あるいは使用ときに好適な製品を得るためのキットの供給を全く予見していない。
20

【0022】

不適合な化合物を含有する製品を得、さらに、それを使用ときにユーザーの要求に適合させるために、含有される活性剤に関して、または製品のテクスチャーに関して、または製品のその他の特別な特徴〔特別な香料または色素によって、または特別な光学的な効果によって、または与えられた日光保護要素によって、または特別なpHによって、またはその他の特性(ユーザーがそのキットを使用する時の彼または彼女の要求に応じて変更することのできるもの)によって反映させられ得るもの〕に関して、ユーザーが、彼のまたは彼女のタイプの皮膚または使用時の所望の目的に適合させた製品を得られるキットは、従来技術には全く記載されていないのである。本発明はそのようなキットを提供するものである。
30

【0023】

本発明によるキットは、ポリマーに基づいた、少なくとも1種の水溶性無水フィルムの使用および水性組成物、特に乳化形態のものを使用を組み合わせしており、ユーザーに最終製品の組成、レオロジー、色または活性剤濃度を即時に変性することを可能にする。さらに液状または半固形媒体中で比較的不安定である活性剤を応用する場合に、それらを即時に溶解される無水フィルム中に入れることによってその効果を確実にする。同様に最終製品の良好なコロイドの安定性は、その性能の品質を液状媒体中で経時的に維持することが出来なかった賦形剤の即時溶解によって得ることができる。
40

【0024】

最終製品は、1つまたは複数の水溶性無水フィルムと好適な量の水性組成物とを即時に混合することによって得られる。水性組成物の「好適な量」という用語は、フィルムが迅速にその中に溶解するような量を意味する。この量は、例えば10~1000mg、好ましくは50~800mg、さらに好ましくは100~500mgの範囲であり得る。水性組成物の好適な用量は、例えば加熱成形されるプラスチックから製造された小さい袋(sachet)、チューブ、アンブル、前もって充填された注射器、ソフトカプセル、シェルまたはトレイのような単一用量の提供形態を使用することによって得ることができる。好適な用量はまた、前もって決定される用量を分配するシステムを使用してマルチ用量の提供から得ることができる。そ
50

のようなシステムは、ポンプディスペンサーボトル、エアゾル、ピペットまたは目盛り付き注射器または滴下器であり得る。

【0025】

その他の対象は、以下の詳細な説明中で明らかになるであろう。

【0026】

A. 水溶性無水フィルム

本特許出願において、「フィルム」という用語は、薄い、明白な固体を意味する。「薄い」という用語は、最大の厚さが1000 μm を有する固体を意味する。このフィルムは、ユーザーによって容易に取り扱うことができるのに適当である寸法を有する。このフィルムは、方形、矩形、または円盤型、あるいは他のどんな形でもよい。それぞれのフィルムは、一般的に10~1000 μm 、好ましくは20~500 μm 、さらに好ましくは50~300 μm の厚さを有する。それは、0.25~25 cm^2 、好ましくは2~10 cm^2 の表面積を有することができる。

10

【0027】

さらに、本特許出願において、「無水フィルム」という用語は、フィルムの全重量に対して水を10重量%未満の量、好ましくは5重量%未満の量しか含有せず、さらに好ましくは水を含まないフィルムを意味する。

【0028】

さらに、本特許出願において、「水溶性のフィルム」という用語は、水に溶解するフィルムを意味する。これは、1種または複数の水溶性または水分散性のポリマーからなるフィルムである。「水溶性または水分散性」という用語は、25 $^{\circ}\text{C}$ で、少なくとも0.1グラム/リットル(g/L)の水への溶解度(肉眼的に等方性で、透明な、色の付いたまたは無色の溶液の生成)を有するポリマーを意味する。この溶解度は、好ましくは1g/L以上である。これらのフィルムを作るポリマーは、合成のまたは天然の由来のものであり得、適当な場合には化学的反応によって変性され得る。それらは、フィルム形成性であってもよく、あるいはそうでなくてもよい。これらのポリマーは、生理学的に受容できるものでなければならず、すなわちそれらは皮膚、粘膜、毛髪および頭皮と適合性がなければならない。

20

【0029】

これらの水溶性または水分散性のポリマーは、例えば、(1)蛋白質タイプのポリマー、例えば小麦蛋白質または大豆蛋白質；ケラチン、例えばケラチン加水分解物およびスルホン化ケラチン；カゼイン；アルブミン；コラーゲン；グルテリン；グルカゴン；グルテン；ゼイン；ゼラチンおよびそれらの誘導体；(2)キチンまたはキトサンから誘導されるポリマー、例えばアニオン性、カチオン性、両性または非イオン性キチンまたはキトサンポリマー；(3)多糖類ポリマー、例えば、特に(i)セルロースベースのポリマー、例えばヒドロキシエチルセルロース、ヒドロキシプロピルセルロース、ヒドロキシプロピルメチルセルロース、メチルセルロース、エチルヒドロキシエチルセルロース、カルボキシメチルセルロースおよび4級化されたセルロース誘導体；および(ii)デンプンまたはその誘導体；(4)アクリルポリマーまたはコポリマー、例えばポリアクリレート、ポリメタクリレートおよびそれらのコポリマー；(5)ビニルポリマー、例えばポリビニルピロリドン、メチルビニルエーテルとマレイン酸とのコポリマー、ビニルアセテートとクロトン酸とのコポリマー、ビニルピロリドンとビニルアセテートとのコポリマー、ビニルピロリドンとカプロラクタムとのコポリマー、ポリビニルアルコール；(6)場合により変性されている天然由来のポリマー、例えばアラビアガム、グアーガム、キサンタン誘導体またはクラヤガム；アルギン酸塩、カラギーナン、ウルバンおよびその他の藻類コロイド；グリコアミノグリカン、ヒアルロン酸およびその誘導体；シェラック、サンダラックガム、ダンマル樹脂、エレミガムおよびコーパル樹脂；デオキシリボ核酸；例えばヒアルロン酸、コンドロイチン硫酸塩のようなムコ多糖類；およびそれらの混合物から選択され得る。

30

40

【0030】

また列挙され得る水溶性ポリマーは、カプロラクタム、プルラン、ペクチン、マンナンおよびガラクトマンナン、およびグルコノマンナンおよびそれらの誘導体を含む。

【0031】

50

言うまでもなく、本発明に従うフィルムは、1種またはそれ以上のこれらのポリマーを含むことができる。

【0032】

無水フィルム中の水溶性ポリマーの量は、そのフィルムの全重量に対して一般的に5~10重量%、特に10~95重量%、さらに特に20~90重量%の範囲である。

【0033】

そのフィルムは、例えばその内容が、参照によって本特許出願に含まれる特許出願：FR 0351002に記載されている物品のような、その取り扱いを容易にする物品中に包装され得る。フィルムは、特に本発明のキット中に含まれるプラスチックのディスペンシングボックス(dispensing box)中、個々の小さい袋(sachet)中またはブリスタ包装(blister pack)中に包装され得る。フィルムは、引き出し付きまたはベースの上に連結されている蓋(lid)付きのタイプのケース(このケースは物品の分配を容易にする手段を含んでいてもよい)に包装され得る。分配手段は、例えば文献US-A-2973882、GB-A-2358627、CH-A-461025、またはUS-A-6578732に記載されたタイプであり得る。

【0034】

水溶性ポリマーの外に、フィルムは、例えばグリセロール、ソルビトール、単糖類および/または2糖類、ジプロピレングリコール、ブチレングリコール、ペンチレングリコールおよび例えばPEG-400のようなポリエチレングリコールから選ばれる1種または複数の可塑剤を含む。可塑剤の量は、例えばフィルムの全重量に対して1~40重量%、さらに良好には2~15重量%の範囲であり得る。

【0035】

本発明によれば、フィルムは少なくとも1種の化合物、特に水性組成物を変性することができる化合物を含む。「水性組成物を変性することができる化合物」という表現は、フィルムを水性組成物に混合した際に例えば前記組成物のレオロジー、テクスチャー、活性度、色、匂いまたはpHを変性するような、前記の組成物を変性する化合物を意味する。この化合物は、簡単にはフィルム中に存在する水溶性ポリマーであり得、そのポリマーはその性質によって水性組成物のレオロジーを変性し、それに新しいテクスチャーを付与するであろうし、またはそれは活性剤および処方助剤、例えばレオロジー剤、香料、色素、界面活性剤、酸化剤またはpH調整剤から選ばれた1種または複数の化合物であり得る。これらの化合物は以下に詳述される。

【0036】

B.水性組成物

本特許出願において、「水性組成物」という用語は、少なくとも水を含有する組成物を意味する。

【0037】

水の他に、水性組成物は、例えばエタノール、イソプロパノール、プロパノールまたはブタノールなどの1~8個の炭素原子、特に1~6個の炭素原子を含む低級モノアルコール；6~80個のエチレンオキサイドを含むポリエチレングリコール；例えばプロピレングリコール、イソプレングリコール、ブチレングリコール、グリセロールまたはソルビトールのようなポリオール；アセトン；およびそれらの混合物から選ばれる水溶性有機溶剤を含むことができる。

【0038】

その組成物は、大体において、固形の組成物と反対の流動性の組成物である。本特許出願において、「大体において流動性の組成物」という用語は、その粘度が測定でき、液状から半固形状の範囲の組成物を意味する(クリームまたは軟ペースト)。その粘度は、粘度に応じて異なるローターを装着した、Rheometric Scientific製の粘度計Rheomat RM180を使用して25 で測定された粘度で、例えば1~20000mPa.S(1~20000センチポイズ)好ましくは1~15000mPa.sの範囲であり得る。

【0039】

この組成物は、生理学的に受容できる支持体、すなわち皮膚、粘膜、毛髪、頭皮と適合

10

20

30

40

50

性のある支持体を含むことができる。

【0040】

本発明の好ましい実施態様によれば、水性組成物は、水の他に少なくとも1種の脂肪性物質を含む。「脂肪性物質」という用語は、水に不溶性の化合物を意味し、この化合物は、油(液状の脂肪性物質)または固形の脂肪性物質であり得る。それは、好ましくは油である。

【0041】

水性組成物は、特に例えば油中水型(W/O型)または水中油型(O/W型)または多相型(W/O/W型またはO/W/O型)乳化物のような、お互いに分散している水相および油相を含む乳化物の形態であり得、特に下記のものからの標準の乳化物または特別な乳化物から選ばれる。

- ・文献EP-A-641557およびEP-A-705593に記載されているようなラメラ状液晶コーティングを供給する油性液滴に基づくO/W型乳化物；
- ・文献EP-A-864320に記載されているような水分散性アニオン性ポリマーで安定化された界面活性剤を含まないO/W型乳化物；
- ・文献EP-A-815844に記載されているような2-アクリルアミノ-2-メチルプロパンスルホン酸(AMPSポリマー)から誘導されたポリマーに基づくO/W型乳化物；
- ・文献EP-A-1069142、WO-A-2002/43689、WO-A-2002/44231、WO-A-2002/44271、WO-A-2002/44270、WO-A-2002/43686、WO-A-2002/44267、WO-A-2002/43688、WO-A-2002/43677、WO-A-2002/43687、WO-A-2002/44230に記載されているような疎水性AMPSポリマーで安定化されたO/W型乳化物；
- ・文献EP-A-1355990、EP-A-1355625、EP-A-1307501およびEP-A-1363964に記載されたような熱結合性ポリマーに基づいた流動性乳化物；
- ・文献WO-A-89/11907、DE-A-4318171およびEP-A-815846に記載されたようなPIT法(相転換によって得られる乳化物、PIT=相転換温度)を経て得られるO/W型乳化物；
- ・特許出願EP-A-728460、EP-A-780114、EP-A-780115、EP-A-879589、EP-A-1010413、EP-A-1010414、EP-A-1010415、EP-A-1010416、EP-A-1013338、EP-A-1016453、EP-A-1018363、EP-A-1020219、EP-A-1025898、EP-A-1120102、EP-A-1120101、EP-A-1160005、EP-A-1172077、およびEP-A-1353629に記載されているようなナノ乳化物。

【0042】

本発明の水性組成物は、特にローション(流動性乳化物)の形態であり得る。

【0043】

水性組成物はまた、例えば文献EP-A-1166747、EP-A-1172096、EP-A-1172095、EP-A-1174122、EP-A-1277463、EP-A-1295594、およびFR-A-2824262に記載されているような発泡性水性製品の形態であってもよい。

【0044】

本発明の1つの特別な実施態様によれば、本発明により使用される水性組成物は、乳化物である。乳化物の油相の比率は、組成物の全重量に対して1~80重量%、好ましくは1~50重量%の範囲であり得る。乳化形態の組成物で使用される油、場合により存在する乳化剤および共同乳化剤は、化粧品または皮膚科学で従来使用されているものから選ばれる。それらが存在する場合は、乳化剤および共同乳化剤は、組成物の全重量に対して0.2~30重量%、好ましくは0.3~20重量%、さらに好ましくは0.5~15重量%の範囲の比率で存在する。乳化物はまた脂肪小胞を含むことができる。

【0045】

乳化物は、一般的に両性、陰イオン性、カチオン性およびノニオン性の乳化剤から選ばれる少なくとも1種の乳化剤を含み、単独でまたは混合物として使用される。乳化剤は、得られる乳化物(W/O型またはO/W型)の連続相によって適当な方法で選択される。乳化物が、多相乳化物である場合、それは一般的に第1次乳化物中の乳化剤および第1次乳化物が導入される外相中の乳化剤を含む。

【0046】

W/O型乳化物の製造に使用され得る乳化剤として、列挙され得る例は、ソルビタンの、

グリセロールのまたはシヨ糖のアルキルエステルまたはエーテル；ダウコーニング社によってDC5225CおよびDC3225Cの名前で販売されている、例えばシクロメチコンおよびジメチコンコポリオールの混合物のようなジメチコンコポリオール；およびダウコーニング社によって「ダウコーニング5200処方助剤」の名前で販売されているラウリルメチコンコポリオール；ゴールドシュミット社によってAbil EM 90(登録商標)の名前で販売されているセチルジメチコンコポリオール；およびゴールドシュミット社によってAbil WE 09^Rの名前で販売されているポリグリセリル-4-イソステアレート/セチルジメチコンコポリオール/ヘキシルラウレートの混合物のようなシリコン界面活性剤を含む。1種またはそれ以上の共同乳化剤もまた、それに加えることができ、それ(ら)は、ポリオールの分岐鎖脂肪酸エステル、特にグリセロールのおよび/またはソルビタンの分岐鎖脂肪酸エステル、例えばゴールドシュミット社によってIsolan GI 34の名前で販売された製品のようなポリグリセリルイソステアレート、例えばICI社からArlacel 987の名前で販売されている製品のようなソルビタンイソステアレートおよび例えばICI社によってArlacel 986の名前で販売されている製品のようなソルビタングリセリルイソステアレートおよびそれらの混合物を含む群から選択するのが有利であり得る。

10

【0047】

O/W型乳化物の製造に使用され得るその他の乳化剤として、列挙され得る例は、例えばオキシアルキル化された(さらに詳しくはポリオキシエチル化された)ポリオールの脂肪酸エステルのような非イオン性乳化剤、例えばポリオキシエチレングリコールステアレート、例えばPEG-100ステアレート、PEG-50ステアレートおよびPEG-40ステアレート；それらの混合物、例えばSEPPIC社によってSimulsol 165の名前で販売されているグリセリルモノステアレートおよびポリエチレングリコールステアレート(100E0)の混合物；例えばUniqema社によってTween 20またはTween 60の商標名で販売されているような、例えば20~100E0を含むオキシアルキル化ソルビタン脂肪酸エステル；オキシアルキル化された脂肪族アルコールエーテル；例えばシヨ糖ステアレートおよびPEG-20メチルグルコース(オキシエチル化された、および/またはオキシプロピル化された)セスキステアレートのようなアルコキシル化または非アルコキシル化シヨ糖エステル；例えばUniqema社によってSpan 40の名前で販売されているソルビタンパルミテートのようなソルビタンエステル；例えばジミリスチル酒石酸塩のようなジ酸と脂肪族アルコールのエステル；これらの乳化剤の混合物、例えばUniqema社によってArlacel 165の名前で販売されているような、グリセリルステアレートおよびPEG-100ステアレートの混合物；例えばSasol社によってCosmacol PSEの名前で販売されている、ジミリスチル酒石酸塩、セテアリルアルコール、Pareth-7およびPEG-25 laureth-25の混合物のようなこれらの乳化剤を含む混合物(CTFA名:ジミリスチル酒石酸塩/セテアリルアルコール/12-15Pareth-7/ PEG-25 laureth-25)を含む。

20

30

【0048】

例えば8~26個の炭素原子を含む脂肪族アルコール、例えばセチルアルコール、ステアリルアルコール、およびそれらの混合物(セテアリルアルコール)、オクチルドデカノール、2-ブチルオクタノール、2-ヘキシルデカノール、2-ウンデシルペンタデカノールまたはオレイルアルコールまたは脂肪酸のような共同乳化剤が、これらの乳化剤に加えられ得る。

40

【0049】

乳化用界面活性剤を含まない、または組成物の全重量に対して0.5%未満の乳化用界面活性剤しか含まない乳化物もまた、例えばNoveon社によってCarbopol 1342およびPemulenの名前で販売されているポリマーのような乳化特性を有するポリマー；または例えばSeppic社によってSepigel 305の名前で販売されている製品(INCI名:ポリアクリルアミド/C13~C14イソパラフィン/laureth-7)のような乳化形態のポリマー；イオン性または非イオン性のポリマーの粒子、より詳しくは例えば、特にイソフタル酸またはスルホイソフタル酸のポリマー、特にフタレート/スルホイソフタレート/グリコールコポリマー、例えばイーストマンケミカル社によってEastman AQ ポリマー(AQ35S、AQ38S、AQ55S、およびAQ48 Ultra)の名前で販売されているジエチレングリコール/フタレート/イソフタレート/1,4-シク

50

ロヘキサジメタノール(INCI名:ジグリコール/CHDM/イソフタレート/SIPコポリマー)のような適当な化合物を使用することによって調製され得る。シリコン粒子または金属酸化物粒子、例えばTiO₂または同類のもので安定化された乳化剤を含まない乳化物もまた調製され得る。

【0050】

水性組成物が乳化形態である場合、それは少なくとも1種の油、特に化粧用油を含む少なくとも1種の油相を含む。「油」という用語は、室温(25)で液状である脂肪性物質を意味する。

【0051】

本発明の組成物に使用され得る油として、列挙され得る例は、以下のものを含む。

- ・動物由来の炭化水素ベースの油、例えばパーハイドロスクワレン(またはスクワレン);
- ・植物由来の炭化水素ベースの油、例えば4~10個の炭素原子を含有する脂肪酸の液状トリグリセライド、例えばヘプタン酸またはオクタン酸のトリグリセライド、植物由来の油、例えばひまわり油、とうもろこし油、大豆油、マロウ油(marrow oil)、グレイプシード油(grapeseed oil)、ゴマ種油、ヘーゼルナッツ油、杏子油、マカダミア油、アララ油、コリアンダー油、ひまし油、アボガド油、ホホバ油、シアバター油、またはカプリル酸/カプリン酸トリグリセライド、例えばStearineries Dubois社によって販売されているものまたはダイナミートノーベル社によってMiglyol 810、812、および818の名前で販売されているもの;
- ・合成のエステルおよびエーテル、特に脂肪酸のエステルおよびエーテル、例えば式: R^1COOR^2 および R^1OR^2 (式中、 R^1 は8~29個の炭素原子を含有する脂肪酸残基を表し、 R^2 は3~30個の炭素原子を含有する分岐されたまたは分岐されていない炭化水素ベースの鎖)の油、例えばパーセリン油、イソノニルイソノナノエート、イソプロピルミリステート、2-エチルヘキシルバルミテート、2-オクチルドデシルステアレート、2-オクチルドデシルエルケートまたはイソステアリルイソステアレート; ヒドロキシ化されたエステル、例えばイソステアリルラクテート、オクチルヒドロキシステアレート、オクチルドデシルヒドロキシステアレート、ジイソステアリルマレート、トリイソセチルサイトレートおよび脂肪族アルコールのヘプタノエート、オクタノエートおよびデカノエート; ポリオールエステル、例えばプロピレングリコールジオクタノエート、ネイペンチルグルコールジヘプタノエートおよびジエチレングリコールジイソノナノエート; ペンタエリスリトールエステル、例えばペンタエリスリチルトライソステアレート; アミノ酸の親油性誘導体、例えば味の素社によってEldew SL 205の名前で販売されているイソプロピルラウロイルザルコシネート(INCI名:イソプロピルラウロイルザルコシネート);
- ・鉱物または合成由来の直鎖状または分岐状炭化水素、例えば鉱油(石油から誘導された炭化水素ベースの油の混合物; INCI名:鉱油)、揮発性のまたは非揮発性の液状パラフィンおよびその誘導体、ペトロリアムゼリー、ポリデセン、イソヘキサデカン、イソドデカン、例えばNOF Corporation社によって販売されているParlean油のような水素添加されたイソパラフィン;
- ・シリコン油、例えば室温で液状またはペースト状である、直鎖状または環状シリコン鎖を含有する揮発性のまたは非揮発性のポリメチルシロキサン(PDMS)、特に例えばシクロペンタシロキサンおよびシクロヘキサジメチルシロキサンのようなシクロポリジメチルシロキサン(シクロメチコン); アルキル、アルコキシまたはフェニル基を含み、それらの基は、ペンダント状またはシリコン鎖の末端にあり、これらの基は2~24個の炭素原子を含有しているポリジメチルシロキサン; フェニルシリコン、例えばフェニルトリメチコン、フェニルジメチコン、フェニルトリメチルシロキシジフェニルシロキサン、ジフェニルジメチコン、ジフェニルメチルジフェニルトリシロキサン、2-フェニルエチルトリメチルシロキシシリケートおよびポリメチルフェニルシロキサン;
- ・フルオロ油、例えば部分的に炭化水素ベースの、および/または、部分的にシリコン系ベースのフルオロ油、例えば文献JP-A-2295912に記載されたもの;
- ・エーテル、例えばジカプリルイルエーテル(CTFA名:ジカプリルイルエーテル); およびC

10

20

30

40

50

$C_{12} \sim C_{15}$ 脂肪アルコールベンゾエート (Finetex社製造のFinsolv);

・それらの混合物。

【0052】

また、水の組成物はいかなる適当な付加的化合物も含むことができる。それは例えば処方助剤から選ばれた1種または複数の化合物および/またはフィルム中に存在するそれらと異なった活性剤を含むことができる。

【0053】

本発明に従ったキットの利点の1つは、非相容性の活性剤；水性組成物中に存在する1種または複数の相容性の活性剤；および無水フィルム中に存在し、水性組成物のそれらと不適合である、1種または複数の異なる活性剤を含有する化粧品を得ることができることである。水性組成物とフィルムを即時に混合することにより、不適合な活性剤を含む製品を生成し、その製品は直ぐに使用されるのでそれらの不適合性は、何らの欠点を呈することがないのである。

10

【0054】

C. 化合物

水溶性無水フィルムは、少なくとも1種の化合物、特に水性組成物を変性することができる化合物を含んでいる。この化合物は組成物のレオロジーを変性することができる、単にフィルムを構成するポリマーであってもよく、またはその代わりに、フィルムが他の1種または複数の化合物を含むこともできる。これらの化合物は、特に化粧品用活性剤、処方助剤、およびそれらの混合物から選ばれ得る。その1種が処方助剤を含み、他のものが異なる処方助剤または活性剤を含み、さらにもう1つがもう1つの活性剤および/またはもう1つの処方助剤を含むことができる数種のフィルムを使用することもできる。

20

【0055】

「化粧品用活性剤」という用語は、完成品が適用されるケラチン材料の上に有益な効果を有する化合物も意味する。

【0056】

「処方助剤」という用語は、水性組成物の外観、例えば水性組成物のレオロジー、テクスチャー、色、芳香またはpHを変更することができる化合物を意味する。

【0057】

さらにまた、前に示されるように、水性組成物は化粧品用活性剤および処方助剤およびそれらの混合物から選ばれる1種または複数の化合物を含むことができる。

30

【0058】

したがって、これらの化合物は、水性組成物中か、または1つまたは複数のフィルムに組み込まれ、これらの化合物の物理化学的な不適合性により起こりうる問題を解決し、また、ユーザーの要求に合っている完成品を有することを可能にする。また、これは、活性剤の濃度が、1つの組成物だけを使用することによって得ることができる濃度より高い製品を得ることを可能にする。

【0059】

前に示されるように、本発明に従ったキットは、不適合な化合物を含む化粧品または皮膚病製品の調製を可能にする利点を有している。また、それは、外部の刺激に敏感である、特に水、酸化、光および/または温度上昇に敏感である化合物を含む化粧品または皮膚病製品の製造を可能にする利点を有している。外部の刺激(水、例えば空気のような酸化剤、光、および/または温度)に敏感なこれらの化合物は、不安定であり、そのような外部の刺激に曝されたときに化学的な加水分解、酸化、光分解または光劣化、あるいはまた、イオン交換のメカニズムを経て劣化を受け、効能が悪くなる化粧品および/またはその外観、香気、および/または感触が消費者に受け入れられない化粧品となる。したがって、例えばアスコルビン酸に関する場合には、この劣化の結果として、それを含む組成物を黄色にする傾向を有している。これらの敏感な化合物を無水フィルム中に入れ、使用時までそれらを水性組成物に組み入れないことにより、すべてのこれらの問題を避けることが可能になる。

40

50

【0060】

アスコルビン酸以外に、列挙され得る外部の刺激に敏感な化合物は、レチノール(ビタミンA)およびその誘導体；尿素；DHA(ジヒドロキシアセトン)；ルチン；酵素、例えばリパーゼ、プロテアーゼ、ホスホリパーゼおよびセルラーゼ；天然の抽出物、例えば緑茶、香油の抽出物、タイムの抽出物、プロシヤニドールオリゴマー(PCO)、例えばサンザシのPCO、松のPCOおよびブドウのPCO；特定の酸、例えばコウジ酸、コーヒー酸、レチノイン酸およびその誘導体、ベンゼン-1,4-ビス(3-メチリデン-10-カンファスルホン酸；カロチノイド、例えばカロチン、例えば -、 -および -カロチン、 , -カロチン、 -カロチン、 , -カロチンおよびリコピン(, -カロチン)；ポリ不飽和脂肪酸、例えばガンマ-リノレイン酸を含む。

10

【0061】

本発明によるキットに使用され得る化合物は、特に保湿剤、抗脂漏剤、老化防止活性剤、殺菌性活性剤、抗炎症活性剤、鎮静活性剤、脂肪分解性またはスリム化活性剤、充填剤、日焼け止め剤、皮膚着色または毛髪着色剤、コンシーラー、制汗性活性剤、消臭活性剤、毛髪トリートメント活性剤、除毛剤、顔料、染料、ポリマー、芳香、電解質、pH調整剤、および保存剤、およびそれらの混合物から選択され得る。

【0062】

I)保湿剤、例えば乳酸ナトリウム；ポリオール、特にグリセリン、ソルビトール、およびポリエチレングリコール；マンニトール；アミノ酸；ヒアルロン酸；ラノリン；尿素および尿素を含む混合物、例えばNMF(「天然保湿要素」)；ワセリン；N-ラウロイルピロリドンカルボン酸およびその塩；必須脂肪酸；精油；およびそれらの混合物。

20

【0063】

II)例えば以下のものから選ばれた抗脂漏剤

- ・硫黄と硫黄誘導体；
- ・亜鉛塩、例えば乳酸亜鉛、グルコン酸亜鉛、ピドール酸亜鉛、カルボン酸亜鉛、サリチル酸亜鉛、および/またはシステアリン酸亜鉛；
- ・セレンウム塩化物；
- ・ビタミンB6またはピリドキシン；
- ・特にSEPPIC社によってSepicontrol A5(登録商標)という商品名で販売されているカプリロールグリシン、サルコシンおよび桂皮の抽出物の混合物；
- ・特にSECMA社によってPhlorogine(登録商標)という商品名で販売されているラミナリア甘味薬の抽出物；
- ・特にSilab社によってSebonormine(登録商標)という商品名で販売されているスピラエウルマリアの抽出物；
- ・例えば、マルゼン社によって全て販売されている種：アルニカモンタナ(*Arnica montana*)、アカナイキ(*Cinchona succirubra*)、チョウジ(*Eugenia caryophyllata*)、ホップ(*Humulus lupulus*)、セイヨウオトギリソウ(*Hypericum perforatum*)、セイヨウハッカ(*Mentha piperita*)、マンネンロウ(*Rosmarinus officinalis*)、サルビヤ(*Salvia officinalis*)およびタチジャコウソウ(*Thymus vulgaris*)の植物抽出物；
- ・特にEuromed社によって販売されているノコギリヤシ(*Serenoa repens*)の抽出物；
- ・シリブム(*Silybum*)属の植物の抽出物；
- ・サボゲニンを含む植物抽出物および特にジオスゲニンに富むまたはヘコゲニンに富むディオスコレア(*Dioscorea*)植物の抽出物；
- ・オイゲノールおよびオイゲニルグルコシドを含むチョウジ(*Eugenia caryophyllata*)の抽出物；
- ・それらの混合物

30

40

【0064】

III)老化防止活性剤

抗老化活性剤は、皮膚の老化の前兆を処置し、または防ぐことができる活性剤から選ぶことができる。それらは、例えばフリーラジカル除去剤、角質溶解剤、ビタミン、抗エラ

50

スターゼ、および抗コラゲナーゼ剤、蛋白質、脂肪酸誘導体、ステロイド、微量元素、漂白剤、藻類、プランクトン抽出、酵素、および補酵素、フラボノイド、セラミド、テンション剤、筋弛緩剤、およびそれらの混合物から選ぶことができる。

【0065】

1)特に列挙され得るフリーラジカル捕捉剤および酸化防止剤は、リン酸誘導体、例えばエチレンジアミンテトラ(メチレンホスホン酸)、ヘキサメチレンジアミンテトラ(メチレンホスホン酸)、ジエチレントリアミンペンタ(メチレンホスホン酸)およびそれらの塩、特にそれらのナトリウム塩；エチレンジアミンテトラ酢酸およびその塩、例えばナトリウム塩；グアノシン；スーパーオキシドジスムターゼ；トコフェロール(ビタミンE)およびその誘導体(アセテート)；エトキシキン；ラクトフェリン；ラクトペルオキシダーゼおよびニトロオキシド誘導体；スーパーオキシドジスムターゼ；グルタチオンペルオキシダーゼ；フリーラジカル捕捉活性を有する植物抽出物、例えばSilab社によってDetoxilineとして販売されている胚芽の水性抽出物；緑茶；およびそれらの混合物を含む。

10

【0066】

2)列挙され得る角質溶解剤の例は、 α -ヒドロキシ酸、特に果物から誘導される酸、例えばグリコール酸、乳酸、リンゴ酸、クエン酸、酒石酸およびマンデル酸、その誘導体およびそれらの混合物； β -ヒドロキシ酸、例えばサリチル酸およびその誘導体、例えば5-n-オクタノイルサリチル酸または5-n-ドデカノイルサリチル酸； α -ケト酸、例えばアスコルビン酸またはビタミンCおよびその誘導体、例えばその塩、例えばアスコルビン酸ナトリウムおよびアスコルビルリン酸のマグネシウム塩およびナトリウム塩；そのエステル、例えばアスコルビルアセテート、アスコルビルパルミテート、およびアスコルビルプロピオネート、またはその糖類、例えばグリコシルアスコルビン酸およびその混合物； β -ケト酸；レチノイド、例えばレチノール(ビタミンA)そのエステル、レチナール、レチン酸、およびその誘導体および文献FR-A-2570377、EP-A-199636、EP-A-325540、およびEP-A-402072に記載されたレチノイド；アダパレン(adapalene)；カロチノイド；およびそれらの混合物を含む。

20

【0067】

3)前に示されたビタミンA、E、およびC以外のビタミンで列挙され得るものは、特にビタミンB3(または、ビタミンPPまたはナイアシンアミド)およびその誘導体(トコフェニルニコチネート、ニコチルアルコールエステルおよびカルボン酸エステル、2-クロロニコチンアミド、6-メチルニコチンアミド、6-アミノニコチンアミド、N-メチルニコチンアミド、N,N-ジメチルニコチンアミド、N-(ヒドロキシメチル)ニコチンアミド、キノリン酸イミド、ニコチンアニリド、N-ベンジルニコチンアミド、N-エチルニコチンアミド、ニフェナゾン、ニコチンアルデヒド、イソニコチン酸、メチルイソニコチン酸、チオニコチンアミド、ニアルアミド、2-メルカプトニコチン酸、ニコモールおよびニアプラジン)；ビタミンB5(パンテノールまたはパンテニルアルコールまたは2、4-ジヒドロキシ-N-(3-ヒドロキシプロピル)-3,3-ジメチルブタンアミド)の様々な形：D-パンテノール、DL-パンテノール)、その誘導体およびそれらの類似体、例えばカルシウムパンテネート、パンテチン、パントテイン、パンテニルエチルエーテル、パンガミン酸、ピリドキシン、パントイルラクトース、およびそれらを含む天然化合物、例えばロイヤルゼリー；例えば文献WO-A-00/26167に記載されたもののようなビタミンDおよびその類似体；ビタミンFまたはその類似体、例えば少なくとも1個の二重結合を含む不飽和酸の混合物、および特にリノール酸、リノレイン酸、アラキドン酸の混合物、またはそれらを含む化合物および特にそれらを含む植物由来の油脂、例えばホホバ(jojoba)油およびそれらの混合物を含む。

30

40

【0068】

4)特に列挙され得る抗エラストーゼ薬剤は、ペプチド誘導体と特にマメ科植物種子からのペプチド、例えばLaboratoires Seribiologiques de NancyによってParelastylとして販売されているもの；特許出願FR-A-2180033に記載されているN-アシルアミノアミド誘導体、例えばエチル{2-[アセチル(3-トリフルオロメチルフェニル)-アミノ]}-3-メチルブチルアミノ}アセテートおよびエチル{2-[アセチル(3-トリフルオロメチルフェニル)アミノ]}

50

-3-メチルブチリルアミノ)酢酸およびそれらの混合物を含む。

【0069】

5)特に列挙され得る抗コラゲナーゼ剤は、メタロプロテアーゼ阻害剤、例えばエチレンジアミン酸(EDTA)およびシステイン、およびそれらの混合物を含む。

【0070】

6)列挙され得る蛋白質の例は、小麦蛋白質または大豆蛋白質、それらの加水分解物、例えばTensineでSilab社によって販売されている製品、およびそれらの混合物を含む。

【0071】

7)特に列挙され得る脂肪酸誘導体は、蝟の必須脂肪酸のリン脂質を含む高度不飽和リン脂質、およびそれらの混合物を含む。

【0072】

8)列挙され得るステロイドの例は、DHEAまたはデヒドロエピアンドロステロン、その生物学的前駆体、その代謝物質、およびそれらの混合物を含む。DHEAの「生物学的前駆体」という用語は、5-プログネノロン、17 β -ヒドロキシプログネノロンおよび17 α -ヒドロキシプログネノロンサルフェートを意味する。「DHEAの前駆体」という用語は、それらの新陳代謝の誘導体およびそれらの化学的誘導体の両方を意味する。特に列挙され得る新陳代謝の誘導体は、5 α -アンドロステン-3,17-ジオール、特に5 α -アンドロステン-3,17 β -ジオール、4 α -アンドロステン-3,17-ジオン、7 α -ヒドロキシDHEA(7 β -ヒドロキシDHEAまたは7 α -ヒドロキシDHEA)、それ自体7 α -ヒドロキシDHEAの代謝物質である7 α -ケトDHEA、およびベンゾイルDHEAを含む。

【0073】

9)列挙され得る微量元素の例は、銅、亜鉛、セレンウム、鉄、マグネシウム、マンガン、およびその混合物を含む。

【0074】

10)列挙され得る漂白剤または脱色剤の例は、コウジ酸およびその誘導体;ハイドロキノンおよびその誘導体、例えばアルブチンおよびそのエステル、ビタミンCおよびその誘導体、例えばマグネシウムアスコビルホスフェート;カルシウムD-パンテテインスルホネートなどの塩;エライジン酸およびその誘導体;ルシノール;リノール酸およびその誘導体;植物抽出物、特に甘草、桑またはスカルクアップの抽出物、グルタチオンおよびその前駆体;システインおよびその前駆体;文献W0-A-99/10318に記載されたアミノフェノールベースの化合物、例えば特にN-エチルオキシカルボニル-4-アミノフェノール、N-エチルオキシカルボニル-0-エチロキシカルボニル-4-アミノフェノール、N-コレステリルオキシカルボニル-4-アミノフェノールおよびN-エチルアミノカルボニル-4-アミノフェノール;およびこれらの化合物の混合物を含む。

【0075】

11)列挙され得る藻類抽出物は、赤のまたは茶色の藻の抽出物、例えばラミナリア(Laminaria)群の茶色藻の抽出物、例えばラミナリアディグタタ(Laminaria digitata)属の抽出物、およびさらに詳しくは2個の尿酸:マンヌロン酸およびグルロン酸の系列を含むオリゴ糖の濃縮溶液である、Phycosaccharidesという名でCodif社によって販売されている製品を含む。

【0076】

12)列挙され得るプランクトン抽出物は、Chimex社によってMexoryl SAHという名で販売されている水性分散体(CTFA名:ビトレオスシーラ(Vitreoscilla)酵素)としてのプランクトンである。

【0077】

13)使用され得る酵素は、純粋な結晶形態または不活性な希釈剤で希釈された形態の、動物、微生物(バクテリア、菌類または、ウイルス)または合成由来(化学的またはバイオテクノロジーの合成を経て得られる)を含む。列挙され得る例は、リパーゼ、プロテアーゼ、ホスホリパーゼ、ラッカーゼ、セルラーゼ、過酸化酵素、特にラクトペルオキシダーゼ、カタラーゼ、スーパーオキシドジスムターゼ、または前記の酵素を含む植物抽出物、

10

20

30

40

50

それらの混合物を含む。それらは、例えばNovo Nordisk社によって商標名「Subtilisin S P 554」で販売されている製品およびLaboratoires Seribiologiques de Nancyによって商標名「Lysoveg LS」で販売されている製品から選択できる。

【0078】

14)特に使用され得る補酵素は、ユビキノロンまたはアルキレン鎖を含むベンゾキノンの同族体に属する補酵素Q10、およびビオチン(またはビタミンH)である補酵素R、およびそれらの混合物を含む。

【0079】

15)列挙され得るフラボノイドの例は、様々な置換基および異なる酸化のレベルを含むことができる、3-フェニルクロマン骨格から形成された、フラボノイドのサブクラスを構成するイソフラボノイドを含む。「イソフラボノイド」という用語は、いくつかのクラスの化合物を含み、それらの中にはイソフラボン、イソフラバノン、ロテノイド、プテロカルパン、イソフラバン、イソフラバン-3-エン、3-アリールクマリン、3-アリール-4-ヒドロキシクマリン、クメスタン、クマロノクロモン、 α -メチルデオキシベンゾイン、2-アリールベンゾフランおよびそれらの混合物があげられる。イソフラバノイドは、天然または合成の由来のものであり得る。「天然由来」という用語は、構成要素、一般に天然起源の植物からの様々な抽出プロセスを経て得られた純粋な形のまたは異なる濃度の溶液としてのイソフラボノイドを意味する。「合成由来」という用語は、化学的合成を経て得られた純粋な形のまたは異なる濃度の溶液としてのイソフラボノイドを意味する。列挙され得る天然由来のイソフラボノイドは、ダイジン、ゲニスチン、ダイゼイン、ホルモノネチン、クネアチン、ゲニスタイン、イソプルネチン、プルネチン、カジャニン、オロボール、プラテンセイン、サントール、ジュニペゲインA、グルシテイン、アフロルモシン、レツシン、テクトリゲニン、イリソリドン、ジャマイシン、およびその類似体およびそれらの代謝物質を含む。

【0080】

16)使用され得るセラミドは、天然由来または合成由来の例えばタイプII、タイプIII、タイプIV、タイプVまたはタイプVIおよびそれらの混合物のいかなるタイプのセラミドも含む。列挙され得るセラミドの例は、N-オレイルジヒドロスフィンゴシン、N-ステアロイルフィトスフィンゴシン、N- α -ヒドロキシビヘノイルジヒドロスフィンゴシン、N- β -ヒドロキシパルミトイルジヒドロスフィンゴシン、N-リノレイルジヒドロスフィンゴシン、N- α -パルミトイルジヒドロスフィンゴシン、N-ステアロイルジヒドロスフィンゴシンおよびN-ビヘノイルジヒドロスフィンゴシン、およびそれらの混合物を含む。

【0081】

17)列挙され得るテンショニング剤の例は、以下のものを含む。

- ・合成ポリマー
- ・天然由来のポリマー
- ・混合されたシリケート
- ・ワックスミクロ粒子
- ・無機質の充填材のコロイド粒子。

【0082】

テンショニング剤として使用され得る合成ポリマーは以下のものから選ばれ得る。

- ・ポリウレタンポリマーおよびコポリマー
- ・アクリルポリマーおよびコポリマー
- ・スルホイソフタル酸ポリマー
- ・グラフト化シリコーンポリマー
- ・水溶性または水分散性の単位とLCST(下限臨界溶解温度)を有する単位を含む水溶性または水分散性ポリマー。

【0083】

テンショニング剤として使用され得るポリウレタンコポリマー、アクリルコポリマーおよびその他の合成ポリマーは、特に重縮合体、ハイブリッドポリマーおよびインターペ

ネトレイティングポリマーネットワーク(IPNs)から選ぶことができる。「インターペネトレイティングポリマーネットワーク」という用語は、2つのタイプのモノマーの同時重合および/または架橋によって得られ、単一のガラス転移温度を有している2種の貫網目構造のポリマーの混合物を意味する。テンショニング剤として好適なIPNsの例、およびそれらの製造方法は、例えば文献:US-A-6139 322およびUS-A-6465 001に記載されている。好ましくは、IPNは、少なくとも1種のポリアクリルポリマーを含み、より好ましくは、少なくとも1種のポリウレタンまたはビニリデンフロライドとヘキサフルオロプロピレンのコポリマーを含む。1つの好ましい実施態様によれば、IPNは、ポリウレタンポリマーおよびポリアクリルポリマーを含む。そのようなIPNsは、特に会社のAir Products社によって販売されているHybridurシリーズのものである。テンショニングポリマーとして特に好ましいIPNは、90~110nmの重量平均寸法および約80nmの数平均寸法を有する粒子の水性分散体の形のものである。このIPNは、好ましくは約-60 ~ +100 の範囲のガラス転移温度、T_gを有する。このタイプのIPNは、特にAir Products社によって商標名Hybridur X-01602で販売されている。本発明における使用に好適なもう1つのIPNは、Hybridur X18693-21またはHybridur 875ポリマー分散体を有している。

10

20

30

40

50

【0084】

テンショニングポリマーとして好適なその他のIPNsは、ポリウレタン、およびビニリデンフロライドとヘキサフルオロプロピレンとのコポリマーの混合物からなるIPNs、特に文献:US-A-5349003に記載されるように調製されたものを含む。変形として、それらは、Atofina社からの商品名:Kynar RC-10、147およびKynar RC-10、151である、フルオロコポリマー:アクリルポリマーの比率が、70:30~75:25である、水中へのコロイド分散の形で商業的に入手可能である。

【0085】

グラフト化シリコンポリマーの例は、参照によって本明細書に組み込まれた文献:EP-A-1038519に示される。グラフト化シリコンポリマーの好ましい例は、ポリシリコン-8(CTFA名)であり、これはチオプロピレン型の結合鎖を経てグラフト化されていて、ポリ(メタ)アクリル酸型のポリマー単位とポリアルキル(メタ)アクリレート型のポリマー単位が混合されているポリジメチルシロキサンである。この型のポリマーは、特に3M社からの商品名:VS 80(水中に10%で)またはLO 21(粉末状形態)で入手可能である。それは、プロピルチオ、メチルアクリレート、メチルメタフリレートおよびメタクリル酸の基を含有するポリジメチルシロキサンのコポリマーである。

【0086】

前述の合成ポリマーは、ラテックスの形態であってもよい。テンショニング剤として使用され得る好適なラテックスとしては、特に例えばNoveon社によってAvalure UR410およびUR460の名称で、またAvecia社によってNeorez R974、Neorez R981およびNeorez R970の名称で販売されているもののようなポリエステル-ポリウレタンおよびポリエーテル-ポリウレタン分散体、およびAvecia社によってNeocryl XK-90の名称で販売されているもののようなアクリルコポリマー分散体があげられる。

【0087】

最後に、テンショニングポリマーとして好適な合成ポリマーは、水溶性または水分散性の単位およびLCSTを有する単位を含み、LCSTを有する当該単位は、特に1%の質量濃度で5~40 の水中での脱混合熱を有する水溶性または水分散性ポリマーであり得る。この型のポリマーは、FR-A-2819429の文献にさらに十分に記載されている。

【0088】

テンショニング剤として使用できる天然由来のポリマーは、以下のものから選ぶことができる。

- ・植物性蛋白質および植物蛋白質の加水分解物
- ・植物起源の多糖類、場合によりマクロゲルの形態のもの、例えばデンプン
- ・植物由来のラテックス

【0089】

テンショニング剤として使用できる植物蛋白質および植物蛋白質の加水分解物の例としては、トウモロコシ、ライ麦、小麦(*Triticum aestivum*)、ソバ、ゴマ、スペルト小麦、エンドウ、ソラ豆、レンズ豆、大豆、およびルピナスの蛋白質および蛋白質加水分解物があげられる。

【0090】

テンショニング剤として使用できる多糖類は、熱可逆性または架橋されたゲルまたは溶液を形成できる天然由来の多糖類から選択され得る。「熱可逆性」という用語は、溶液が使用される多糖類の独特のゲル化点より低く冷却されると、これらのポリマー溶液のゲル状態が可逆的に得られることを意味する。このタイプの天然由来の多糖類としては、カラギーナンおよび最も詳しくはカップ-カラギーナンおよびイオータ-カラギーナン；寒天、ゲラン；アルギン酸塩；ペクチン；キトサンおよびその誘導体；プルランおよびその誘導体があげられる。これらのテンショニング多糖類は、文献FR-A-2829025に記載されているようにミクロゲルの形態で存在し得る。

10

【0091】

また、多糖類は、デンプンおよびその誘導体から選ばれてもよい。デンプンは、例えば、米、トウモロコシ、ジャガイモ、キャッサバ、エンドウ、小麦、オート麦などのどんな由来のものでもよく、それは天然のままでもよく、場合により、例えば架橋、アセチル化、または酸化のような処理の手段によって変性されていてもよい。それは場合によりグラフト化されていてもよい。テンショニング剤として使用され得るデンプンとして、列挙され得る例は、Lambert-Riviere社によって、Remi Driの名称で販売されている製品である。

20

【0092】

本発明に従って使用され得るもう1つのクラスのテンショニング剤は、混合シリケートからなる。この用語は、アルカリ金属(例えばNa、LiまたはK)またはアルカリ土類金属(例えばBe、MgまたはCa)および遷移金属から選ばれたいくつかのタイプの陽イオンを含む天然由来または合成由来のシリケートを意味する。望ましくは、フィロ珪酸塩、すなわち、 SiO_4 の4面体がラメラ状に組織化され、その間に金属カチオンが封入されている構造を有するシリケートが使用される。テンショニング剤として特に好ましいシリケートの1つの系統群は、ラポナイト群である。ラポナイトは、モンモリロナイトと同様の層構造を有するマグネシウムリチウムナトリウムシリケートである。ラポナイトは、ヘクトライトとして知られている天然の無機質の合成のフォームである。例えば、Rockwood社によってLaponite XLSまたはLaponite XLGの名前で販売されているラポナイトが使用できる。

30

【0093】

テンショニング剤のさらにもう1つのクラスは、ワックスミクロ粒子からなる。これらは一般に、 $5\mu m$ 未満またはさらに好ましくは $0.5\mu m$ 未満の直径を有する粒子群であり、本質的には例えば、カナウパロウ、カンドリラロウまたはアフリカハネガヤワックスから選ばれるワックスまたはワックス混合物からなる。ワックスまたはワックス混合物の融点は、好ましくは $50\sim 150$ である。

【0094】

別の変形として、使用され得るテンショニング剤は、無機質充填剤のコロイド粒子である。「コロイド粒子」という用語は、水性、水性-アルコール性またはアルコール性の媒体中に分散されたコロイド粒子で、 $0.1\sim 100nm$ 、好ましくは $3\sim 30nm$ の数平均直径を有しているものを意味する。列挙され得る無機質充填剤の例は、シリカ、セリウム酸化物、ジルコニウム酸化物、アルミナ、炭酸カルシウム、硫酸バリウム、硫酸カルシウム、酸化亜鉛、および二酸化チタンを含む。特に好ましい無機質充填剤は、シリカである。コロイド状シリカ粒子は、特にCatalysts & Chemicals社からCosmo S-40およびCosmo S-50の商品名で、コロイド状シリカの水性分散体の形で入手できる。また、シリカ-アルミナコンポジットコロイド状粒子も、例えばGrace社によってLudox AM、Ludox HSAおよびLudox TMAの名前で販売されているようなものが使用され得る。

40

【0095】

50

18) 筋弛緩剤

表情のしわを取り除くための薬剤であり、列挙され得る例は、サボゲニン(特許出願EP-A-1352 643を参照); アデノシン(特許出願FR-02/14828を参照); カルシウムチャンネルに関連している受容体の拮抗物質(特許出願FR-A-2793681を参照)および特にマグネシウムおよびその塩(特許出願FR-A-2809005を参照)、およびアルベリン(特許出願FR-A-2798590を参照); グリシンを含む塩素チャンネルに関連している受容体の作動薬(特許出願EP-A-07042 10を参照)およびニオイアヤメ(*Iris pallida*)の特定の抽出物(特許出願FR-A-2746951を参照)を含む。

【0096】

IV) 殺菌性または抗菌性活性剤

特に2, 4, 4'-トリクロロ-2'-ヒドロキシジフェニルエーテル(すなわちトリクロサン)、3, 4, 4'-トリクロロバニリド(すなわち、トリクロカルバン)、フェノキシエタノール、フェノキシプロパノール、フェノキシイソプロパノール、ヘキサミジンイソチオネート、メトロニダゾールおよびその塩、メコナゾールおよびその塩、イトラコナゾール、ターコナゾール、エコナゾール、ケトコナゾール、サベルコナゾール、フルコナゾール、クロトリマゾール、プトコナゾール、オキシコナゾール、スルファコナゾール、スルコナゾール、ターピナフィン、シクロピロックス、シクロピロックスシクロピロクスオラミン、ウンデシレン酸およびその塩、ベンゾイルパーオキサイド、3-ヒドロキシ安息香酸、4-ヒドロキシ安息香酸、フィチン酸、N-アセチル-L-システイン酸、リポ酸、アゼライン酸およびその塩、アラキドン酸、レゾルシノール、2, 4, 4'-トリクロロ-2'-ヒドロキシジフェニルエーテル、3, 4, 4'-トリクロロカルバニリド、オクトピロックス、オクトキシグリセロール、オクタノールグリセリン、カプリルイルグリセロール、10-ヒドロキシ-2-デカン酸、WO-A-93/18743の文献に記載されているジクロロフェニルイミダゾールジオキソランおよびその誘導体、ファルネソール、フィトスフィンゴシン、セレニウム誘導体、ジंकピリチオン、テトラサイクリン、例えばエリソマイシン、およびこれらの化合物の混合物があげられる。

【0097】

V) 抗炎症または鎮静活性剤

例えばペンタサイクリクトリテルペンおよびそれらを含む植物抽出物(例えばカンゾウ)、例えば -グリシルレチン酸およびその塩および/またはその誘導体(グリシルレチン酸モノグルクロニド、ステアリルグリシルレチネートまたは3-ステアロイロキシグリシルレチン酸); ウルソル酸およびその塩; オレアノール酸およびその塩; ベツリン酸およびその塩; ペアバエオノアサフルチコサ(*pea Paeonia suffruticosa*)、ラクチフローラ(*lactiflora*)、ラミナリアサッカリナ(*Laminaria saccharina*)、カモマイル(*chamomile*)、ピゲウム(*Pygeum*)、ボスウェリアセルラタ(*Boswellia serrata*)、センチペダクンニガミ(*Centipeda cunnighami*)、ヘリアンサスアヌス(*Helianthus annuus*)、リナムウシタチシマム(*Linum usitatissimum*)、コラニチダ(*Cola nitida*)、クローブ(*clove*)、エピロビウムアングスチフォリウム(*Epilobium angustifolium*)またはバコパモニエリ(*Bacopa monieri*)の抽出物; サリチル酸塩、および特に亜鉛サリチル酸塩; Codif社からのフィコサッカライド; カノラ油; ビサボロール; アラントイン; SEPPIC社からのSepivital EPC(ビタミンEとCのリン酸ジエステル); 例えばジャコウバラ油、クロフサスグリ油、*Echium oil*、または魚油などのオメガ-3不飽和油; カプリロイルグリシン; SEPPIC社からのSeppicalm VG(ナトリウムバルミトイルピロリンおよびニンフェアアルバ(*Nymphaea alba*)); コトリエノール; ピペロナル、アロエベラ; フィトステロールがあげられる。

【0098】

VI) 脂肪分解性またはスリム化活性剤、

すなわち、脂肪組織の減少に直接的または間接的に好都合な活性剤、例えば:

・キサンチン誘導体、例えば、カフェインおよびその誘導体、特にFR-A-2617401の文献に記載されている1-ヒドロキシアルキルクサンチン、クエン酸カフェイン、テオフィリンおよびその誘導体、テオブロミン、アセフィリン、アミノフィリン、クロロエチルチオフィ

10

20

30

40

50

リン、ジプロフィリン、ジニプロフィリン、エタミフィリンおよびその誘導体、エトフィリン、プロキシフィリン；またはキサンチン誘導体を含む組み合わせ、例えばカフェインおよびシラノール(カフェインのメチルシラントリオール誘導体)の組み合わせ、例えばExsymol社によってcafeisilane Cの名前で販売されている製品；またはキサンチン塩基を含む天然由来の化合物および特にカフェイン、例えば紅茶、コーヒー、ガラナ、マテ、コーラ(コーラの木(*Cola nitida*))の抽出物および特に8~10%のカフェインを含有するガラナ果実(パウリナソルビリス(*Paulina sorbilis*))の乾燥抽出物；特に例えばマファン(マオウ属植物)のような植物中に天然の形で存在するエフェドリンおよびその誘導体があげられる。

【0099】

・植物抽出物および海洋由来の抽出物で、例えば -2ブロッカー、NPYブロッカー(EP-A-838217の文献に記載されている)のような抑制される受容体に活性であるか、またはLDLまたはVLDL受容体の合成を抑制するか、またはアデニルシクラーゼの活性化を導く受容体およびG蛋白質の刺激に活性であるもの。列挙され得るこのタイプの植物抽出物の例は、以下のものを含む。

- ・ガルシニア カンボジア(*Garcinia cambogia*)、
- ・マンシュウミシマサイコ(*Bupleurum chinensis*)の抽出物、
- ・つる性ツタ(*Hedera helix*)、アルニカ(*Arnica Montana L*)、ローズマリー(*Rosmarinus officinalis N*)、マリーゴールド(*Calendul officinalis*)、サルビアオフィキナリス(*Salvia officinalis L*)、チョウセンニンジン(*Panax ginseng*)、セントジョーンズワート(*Byperycum perforatum*)、ルスカス(*Ruscus aculeatus L*)、ウルマリア(*Filipendula ulmaria L*)、オルソシホン(*Orthosiphon stamincus Benth*)、樺(*Betula alba*)、ポンプウッドおよびアーガンツリーの抽出物、
- ・イチョウ(*ginko biloba*)の抽出物、
- ・トクサ(*horsetail*)の抽出物、
- ・エスシン(*escine*)の抽出物、
- ・カンズー(*cangzhu*)の抽出物、
- ・クリサンセルムインジカム(*Chrysanthellum indicum*)の抽出物、
- ・ジオスゲニンが豊富なジオスコリア(*dioscoria*)植物の抽出物または純粋なジオスゲニンまたはヘコゲニンおよびそれらの誘導体、
- ・アルメニアシア属(*genus Armeniaceae*)、アトラクチロディスプラチコドン(*Atractylodis platicodon*)、シノン-メニウム(*Sinom-menum*)、ファービチディス(*Pharbitidis*)およびフレミンジア(*Flemingia*)の植物の抽出物、
- ・例えばC.フォースコーリイ(*C. forskohlii*)、C.ブルメイ(*C. blumei*)、C.エスキローリー(*C. esquirolii*)、C.スクテラロイデス(*C. scutellaroides*)、C.キサントタス(*C. xanthanthus*)、C.バーパタス(*C. barbatus*)のようなColeusの抽出物、例えば60%フォルスコリンを含むコレウスバーパタス(*Coleus barbatus*)の抽出物、
- ・バロータ(*ballota*)の抽出物、
- ・ギオア(*Guioa*)、デバリア(*Devallia*)、テルミナリア(*Terminalia*)、バリントニア(*Barringtonia*)、トレマ(*Trema*)またはアンチロピア(*Antirobia*)の抽出物。

【0100】

列挙され得る海洋由来の抽出物は、以下のものを含む。

- ・藻類または植物プランクトンの抽出物、例えばロディステロールまたはSecma社によってPhycox 75の名前で販売されているラミナリアディグタタ(*Laminaria digitata*)の抽出物、FR-A-2782921の文献に記載されているアルガスケルトネマ(*alga skeletonema*)またはFR-A-2774292の文献に記載されている珪藻(*diatoms*)。

【0101】

VII) 充填剤、および特に光学効果を与えるもの、すなわち皮膚への施用の後に以下の光学効果を与えることができる充填剤：

- ・艶におけるつや消しまたは減少；

10

20

30

40

50

・ソフト焦点効果：「ソフト焦点効果」という用語は、しわ、毛穴、および皮膚の微小起伏の不規則性における目に見える減少で、この減少は不規則な微小起伏に関する不完全性が存在する皮膚に化粧組成物を施用後にすぐに得られることを意味する。

・顔色の均質化および軽量化：

「顔色の均質」という用語は、皮膚の異常変色および色素性不規則における目に見える減少で、化粧組成物を施用した後にすぐに得られることを意味する。

【0102】

充填剤は固体の、一般に白い粒子群であり、その粒子群は、組成物の媒体中に不溶性である。

【0103】

本発明に使用され得る光学効果を有する充填剤の中には、無機質充填剤(無定形2酸化チタンおよび/またはルチルおよび/またはアナターゼ形で結晶化された2酸化チタン、酸化亜鉛、酸化鉄、酸化セリウム、シリカ、アルミナ、窒化ホウ素、タルク、セリサイト、雲母など)で、被覆されまたは被覆されていないもの、およびまたコンポジット充填剤、真珠層、粘土、デンプンおよびその誘導体、アクリル化スチレン、メラミン-ホルムアルデヒドまたはユリア-ホルムアルデヒド樹脂粒子の水性分散液、ポリテトラフルオロエチレン(PTFE)の水性分散体、ワックスのマイクロ分散体、ポリビニルピロリドン/1-トリコンテン共重合体、シリコンワックスおよび樹脂、オルガノシロキサン粒子群、塩化ビニリデン、アクリロニトリル、およびメタクリレートの膨張ターポリマーの微小粒、ナイロン粒子、セルロースマイクロビーズ、繊維、例えばTakemoto Oil and Fat社によってNLK-500およびNKL-503の名前で販売されているもののような中空で半球状のシリコン粒子群があげられる。

【0104】

VIII)日焼け止め剤

通常、化粧品に使用され得るUVAおよびUVBの化学的日焼け止め剤または物理的なサンプロックから選ばれる。

【0105】

列挙され得るUVB遮蔽剤の例は、以下のものが含まれる。

- (1)サリチル酸誘導体、特にホモメンチルサリチル酸塩、およびオクチルサリチル酸塩；
- (2)桂皮酸誘導体、特にGivaudan社によってParsol MCXの名前で販売されている2-エチルヘキシル-p-メトキシシナメート；
- (3)液体の、'-ジフェニルアクリレート誘導体、特にBASF社によってUvinul N539の名前で販売されている2-エチルヘキシル-'-シアノ-、'-ジフェニツアクリレートまたはオクトクリレン；
- (4)p-アミノ安息香酸誘導体；
- (5)Merk社によってEusolex 6300の名前で販売されている4-メチルベンジリデンカンファ；
- (6)Merk社によってEusolex 232の名前で販売されている2-フェニルベンズイミダゾール-5-スルホン酸；
- (7)1,3,5-トリアジン誘導体、特に
 - ・BASF社によってUvinul T150の名前で販売されている2,4,6-トリス[p-(2'-エチルヘキシル-1'-オキシカルボニル)アニリノ]-1,3,5-トリアジンおよび
 - ・Sigma 3V社によってUvasorb HEBの名前で販売されているジオクチルプタミドトリアジン；
- (8)これらの日焼け止め剤の混合物

【0106】

列挙され得るUVA遮蔽剤の例は、以下のものを含む。

- (1)ジベンゾイルメタン誘導体、特にGivaudan社によってParsol 1789の名前で販売されている4-(tert-ブチル)-4'-メトキシジベンゾイルメタン；
- (2)Chimex社によってMexoyl SXの名前で販売されていて、場合により部分的にまたは全部中和された形のベンゼン-1,4-ビス(3-メチリデンカンファ-10-スルホン酸)；

10

20

30

40

50

(3)ベンゾフェノン誘導体、例えば：

- ・ 2,4-ジヒドロキシベンゾフェノン(ベンゾフェノン-1)；
- ・ 2,2',4,4'-テトラヒドロキシベンゾフェノン(ベンゾフェノン-2)；
- ・ BASF社によってUvinul M40の名前で販売されている2-ヒドロキシ4-メトキシベンゾフェノン(ベンゾフェノン-3)；
- ・ BASF社によってUvinul MS40の名前で販売されている2-ヒドロキシ4-メトキシベンゾフェノン-5-スルホン酸(ベンゾフェノン-4)、およびまたそのスルホネート形のもの(ベンゾフェノン-5)；
- ・ 2,2'-ジヒドロキシ-4,4'-ジメトキシベンゾフェノン(ベンゾフェノン-6)；
- ・ 5-クロロ-2-ヒドロキシベンゾフェノン(ベンゾフェノン-7)；
- ・ 2,2'-ジヒドロキシ-4-メトキシベンゾフェノン(ベンゾフェノン-8)；
- ・ 2,2'-ジヒドロキシ-4,4'-ジメトキシベンゾフェノン-5,5'-ジスルホン酸のジナトリウム塩(ベンゾフェノン-9)；
- ・ 2-ヒドロキシ-4-メトキシ-4'-メチルベンゾフェノン(ベンゾフェノン-10)；
- ・ ベンゾフェノン-11
- ・ 2-ヒドロキシ-4-(オクチロキシ)ベンゾフェノン(ベンゾフェノン-12)；

(4)シラン誘導体またはベンゾフェノン基を含むポリオルガノシロキサン；

(5)アントラニラート、特にHaarman & Reimer社によってNeo Heliopan MAの名前で販売されているメチルアントラニラート；

(6)分子当たり少なくとも2個のベンザゾイル基または少なくとも1個のベンゾジアゾイル基を含む化合物、特にHaarman & Reimer社によって販売されている1,4-ビス(ベンゾイミダゾリル)フェニレン-3,3',5,5'-テトラスルホン酸、およびその塩；

(7)N-置換ベンゾイミダゾリル-ベンザゾールまたはベンゾフラニルベンザゾールのシリコン誘導体、および特に

- ・ 2-[1-[3-[1,3,3,3-テトラメチル-1-[(トリメチルシリル)オキシ]ジシロキシ]プロピル]-1H-ベンズイミダゾール]-2-イル]ベンゾキサゾール；
- ・ 2-[1-[3-[1,3,3,3-テトラメチル-1-[(トリメチルシリル)オキシ]ジシロキシ]プロピル]-1H-ベンズイミダゾール]-2-イル]ベンゾチアゾール；
- ・ 2-[1-[3-トリメチルシラニルプロピル]-1H-ベンズイミダゾール]-2-イル]ベンゾキサゾール；
- ・ 6-メトキシ-1,1'-ビス(3-トリメチルシラニルプロピル)-1H,1'H-[2,2']ピベンズイミダゾイルベンゾキサゾール；
- ・ 2-[1-[3-トリメチルシラニルプロピル]-1H-ベンズイミダゾール]-2-イル]ベンゾチアゾール；

それらはEP-A-1028120の文献に記載されている。

(8)トリアジン誘導体、および特にCiba Geigy社によってTinosorb Sの名前で販売されている2,4-ビス{[4-(2-エチルヘキシルオキシ)-2-ヒドロキシ]フェニル}-6-(4-メトキシフェニル)-1,3,5-トリアジンおよびCiba Geigy社によってTinosorb Mの名前で販売されている2,2'-メチレンビス[6-(2H-ベンゾトリアゾール-2-イル)-4-(1,1,3,3-テトラメチルブチル)フェノール]；

(9)特に文献EP-A-0392883に記載されているベンゾトリアゾールシリコン、特に下記の式のベンゾトリアゾールシリコン；

【 0 1 0 7 】

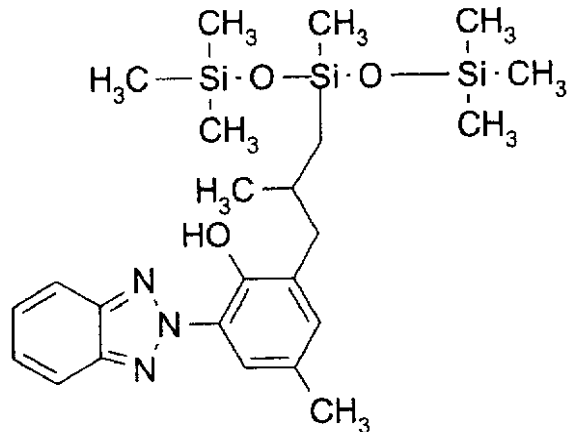
10

20

30

40

【化1】



10

【0108】

(10)それらの混合物

これらのスクリーニング剤の数種の混合物もまた使用され得る。

【0109】

IX)皮膚着色剤および毛髪着色剤

特に皮膚着色剤は、例えばジヒドロキシアセトン(DHA)、例えば植物抽出物などの天然染料、例えばサトウモロコシの抽出物、および光学的光沢剤があげられる。

20

【0110】

光学的光沢剤は、当業者よく知られた蛍光物質の系統群である。そのような化合物は、"Fluorescent Whightening Agent, Encyclopedia of Chemical Technology, Kirk-Othmer", vol.11, pp.227~241, 4th edition, 19994, Wileyに記載されている。それらは光学的に皮膚を漂白する薬剤であり、蛍光特性を付与された化学物質からなり、紫外領域(400nm未満の波長で最大の吸収)を吸収して、380nmから830nmの波長で蛍光を経てエネルギーを再放射する。400nmから480nmのエネルギーの放出は、可視範囲の青い領域での放射をもたらし、この放射が皮膚の上に起こると、可視的に白化(whitening)に寄与する。

【0111】

それらは、さらに詳しくは本質的には290~400nmのUVAとUVBの範囲で吸収し、本質的には400~525nmで再放射する化合物として定義される。好ましく使用される光学的光沢剤のとして、スチルベン誘導体、クマリン誘導体、オキサゾール、ベンゾオキサゾール誘導体、およびイミダゾール誘導体がある。そのような化合物は容易に商業的に利用可能である。望ましくは、本発明に従って製品の中に使用される蛍光増白剤は、Ciba Geigy社によってTinopal CBS-X(登録商標)の名前で販売されているジスチリル-4,4'-ビフェニルジスルホネートである。また、列挙され得る例は、ナトリウム4,4'-ビス[(4,6-ジアニリノ-1,3,5-トリアジン-2-イル)アミノ]スチルベン-2,2'-ジスルホネートおよび2,5-チオフェンジイルビス(5-tert-ブチル-1,3-ベンゾキサゾール)を含み、それらはCiba Geigy社によってTinopal SOP(登録商標)およびUvitex 0B(登録商標)の名前で販売されている。

30

40

【0112】

X)コンシーラー

例えばビタミンK1およびその誘導体およびクマリンがあげられる。

【0113】

XI)制汗活性剤

例えばアルミニウムおよび/またはジルコニウム塩、例えば、アルミニウムクロロハイドレート、アルミニウムクロロハイドレックス、アルミニウムクロロハイドレックスPEG、アルミニウムクロロハイドレックスPG、アルミニウムジクロロハイドレート、アルミニウムジクロロハイドレックスPEG、アルミニウムジクロロハイドレックスPG、アルミニウムセスキクロロハイドレート、アルミニウムセスキクロロハイドレックスPEG、アルミニウ

50

ムセスキクロロハイドレックス PG、アラム(alum)塩、硫酸アルミニウム、アルミニウムジルコニウムオクタクロロハイドレート、アルミニウムジルコニウムペンタクロロハイドレート、アルミニウムジルコニウムテトラクロロハイドレート、アルミニウムジルコニウムトリクロロハイドレートおよびさらに詳しくはReheis社によってReach 301または303の名前で販売され、あるいはGuilini Chemie社によってAloxicol PF40の名前で販売されているアルミニウムクロロハイドレート、およびReheis社によってReach AZP-908-SUFの名前で販売されているアルミニウムジルコニウム塩;文献US-A-3792068に記載されているもののようなジルコニウムハイドロキシクラライドおよびアルミニウムハイドロキシクラライドとアミノ酸との複合体、これらは「ZAG複合体」として一般的に知られており、例えばアルミニウムジルコニウムオクタクロロハイドレックス GLY、アルミニウムジルコニウムペンタクロロハイドレックス GLY、アルミニウムジルコニウムテトラクロロハイドレックス GLY、およびアルミニウムジルコニウムトリクロロハイドレックス-GLYがあげられる。

【0114】

XII)消臭活性剤

例えば亜鉛ピロリドンカルボキシレート(亜鉛ピドレートとしてより一般的に知られている)、硫酸亜鉛、塩化亜鉛、乳酸亜鉛、グルコン酸亜鉛、およびフェノールスルホン酸亜鉛、2,4,4'-トリクロロ-2'-ヒドロキシジフェニルエーテル(トリクロサン)、2,4-ジクロロ-2'-ヒドロキシジフェニルエーテル、3',4',5'-トリクロロサリチルアニリド、1-(3',4'-ジクロロフェニル)-3-(4'-クロロフェニル)尿素(トロクロカルバン)または3,7,11-トリメチルドデカ-2,5,10-トロエノール(ファルネソール);第四級アンモニウム塩、例えばセチルトリメチルアンモニウム塩およびセチルピリジニウム塩;クロルヘキシジンおよびその塩;ジグリセリルモノカプレート、ジグリセリルモノラウレートおよびグリセリルモノラウレート;ポリヘキサメチレンピグアニド塩が挙げられる。

【0115】

XIII)毛髪トリートメント活性剤

例えば(1)脱毛防止剤および毛髪成長刺激剤、例えばミノキシジル、ピオチン、アミネキシル、システイン、フィナステライド、2,4-ジピリミジンN-オキサイド、パンテノールおよびその誘導体、フラバノンT、カルシウム拮抗剤、例えばジルチアゼム、ベラパミル、アルベリンおよびニフェジピン、ホルモン、例えばプロゲステロン、FPレセプター拮抗剤、例えばラタノプロスト、タイプ-1、15-ヒドロキシプロスタグランジン脱水素酵素阻害剤、プロスタグランジンおよびその誘導体、またはさらに一般的にはタイプ-IまたはIIの抗5-アルファレダクターゼ活性を有する植物抽出物;(2)フケ予防剤、例えばジंकピリチオン、1-ヒドロキシ-2-ピロリドン誘導体またはセレニウムサルファイドがあげられる。

【0116】

XIV)脱毛剤

毛髪の成長を阻害するために使用され、例えばチオグリコール酸およびその誘導体;ジチオグリコール酸およびその誘導体;文献US-A-6407056に記載されたセリンプロテアーゼ;コヒー酸;ケルセチン;没食子酸プロピル;ノルヒドログアイアラチン酸またはNDGA;インドメタシン;塩酸エフロルニチン;文献US-A-6171595に記載されている植物抽出物;例えば、クローブ、バラのつぼみ、ワレモコウ、ベンガルガンビールの抽出物;US-A-6075052に記載されている化合物;テトラミソール;ナトリウムオルソバナデート;レバミソール;ジナトリウムクロモグリケイト;硝酸バナジウム;文献US-A-6020006に記載された硝酸ガリウム;US-A-4885289、US-A-4720489、US-A-5132 293、US-A-5096911、US-A-5095007、US-A-5143925、US-A-5328686、US-A-5440090、US-A-5364885、US-A-5411991、US-A-5648394、US-A-5468476、US-A-5475763、US-A-5455608、US-A-5674477、US-A-5728736およびUS-A-5652273、WO-A-94/27586、WO-A-94/27563およびWO-A-98/03149に記載されている化合物;文献US-A-6375948に記載されているビャクシンの抽出物があげられる。

【0117】

XV)顔料

特に得られる製品が皮膚をメーキャップすることが意図される場合、またはそれらが金属

酸化顔料である場合、または得られる製品が着色された毛髪または皮膚を日光から保護するために抗日光製品を構成することが意図される場合に使用される。

【0118】

これらの顔料は、無機質のおよび/または有機の、障害性の、ゴニオクロマチック (goniochromatic) の、蛍光性の、白色の、着色された、真珠光沢の、反射性のものであり得、または、フレークの形であり得る。「顔料」という用語は、組成物の生理学的な媒体中に溶解しない粒子を意味するものとして理解されるべきである。

【0119】

列挙され得る無機質顔料の中には、場合により表面処理されている二酸化チタン、ジルコニウム酸化物またはセリウム酸化物、およびまた酸化亜鉛、酸化鉄(黒い、黄色いまたは赤い)、クロム酸化物、マンガンバイオレット、群青、クロムヒドレートおよび第二鉄青があげられる。列挙され得る有機顔料の中には、カーボンブラック、例えばバリウム、ストロンチウム、カルシウム、またはアルミニウムの有機レーキのような顔料があげられ、食品医薬品局 (FDA) (例えばD&CまたはFD&C) による認可のために提出されているものおよびFDA認可を免除されたもの、例えばコチニールカルミンに基づくレーキを含む。

【0120】

真珠光沢顔料または真珠層は、例えばチタニウムまたはビスマスオキシクロライドで被覆された雲母のような白色の真珠光沢顔料、例えば鉄酸化物が付いたチタニウムマイカ、特に第2鉄青またはクロム酸化物が付いたチタニウムマイカ、前記のタイプの有機顔料が付いたチタニウムマイカ、およびビスマスオキシクロライドに基づく真珠光沢顔料から選ぶことができる。列挙され得る、商業的に利用できる真珠層の中には、Engelhard社によってTimica(登録商標)およびFlamenco(登録商標)の名前で販売され、およびMerk社によってTimiron(登録商標)の名前で販売されている真珠層がある。

【0121】

また、例えば多層障害構造を有するゴニオクロマチック (goniochromatic) 顔料、例えば Dupont de Nemours社によって販売されているAl/SiO₂/Al/SiO₂/Al構造のもの; Flex社によってChromaflair(登録商標)の名前で販売されているCr/MgF₂/Al/MgF₂/Cr構造のもの; BASF社によってSicopearl(登録商標)の名前で販売されているMoS₂/SiO₂/Al/SiO₂/MoS₂、Fe₂O₃/SiO₂/Al/SiO₂/Fe₂O₃、またはFe₂O₃/SiO₂/Fe₂O₃/SiO₂/Fe₂O₃構造のもの; Merk社からXirona(登録商標)の名前で販売されているMoS₂/SiO₂/マイカ酸化物/SiO₂/MoS₂、Fe₂O₃/SiO₂/マイカ酸化物/SiO₂/Fe₂O₃、TiO₂/SiO₂/TiO₂またはTiO₂/Al₂O₃/TiO₂構造のものも使用することができる。Shiseido社からInfinite Colors(登録商標)の名前で販売されている顔料もまた言及することができる。

【0122】

また、反射性顔料、例えば銀でコーティングされたガラス基質を血小板の形状で有する粒子群、例えばToyal社によってMicroglass Metashine REFSX 2025(登録商標)の名前で販売されているもの; ニッケル/クロム/モリブデン合金で被覆されたガラス基質を有する粒子群、例えばToyal社によってCrystal Star GF55(登録商標)およびGF2525(登録商標)の名前で販売されているもの; 褐色の酸化鉄で被覆されたガラス基質を含む、Engelhard社によって販売されているReflecks(登録商標)の商品名の顔料; 少なくとも2つのポリマー層のスタックを含む粒子群、例えば3M社によってMirror Glitter(登録商標)の名前で販売されているものを使用することもできる。

【0123】

使用され得る液晶のゴニオクロマチック粒子の例は、Chenix社によって販売されているものおよびWacker社によってHelicone(登録商標) HCの名前で販売されている製品を含む。

【0124】

XVI) 染料

フィルムおよび/または水性組成物に色を与えるものであり、特に水溶性染料、例えば硫酸銅、硫酸鉄、水溶性スルホポリマー、ローダミン、天然染料、例えばカロチンおよび

10

20

30

40

50

ビート根ジュース、メチレンブルー、カラメル、タートラジンのジナトリウム塩およびフスチンのジナトリウム塩、およびそれらの混合物があげられる。油溶性染料もまた場合により使用され得る。染料は、好ましくは、フィルム中に存在する。したがって、水性組成物はそのときに所望する色合いに応じて、使用時点で着色され得る。

【0125】

染料と顔料は、色が必要な目的(例えば、健康的な顔色または隠蔽効果)の機能として変更することができる。

【0126】

XVII) 香料

芳香性材料の混合物を含む混合香料または単離された芳香性材料のいずれのタイプであってもよい。したがって、キットは、水性組成物中で混合された数種のフィルムが特別な芳香を与えるようにそれぞれが異なる芳香性材料を含む数種のフィルムを含むことができる。製品が皮膚に施用されたときにリラックス効果を与える筋肉をリラックスさせる性質を有する香料もまた、導入されうる。

【0127】

芳香性材料は、調香師によって通常使用され、それらは特に S. Arctander, Perfume and Flavor Chemicals (Montclair, N.J., 1969) および S. Arctander, Perfume and Flavor Materials of Natural Origin (Elizabeth, N.J., 1960) および "Flavor and Fragrance Materials-1991". Allured Publishing Co. Wheaton, Ill. USA. に記載されている。

【0128】

それらは、天然製品(精油、アブソリュート、レジノイド、樹脂または具体物)および/または合成製品(炭化水素、アルコール、アルデヒド、ケトン、エーテル、酸、エステル、アセタール、ケタールまたはニトリルで、飽和または不飽和、および脂肪族または環状であり得る)でもよい。

【0129】

精油の例は、レモン、オレンジ、アニスの実(aniseed)、ベルガモット(bergamot)、バラ、ゼラニウム(geranium)、しょうが(ginger)、ネロリ(neroli)、バジル(basil)、ローズマリー(rosemary)、カルダモン(cardamom)、樟脳(campher)、杉(cedar)、カモマイル(c hamomile)、ビャクダン(sandalwood)、およびセージ(sage)の精油、およびその混合物を含むが、このリストは制限するものではない。

【0130】

その他の芳香性材料は、特にゲラニオール、ゲラニルアセテート、ファルネソール、ボルネオール、ボルニルアセテート、リナロール、リナリルアセテート、リナリルプロピオナート、リナリルブチラート、テトラヒドロリナロール、シトロネロール、シトロネリルアセテート、シトロネリルホルメート、シトロネリルプロピオナート、ジヒドロミリセノール、ジヒドロミリセニルアセテート、テトラヒドロミリセノール、テルピネオール、テルピニルアセテート、ノポール、ノピルアセテート、ネロール、ネリルアセテート、2フェニルエタノール、2フェニルエチルアセテート、ベンジルアルコール、ベンジルアセテート、ベンジルサリチレート、スチラリルアセテート、ベンジルベンゾエート、アミルサリチレート、ジメチルベンジルカルピノール、トリクロロメチルフェニルカルピニルアセテート、p-tert-ブチルシクロヘキシルアセテート、イソノニルアセテート、ベチベリルアセテート、ベチペロール、 α -ヘキシルシンナムアルデヒド、2-メチル-3-(p-tert-ブチルフェニル)プロパノール、2-メチル-3-(p-イソプロピルフェニル)プロパノール、3-(p-tert-ブチルフェニル)プロパノール、2,4-ジメチルシクロヘキシ-3-エニルカルボキシアリデヒド、トリクロロデセニルアセテート、トリクロロデセニルプロピオネート、4-(4-ヒドロキシ-4-メチルペンチル)-3-シクロヘキセンカルボキシアリデヒド、4-(4-メチル-3-ペンテニル)-3-シクロヘキセンカルボキシアリデヒド、4-アセチトキシ-3-ペンチルテトラヒドロピラン、3-カルボキシメチル-2-ペンチルシクロペンタン、2-n-ヘプチルシクロペンタノン、3-メチル-2-ペンチル-2-シクロペンタノン、メンソン、カルボネ、タゲトン、ゲラニルアセトン、n-デカナール、n-ドデカナール、9-デセン-1-オール、フェノキシ

10

20

30

40

50

エチルイソブチレート、フェノキシアセトアルデヒド、ジメチルアセタール、フェニルアセトアルデヒドジエチルアセタール、ゲラノニトリル、シトロネロニトリル、セディリルアセテート、3-イソカンフィルシクロヘキサノール、セディリルメチルエーテル、イソロンジホラノン、アウベピノニトリル、アウベピン、ヘリオトロピン、クマリン、オイゲノール、バニリン、ジフェニルエーテル、シトラール、シトロネラール、ヒドロキシシトロネラール、ダマスコン、イオノネス、メチルイオノネス、イソメチルイオノネス、ソラノン、イロネス、シス-3-ヘキセノールおよびそのエステル、インダネムスク、テトラリンムスク、イソクロマンムスク、マクロサイクリックケトン、マクロラクトンムスク、およびエチレンブラシレートおよびそれらの混合物である。

【0131】

XVIII) ポリマー

前に示されるように無水フィルム中に本来存在し得るが、無水フィルム中に存在する他のポリマーを使用することも可能であり、水性組成物に特別なレオロジー的性質を与えやすい。列挙され得るポリマーの例は、例えばNoveon社によってCarbopol (INCI名:カルボマー)およびPemulen (INCI名:アクリレート/C10~30アルキルアクリレート架橋ポリマー)の名前で販売されている製品などの変性され、または変性されていないカルボキシビニルポリマー;例えばGuardian社によってLubrajelおよびNorgelの名前で、またはHispano Chimaca社によってHispagelの名前で販売されている製品などのポリアクリレートおよびポリメタクリレート;ポリアクリルアミド;場合により架橋されおよび/または中和されている2-アクリルアミド-2-メチルプロパンスルホン酸ポリマーおよびそのコポリマー、例えばClariant社によって"Hostacerin AMPS" (INCI名:アンモニウムポリアクリルジメチルタウラミド)の名前で販売されているポリ(2-アクリルアミド-2-メチルプロパンスルホン酸);W/O型乳化物の形態である、架橋されたアクリルアミドおよびAMPSのアニオン性コポリマー、例えばSEPPIC社によってSepigel 305 (INCI名:ポリアクリルアミド/C13~14イソパラフィン/ラウレス-7)およびSimulgel 600 (INCI名:アクリルアミド/ナトリウムアクリロイルジメチルタウレートコポリマー/イソヘキサデカン/ポリソルベート80)の名前で販売されているもの;多糖類バイオポリマー、例えばキサンタンガム、グアーガム、カロブガム、アカシアガム、スクレログルカン、キチンおよびキトサン誘導体、カラギーナン、ゲラン、アルギネート、セルロース、例えば微結晶セルロース、カルボキシメチルセルロース、ヒドロキシメチルセルロースおよびヒドロキシプロピルセルロース;会合ポリマー、例えば会合ポリウレタン、親水性の連鎖で分離された6~30個の炭素原子を含有する少なくとも2つの炭化水素ベース親油性鎖を含むコポリマー、例えばHuls社によってSerad FX1010、Serad FX1100およびSerad FX1035の名前で販売されているポリウレタン (INCI名:ポリウレタン)、Rheox社によってRheolate 255、Rheolate 278およびRheolate 244の名前で販売されているもの (INCI名:ポリエーテル-尿素-ポリウレタン)、Rohm & Haas社によってDW 1206F、DW 1206J、DW 1206BおよびDW 1206Gの名前で販売されているもの (INCI名:ポリウレタン)、およびRohm & Haas社によってAcrysol RM 2020の名前で販売されている製品を含む。レーキおよびヘアスタイル製品で従来使用されているもののような固定用ポリマーもまた使用され得る。

【0132】

XIX) 電解質

特に1価、2価、または3価の金属塩、さらに詳しくはアルカリ土類金属塩、特にバリウム、カルシウム、およびストロンチウム塩、アルカリ金属塩、例えばナトリウムおよびカリウム塩、およびマグネシウム塩、ベリリウム、イットリウム、ランタン、セリウム、プラセオジウム、ネオジウム、プロメチウム、サマリウム、ユウロピウム、ガドリニア、テルビウム、ジスプロシウム、ホルミウム、エルビウム、ツリウム、イッテルビウム、ルテチウム、リチウム、スズ、亜鉛、マンガン、コバルト、ニッケル、鉄、銅、ルビジウム、アルミニウム、珪素およびセレニウム塩、およびそれらの混合物。

【0133】

これらの塩を構成するイオンは、例えば、炭酸塩、重炭酸塩、硫酸塩、燐酸塩、スルホ

10

20

30

40

50

ン酸塩、グリセロリン酸塩、ホウ酸塩、臭化物、塩化物、硝酸塩、酢酸塩、水酸化物および過硫酸塩、および -ヒドロキシ酸イオン(クエン酸塩、酒石酸塩、乳酸塩、およびリンゴ酸塩)、果実酸イオン、 -ヒドロキシ酸イオン(サリチレート、2-ヒドロキシアルカノエート、n-アルキルサリチレートおよびn-アルカノイルサリチレート)、またはアミノ酸イオン(アスパラギン酸塩、アルギン酸塩、グリココール酸塩、およびフマル酸塩)から選ぶことができる。

【0134】

また、天然の混合物または天然の混合物の組成に近似する組成を有する混合物を含む、前記の塩の混合物、特に30~35%塩化マグネシウム、20~28%の塩化カリウム、3~10%の塩化ナトリウム、0.2~1%の塩化カルシウム、0.1~0.6%の臭化マグネシウムおよび0.1~0.5%の不溶物を含む水性混合物で、死海中に含まれる主要な塩に相応しているので、「死海バスソルト」として知られているものを使用することも可能である。

【0135】

好ましい電解質は、特に塩化ナトリウム、塩化マグネシウム、死海塩である。

【0136】

XX)pH調整剤

特に通常、目標値に組成物のpHを調整するのに化粧品で使用されるものである。それらは、例えば、無機塩基、例えば水酸化ナトリウム、有機塩基、例えばアミン(例えば、トリエタノールアミン)、無機酸、例えば塩酸、および有機酸、例えばクエン酸から選ばれた酸または塩基であり得る。

【0137】

XXI)保存剤

化粧品で通常使用されるどんな保存剤、特にフェノキシエタノール、パラベンとしても知られているパラオキシ安息香酸エステル、例えばパラオキシ安息香酸メチル(メチルパラベン)、パラオキシ安息香酸エチル(エチルパラベン)およびパラオキシ安息香酸プロピル(プロピルパラベン)およびそれらの混合物;ホルムアルデヒド放出剤、例えばイミダゾリジニルウレアまたはジアゾリジニルウレア;ハロアルキニルカルバメート、例えば、3-アイオド-2-プロピニルブチルカルバメート(IPBC);1,2-オクタジオールとしても知られているカプリルグリコール;安息香酸ナトリウム;N-(3-クロロアリル)-ヘキサミニウムクロライド(すなわちクオターニウム-15);ポリヘキサメチレンピグアニドハイポクロライド(CTFA名:ポリアミノプロピルピグアニド);アルキルトリメチルアンモニウムブロマイド、例えばドデシルトリメチルアンモニウムブロマイド、ミリスチルトリメチルアンモニウムブロマイド、ヘキサデシルトリメチルアンモニウムブロマイド、およびそれらの混合物。これらの保存剤は特に水性組成物中に存在し得る。

【0138】

前記の化合物は、考慮している分野において通常の量で最終製品中に存在し得るし、これらの量は、使用される化合物および所望の目的に依存する。化合物は、例えば、最終製品の重量に対して0.001~20重量%、好ましくは、0.01~10重量%の範囲内の量で存在し得る。所望の目的と使用される化合物に応じて、化合物は1つまたは複数のフィルム中または水性組成物中に存在する。

【発明を実施するための最良の形態】

【0139】

発明の1つの特別な実施態様によると、少なくとも1種のフィルムは外部の刺激に対して敏感な化合物から選ばれた少なくとも1種の化合物、角質溶解剤、充填剤およびテンション剤、およびそれらの混合物を含む。

【0140】

本発明によるキットは、特に皮膚、粘膜、外皮または毛髪に施用されることを意図した製品、特に例えば皮膚ケア製品または皮膚メーキャップ製品または毛髪製品または日光防護(anti-sun)製品を得るために使用され得る。

【0141】

10

20

30

40

50

本発明による組成物の以下の実施例が、限定されない例示として与えられる。その中の量は、別に言及しない場合、重量パーセントとして与えられ、名前は、場合によって化学名として、またはCTFA名として与えられる。

【実施例】

【0142】

(実施例1：しわ防止製品用キット)

無水フィルム

ヒドロキシプロピルメチルセルロース	10%	
グルセロール	5%	
パンテノール	2%	10
アデニシン	0.15%	
純水	50%	

【0143】

フィルム調製の手順:成分を全て一緒に混合する。混合物は標準ローラーまたはドクターブレード被覆手法を使用して約500 μ mの厚さでシリコンペーパーに塗布する。約50の温度の熱い空気が循環している炉中で乾燥後、得られたフィルムを、所望の形状、例えば辺長25mmを有する正方形板に切断する。

【0144】

水性組成物(漿液)

相A

キサンタンガム	0.2%	
メチルパラベン	0.2%	
フェノキシエタノール	0.35%	
水	qs 100%	20

【0145】

相B

トリエタノールアミン	0.2%	
ポリアクリルアミド/C13~C14イソパラフィン/ラウレス-7 (Sepigel 305)	1%	
ジアゾリジニルウレア	0.3%	30
グルセロール	7%	

【0146】

漿液の調製手順:相Aを、攪拌しながら約75 $^{\circ}$ に加熱し、その後に相Bを相Aに添加する。次いで攪拌を続けながら加熱を止め、混合物を室温に冷却する。その後、30分間ゆっくりと攪拌を続ける。

【0147】

使用中、消費者は、1枚または複数枚の無水フィルムのプレートを1回用量の100~500mgの水性組成物と掌中で指により約10秒間混合する。このようにして得られた組成物を皮膚の上へ伸展し、含まれている活性剤が皮膚中に進入することを促進するように、処理される部分にゆっくりとマッサージして塗りこむ。得られた組成物は、顔または体、特にしわおよびカラスの足状の細かな線の処理のために施用され得る。

【0148】

(実施例2：老化防止製品用キット)

無水フィルム

ポリビニルピロリドン	83%	
アスコルビン酸	7%	
PEG-400	10%	

【0149】

手順:成分を全て一緒に混合する。混合物を標準ローラーまたはドクターブレード被覆手法を使用して約500 μ mの厚さでシリコンペーパーに塗布する。約50の温度の熱い空

気が循環している炉中で乾燥後、得られたフィルムを、所望の形状、例えば辺長25mmを有する正方形板に切断する。

【0150】

水性組成物(O/W型乳化物)

相A(水相)

キサンタンガム	0.25%
保存剤	0.3%
水	qs 100%

【0151】

相B(油相)

シア脂	2%	10
メチルグリコースセスチアレート	2%	
PEG-20メチルグリコースセスチアレート	2%	
アプリコット核油	6%	
ステアリル脂肪族アルコール	2%	

【0152】

相C

ポリアクリルアミン/C13~C14イソパラフィン/ラウレス-7

(Sepigel 305)	1%	
保存剤	0.35%	20
揮発性シリコンオイル	10%	

【0153】

手順:相Aを攪拌しながら約75℃に加熱し、その後、非常に激しく攪拌しながら、相Aに相Bを加える。次いで、攪拌を続けながら加熱を止め、混合物を室温に戻す。その後、相Cを加える。その後、ゆっくりと攪拌を30分間続ける。

【0154】

使用中、消費者は、1枚または複数枚の無水フィルムのプレートを1回用量の100~500mgの水性組成物と掌中で指により約10秒間混合する。このようにして得られた組成物を皮膚の上へ伸展させ、含まれている活性剤が皮膚中に進入することを促進するように、処理される部分にゆっくりとマッサージして塗りこむ。得られた組成物は、顔または体、特に老化のサインを防止し、処理するために施用され得る。

【0155】

(実施例3:脂ぎった皮膚用製品キット)

無水フィルム

ヒドロキシプロピルメチルセルロース	68%
グリセロール	16%
シリカ(Asahi Glass社からのSunsphere H33)	16%

【0156】

手順:成分を全て一緒に混合する。混合物を標準ローラーまたはドクターブレード被覆手法を使用して約500μmの厚さでシリコンペーパーに塗布する。約50℃の温度の熱い空気が循環している炉中で乾燥後、得られたフィルムを、所望の形状、例えば辺長25mmを有する正方形板に切断する。

【0157】

水性組成物(O/W型乳化物)

相A(油相)

グリセリルステアレート	1.35%	
ジミリスチルタートレート/セテアリルアルコール/12~15パレス-7/		
PEG-25ラウレス25(Sasol社からのCosmacol PSE)	2%	
PEG-400ステアレート	2.7%	
イソヘキサデカン	2%	50

ステアリルアルコール	1.3%	
ビタミンE	0.1%	
保存剤	0.6%	
【0158】		
相B(水相)		
水	qs 100%	
水酸化カリウム	1.5%	
保存剤	0.25%	
アンモニウムポリアクリロイルジメチルタウレート (Hostacerin AMPS)	0.5%	
【0159】		10
相C		
揮発性シリコンオイル	6%	
【0160】		
手順:相Aおよび相Bを別々に攪拌しながら、約75 に加熱し、その後、非常に激しく攪拌しながら、相Bに相Aを加える。次いで、攪拌を続けながら加熱を止め、混合物を室温に戻す。その後、相Cを加える。その後、ゆっくりと攪拌を30分間続ける。		
【0161】		
使用中、消費者は、1枚または複数枚の無水フィルムのプレートを1回用量の100~500mgの水性組成物と掌中で指により約10秒間混合する。このようにして得られた組成物を皮膚の上へ伸展し、含まれている活性剤が皮膚中に進入することを促進させるように、処理される部分にゆっくりとマッサージして塗りこむ。得られた組成物は、顔に施用され得、それは迅速なつや消し効果を与える。		20
【0162】		
(実施例4:ケアクリーム)		
無水フィルム		
ヒドロキシプロピルメチルセルロース	60%	
グルセロール	30%	
プロピレングリコール	10%	
【0163】		
フィルム調製の手順:成分を全て一緒に混合する。混合物を標準ローラーまたはドクターブレード被覆手法を使用して約500 μ mの厚さでシリコンペーパーに塗布する。約50の温度の熱い空気が循環している炉中で乾燥後、得られたフィルムを、所望の形状、例えば辺長25mmを有する正方形板に切断する。		30
【0164】		
水性組成物		
相A		
キサンタンガム	0.2%	
メチルパラベン	0.2%	
フェノキシエタノール	0.35%	
水	qs 100%	40
【0165】		
相B		
トリエタノールアミン	0.2%	
ポリアクリルアミド/C13~C14イソパラフィン/ラウレス-7 (Sepigel 305)	1%	
ジアゾリジニルウレア	0.3%	
グルセロール	7%	
【0166】		
調製手順:相Aを、攪拌しながら約75 に加熱し、その後に相Bを相Aに添加する。次いで攪拌を続けながら加熱を止め、混合物を室温に冷却する。その後、30分間ゆっくりと攪拌		50

を続ける。

【0167】

使用中、消費者は、1枚または複数枚の無水フィルムのプレートを1回用量の100～500mgの水性組成物と掌中で指により約10秒間混合する。このようにして得られた組成物を皮膚の上へ伸展することを促進させるように、処理される部分にゆっくりとマッサージして塗る。得られた組成物は、非常に良好な施用特性を有する濃厚なクリームである。

【0168】

このクリームは顔または体に施用され得る。

【0169】

(実施例5：マッサージクリーム)

無水フィルム

ヒドロキシプロピルメチルセルロース	40%
Serad FX1100	20%
グルセロール	30%
プロピレングリコール	10%

【0170】

手順：成分を全て一緒に混合する。混合物を、標準ローラーまたはドクターブレード被覆手法を使用して約500 μ mの厚さでシリコンペーパーに塗布する。約50℃の温度の熱い空気が循環している炉中で乾燥後、得られたフィルムを、所望の形状、例えば辺長25mmを有する正方形板に切断する。

【0171】

水性組成物

相A

キサンタンガム	0.2%
メチルパラベン	0.2%
フェノキシエタノール	0.35%
水	qs 100%

【0172】

相B

トリエタノールアミン	0.2%	30
ポリアクリルアミド/C13～C14イソパラフィン/ラウレス-7 (Sepigel 305)	1%	
グルセロール	7%	

【0173】

手順：相Aを、攪拌しながら約75℃に加熱し、その後に相Bを相Aに添加する。次いで攪拌を続けながら加熱を止め、混合物を室温に冷却する。その後、30分間ゆっくりと攪拌を続ける。

【0174】

使用中、消費者は、1枚または複数枚の無水フィルムのプレートを1回用量の100～500mgの水性組成物と掌中で指により約10秒間混合する。このようにして得られた組成物を皮膚の上へ伸展することを促進させるように、処理される部分にゆっくりとマッサージして塗る。得られた組成物は、ポリマーSerad FXと関係する典型的な増粘性レオロジー的特性を有するクリームである。利点は、施用される量のコントロールおよびマッサージの質のコントロールである。

【0175】

このクリームはリラクスマッサージのために顔または体に施用され得る。

10

20

30

40

フロントページの続き

(72)発明者 カロル・ギラマン

フランス・78350・ジョイ・アン・ジョサ・パルク・ドゥ・ディアン・8

(72)発明者 ギローム・カッサン

フランス・91140・ヴィルボン・シュール・イヴェット・アヴニユ・デ・プーロオ・31・テ
ル

(72)発明者 ジャン・ティエリー・シモネ

フランス・94240・カシャン・アヴニユ・カルノ・53・ビス

Fターム(参考) 4C083 AA122 AB172 AC012 AC072 AC122 AC172 AC422 AC482 AC542 AC582

AC642 AC682 AC792 AD042 AD092 AD152 AD281 AD282 AD352 AD392

AD642 AD662 CC02 CC31 DD06 DD12 DD27 DD47 EE12 FF06

【外国語明細書】

Title of The Invention

Kit for formulating a cosmetic product

The present invention relates to kits for formulating cosmetic products, and in particular to a kit for formulating cosmetic products comprising at least one anhydrous thin film and an aqueous composition, the film and the composition being intended to be mixed together extemporaneously to form a cosmetic product, which may especially be a makeup or care product for the skin, mucous membranes, the integuments or the hair.

The invention also relates to a cosmetic use of this product for the cosmetic treatment of the skin, mucous membranes, the integuments or the hair.

The invention also relates to a process for formulating the product using a kit.

Cosmetic products contain various compounds that each play a role, as regards either the presentation form of the product, the activity of the product or any other property of the product, for instance its odour or its colour. Thus, for example, the presence of active agents contributes towards the efficacy of the product on the skin, for example to keep the skin healthy and/or to improve the condition of the skin, while viscosity agents make it possible to adjust the texture of the product, and dyes impart a given shade thereto. In addition, usually, these products contain a large number of different compounds,

and it may so happen that it is not desirable, for various reasons, for all of the compounds be mixed together before using the product. For example, compounds, and especially active agents, may be mutually incompatible or may cause instability of the composition containing them.

Moreover, users are increasingly in search of a composition that is suitable for the use they wish to make of it as and when they are so inclined. Thus, according to mood, the season or external temperature, the user wishes to have available a composition that is suited to his or her need of the moment, for example to have available a composition that is more or less thickened or more or less concentrated in active material or that has a particular coloration or fragrance, these features possibly varying over time.

Thus, the kit forming the subject of the invention makes it possible to overcome these problems. This kit has several embodiments.

Thus, one subject of the invention is a kit for formulating a cosmetic product, comprising (1) an aqueous composition containing at least one fatty substance, and (2) at least one water-soluble anhydrous film comprising at least one compound that is capable of modifying the aqueous composition.

This composition and the film(s) are mixed together extemporaneously to form the said cosmetic

product.

This cosmetic product may be used especially as a care or makeup product for the skin, mucous membranes, the integuments or the hair.

In the present patent application the expression "compound capable of modifying the aqueous composition" means any compound that will modify the activity and/or the appearance of the said composition, for example its activity by the addition of one or more active agents, or its appearance by addition of a thickener (modification of the viscosity) or by addition of a dye (modification of the colour) or by addition of a fragrance (modification of the odour).

The term "fatty substance" means any water-insoluble compound, this compound possibly being an oil (liquid fatty substance) or a solid fatty substance. It is preferably an oil.

The extemporaneous mixture is obtained by simple mixing of the desired amounts of the aqueous composition and of the film(s), these amounts being determined according to the desired final aim. The mixture obtained constitutes a single use cosmetic product. However, the kit may contain several films of identical or different compositions, which makes it possible to obtain several times a cosmetic product that is identical or different at each use.

A subject of the invention is also a kit for

formulating a cosmetic product, comprising:

- i) an aqueous composition; and
- ii) at least one water-soluble anhydrous film comprising at least one compound which, for reasons of stability, can only be mixed with the composition extemporaneously in order to form the said cosmetic product.

A subject of the invention is also a kit for formulating a cosmetic product, comprising:

- i) an aqueous composition;
- ii) at least one first water-soluble anhydrous film; and
- iii) at least one second water-soluble anhydrous film, the second film being different from the first, especially with regard to the concentration and/or the nature of at least one compound it contains.

The said cosmetic product is obtained by adding one or more of the said first films and one or more of the said second films to the aqueous composition.

A subject of the invention is also a kit for the customized formulation of a cosmetic product, especially a care or makeup product, comprising

- i) an aqueous composition;
- ii) a plurality of identical or different water-soluble anhydrous films, intended to be mixed

with the aqueous composition to form the said cosmetic product, and

- iii) instructions, especially on an explanatory note, for custom-formulating the said cosmetic product as a function of the number of identical or different watersoluble anhydrous films to be mixed with the composition.

The expression "customized formulation" is understood to mean a formulation adopted to the consumer's requirements at the moment of use.

A subject of the invention is also a process for formulating a cosmetic product, especially a care or makeup product, which consists in:

- a) determining at least one characteristic of the cosmetic product to be formulated, especially a shade or a concentration, the characteristic being due to at least one compound present either in a plurality of identical water-soluble anhydrous films, or in a plurality of water-soluble anhydrous films that are different from each other, especially as regards the concentration and/or the nature of at least one compound they contain; and
- b) adding to an aqueous composition a number of

the said identical or different films, the said number depending on the said characteristic of the cosmetic product to be formulated.

A subject of the invention is also a process for modifying the rheology, colour and/or fragrance characteristics of an aqueous composition for the purpose of formulating a cosmetic product, especially a care or makeup product, which consists in adding to an aqueous composition one or more water-soluble anhydrous films containing one or more compounds capable of modifying the rheology, the colour and/or the fragrance of an aqueous composition.

Admittedly, it is known practice to use anhydrous films that dissolve immediately on contact with water or saliva, and edible films for wrapping foods in order to increase their shelf life, and this technique has been the subject of patent applications (for example US-A-5 965 708, US-A-5 962 053 and JP-A-10/215792). Similarly, this type of technology is used in the pharmaceutical field to administer active principles orally in the form of formulations that break down instantaneously in the mouth (see, for example, documents WO-A-2002/085119, WO-A-2002/043657 and WO-A-2001/070194), or by application to other mucous membranes, for instance the vagina (EP-A-1 110 546) and to wounds (JP-A-63/220876). In

addition, document JP-A-2002/212027 describes the production and composition of cosmetic preparations in the form of water-soluble films, and documents WO-A-2002/05789, US-A-2002/0127254 and WO-A-2003/075812 describe the production and administration of anhydrous polymeric films for a direct administration of cosmetic compositions to premoistened skin. Furthermore, document US-A-2003/0186826 describes a dry cosmetic composition based on polymers and surfactants, to be administered to the skin or the hair with water. However, these documents never envisage the extemporaneous preparation of a cosmetic or dermatological product using kits comprising thin films and an aqueous composition, especially an aqueous composition in emulsion form.

Admittedly, document FR-A-2 840 221 discloses films containing active agents intended to be released into a liquid, this liquid possibly being water or a solvent such as oil or ethanol. However, the said document never envisages the introduction of films into a complex medium such as an emulsion, or the provision of kits for obtaining a suitable product at the time of use.

A cosmetic kit for obtaining products containing incompatible compounds, and moreover allowing the user to obtain a product that is adapted to his or her type of skin or to the desired aim at the

time of use, either as regards the active agents contained or as regards the texture of the product or any other specific feature of the product in order for it to be adapted to the user's need at the time of use, which may be reflected by a particular fragrance or dye or by specific optical effects or by a given sun protection factor or a particular pH or any other characteristic that can vary according to the user's desire at the time he or she uses the kit, has never been described in the prior art. The present invention provides such a kit.

The kit according to the invention, which combines the use of at least one water-soluble anhydrous film based on polymers and of an aqueous composition, especially in emulsion form, allows the user to extemporaneously modify the composition, the rheology, the colour or the active agent concentration of the final product. In addition, in the case of the application of active agents that are relatively unstable in liquid or semi-solid medium, their incorporation into the anhydrous film(s) to be dissolved extemporaneously ensures their efficacy. Similarly, good colloidal stability of the final product may be obtained by means of extemporaneous dissolution of an excipient whose performance qualities could not have been maintained over time in liquid medium.

The final cosmetic product is obtained by extemporaneous mixing of one or more water-soluble anhydrous films and of a suitable amount of the aqueous composition. The term "suitable amount" of aqueous composition means an amount such that the film(s) dissolve therein rapidly. This amount may range, for example, from 10 to 1000 mg, preferably from 50 to 800 mg and better still from 100 to 500 mg. The appropriate dose of aqueous composition may be obtained by using single-dose presentation forms, such as sachets, tubes, ampules, prefilled syringes, soft capsules, shells or trays made of hot-formed plastic. An appropriate dose may also be obtained from a multi-dose presentation by using a system that distributes a predefined dose. Such a system may be a pump-dispenser bottle, an aerosol, a pipette or a graduated syringe, or a dropper.

Other subjects will become apparent in the detailed description that follows.

A. Water-soluble anhydrous films

In the present patent application, the term "film" means a thin, palpable solid. The term "thin" means a solid with a maximum thickness of 1000 μm . This film generally has a size that is adequate to be able to be handled easily by the user. It may have a square, rectangular or disc shape, or any other shape. Each film generally has a thickness of from 10 μm to

1000 μm , preferably from 20 to 500 μm and better still from 50 to 300 μm . It may have a surface area of from 0.25 to 25 cm^2 and preferably from 2 to 10 cm^2 .

Moreover, in the present patent application, the term "anhydrous film" means a film containing less than 10% by weight of water and preferably less than 5% by weight of water relative to the total weight of the film, and more preferably containing no water.

In addition, in the present patent application, the term "water-soluble film" means a film which dissolves in water. This is a film consisting of one or more water-soluble or water-dispersible polymers. The term "water-soluble or water-dispersible" means polymers with a solubility in water, measured at 25°C, of at least 0.1 gram/litre (g/L) (production of a macroscopically isotropic and transparent, coloured or colourless solution). This solubility is preferably greater than or equal to 1 g/L. The polymers for making these films may be of synthetic or natural origin and, where appropriate, may be modified by means of chemical reactions. They may or may not be film-forming. These polymers should be physiologically acceptable, i.e. they should be compatible with the skin, mucous membranes, the hair and the scalp.

These water-soluble or water-dispersible polymers may be chosen, for example, from (1) polymers of protein type, such as wheat or soybean proteins;

keratin, for example keratin hydrolysates and sulfonic keratins; casein; albumin; collagen; glutelin; glucagon; gluten; zein; gelatins and derivatives thereof; (2) polymers derived from chitin or from chitosan, such as anionic, cationic, amphoteric or nonionic chitin or chitosan polymers; (3) polysaccharide polymers such as, especially, (i) cellulose-based polymers, for instance hydroxyethylcellulose, hydroxypropylcellulose, hydroxypropylmethylcellulose, methylcellulose, ethylhydroxyethylcellulose, carboxymethylcellulose and quaternized cellulose derivatives; and (ii) starches and derivatives thereof; (4) acrylic polymers or copolymers such as polyacrylates, polymethacrylates and copolymers thereof; (5) vinyl polymers such as polyvinylpyrrolidones, copolymers of methyl vinyl ether and of maleic anhydride, the copolymer of vinyl acetate and of crotonic acid, copolymers of vinylpyrrolidone and of vinyl acetate, copolymers of vinylpyrrolidone and of caprolactam, polyvinyl alcohols; (6) polymers of natural origin, which are optionally modified, such as gum arabic, guar gum, xanthan derivatives or karaya gum; alginates, carrageenans, ulvanes and other algal colloids; glycoaminoglycans, hyaluronic acid and its derivatives; shellac, sandarac gum, dammar resins, elemi gums and copal resins; deoxyribonucleic acid; mucopolysaccharides such as hyaluronic acid,

chondroitin sulphate; and mixtures of these polymers.

Water-soluble polymers that may also be mentioned include caprolactams, pullulan, pectin, mannan and galactomannans, and glucomannans, and derivatives thereof.

Needless to say, the films in accordance with the invention may comprise one or more of these polymers.

The amount of water-soluble polymer(s) in the anhydrous film generally ranges from 5% to 100% by weight, in particular from 10% to 95% by weight and more particularly from 20% to 90% by weight relative to the total weight of the said film.

The films may be packaged in an article that facilitates their handling, such as the article described in patent application FR 0 351 002, the content of which is included in the present patent application by reference. The films may especially be packaged in a plastic dispensing box, in an individual sachet or in a blister pack, contained in the kit of the invention. The films may be packaged in a case of the type with a drawer or with a lid articulated on a base, the said case possibly comprising means for facilitating the distribution of the articles. The distribution means may be of the type described, for example, in documents US-A-2 973 882, GB-A-2 358 627, CH-A-461 025 or US-A-6 578 732.

Besides the water-soluble polymer(s), the film may comprise one or more plasticizers chosen, for example, from glycerol, sorbitol, mono- and/or disaccharides, dipropylene glycol, butylene glycol, pentylene glycol and polyethylene glycols such as PEG-400. The amount of plasticizer(s) may range, for example, from 1% to 40% by weight and better still from 2% to 15% by weight relative to the total weight of the film.

In accordance with the invention, the film comprises at least one compound, especially a compound capable of modifying the aqueous composition. The expression "compound capable of modifying the aqueous composition" means any compound which, on mixing the film with the aqueous composition, will modify the said composition, for example modify the rheology, the texture, the activity, the colour, the fragrance or the pH of the said composition. This compound may simply be the water-soluble polymer present in the film, which, by virtue of its nature, will modify the rheology of the aqueous composition and give it a new texture, or it may be one or more compounds chosen from the active agents or the formulation adjuvants, for instance the rheology agents, the fragrances, the dyestuffs, the surfactants, the antioxidants or the pH regulators. These compounds will be detailed hereinbelow.

B. Aqueous composition

In the present patent application, the term "aqueous composition" means a composition containing at least water.

Besides water, the aqueous composition may contain a water-soluble organic solvent chosen, for example, from lower monoalcohols containing from 1 to 8 carbon atoms and in particular 1 to 6 carbon atoms, for instance ethanol, isopropanol, propanol or butanol; polyethylene glycols containing from 6 to 80 ethylene oxides; polyols, for instance propylene glycol, isoprene glycol, butylene glycol, glycerol or sorbitol; acetone; and mixtures thereof.

The composition is a more or less fluid composition, as opposed to a solid composition. In the present patent application, the term "more or less fluid composition" means a composition whose viscosity can be measured, and which ranges from liquid to semi-solid (cream or soft paste). The viscosity may range, for example, from 1 to 20 000 mPa.s (1 to 20 000 cPois) and preferably from 1 to 15 000 mPa.s, this viscosity being measured at 25°C using a Rheomat RM180 viscometer from Rheometric Scientific, this machine being equipped with a different rotor depending on the viscosities.

This composition comprises a physiologically acceptable support, i.e. a support that is compatible

with the skin, mucous membranes, the hair and the scalp.

According to one preferred embodiment of the invention, the aqueous composition contains, besides water, at least one fatty substance. The term "fatty substance" means any water-insoluble compound, this compound possibly being an oil (liquid fatty substance) or a solid fatty substance. It is preferably an oil.

The aqueous composition may especially be in the form of emulsions, compositions comprising an aqueous phase and an oily phase dispersed in each other, for example water-in-oil (W/O) or oil-in-water (O/W) or multiple (W/O/W or O/W/O) emulsions, chosen especially from standard emulsions or particular emulsions, for instance from:

- O/W emulsions based on oily globules provided with a lamellar liquid crystal coating, as described in documents EP-A-641 557 and EP-A-705 593;
- surfactant-free O/W emulsions stabilized with water-dispersible anionic polymers, such as those described in document EP-A-864 320;
- O/W emulsions based on polymers derived from 2-acrylamido-2-methylpropanesulfonic acid (AMPS polymer), as described in document EP-A-815 844;
- O/W emulsions stabilized with hydrophobic AMPS polymers, as described in documents EP-A-1 069 142, WO-A-2002/43689, WO-A-2002/44231, WO-A-2002/44271,

WO-A-2002/44270, WO-A-2002/43686, WO-A-2002/44267,
WO-A-2002/43688, WO-A-2002/43677, WO-A-2002/43687,
WO-A-2002/44230;

- fluid emulsions based on thermo-associative polymers,
as described in documents EP-A-1 355 990,

EP-A-1 355 625, EP-A-1 307 501 and EP-A-1 363 964;

- O/W emulsions obtained via the PIT method (emulsion
obtained by phase inversion. PIT = Phase Inversion
Temperature), as described in documents WO-A-89/11907,
DE-A-4 318 171 and EP-A-815 846;

- nanoemulsions such as those described in patent
applications EP-A-728 460, EP-A-780 114, EP-A-780 115,
EP-A-879 589, EP-A-1 010 413, EP-A-1 010 414,
EP-A-1 010 415, EP-A-1 010 416, EP-A-1 013 338,
EP-A-1 016 453, EP-A-1 018 363, EP-A-1 020 219,
EP-A-1 025 898, EP-A-1 120 102, EP-A-1 120 101,
EP-A-1 160 005, EP-A-1 172 077 and EP-A-1 353 629.

The aqueous composition of the invention may
especially be in the form of lotions (fluid emulsions).

The aqueous composition may also be in the
form of foaming aqueous products, as described, for
example, in documents EP-A-1 166 747, EP-A-1 172 096,
EP-A-1 172 095, EP-A-1 174 122, EP-A-1 277 463,
EP-A-1 295 594 and FR-A-2 824 262.

According to one particular embodiment of the
invention, the aqueous composition used according to
the invention is an emulsion. The proportion of the

oily phase of the emulsion may range from 1% to 80% by weight and preferably from 1% to 50% by weight relative to the total weight of the composition. The oils, emulsifiers and co-emulsifiers optionally present, used in the composition in emulsion form, are chosen from those conventionally used in cosmetics or dermatology. When they are present, the emulsifier and the co-emulsifier are generally in a proportion ranging from 0.2% to 30% by weight, preferably from 0.3% to 20% by weight and better still from 0.5% to 15% by weight relative to the total weight of the composition. The emulsion may also contain lipid vesicles.

The emulsions generally contain at least one emulsifier chosen from amphoteric, anionic, cationic and nonionic emulsifiers, used alone or as a mixture. The emulsifiers are chosen in an appropriate manner according to the continuous phase of the emulsion to be obtained (W/O or O/W). When the emulsion is a multiple emulsion, it generally comprises an emulsifier in the primary emulsion and an emulsifier in the external phase into which the primary emulsion is introduced.

As emulsions that may be used for the preparation of the W/O emulsions, examples that may be mentioned include alkyl esters or ethers of sorbitan, of glycerol or of sugars; silicone surfactants, for instance dimethicone copolyols, such as the mixture of cyclomethicone and of dimethicone copolyol, sold under

the names DC 5225 C and DC 3225 C by the company Dow Corning, and alkyldimethicone copolyols such as the laurylmethicone copolyol sold under the name "Dow Corning 5200 Formulation Aid" by the company Dow Corning, cetyldimethicone copolyol sold under the name Abil EM 90^R by the company Goldschmidt and the mixture of polyglyceryl-4 isostearate/cetyldimethicone copolyol/hexyl laurate sold under the name Abil WE 09^R by the company Goldschmidt. One or more co-emulsifiers may also be added thereto, which may be chosen advantageously from the group comprising branched-chain fatty acid esters of polyols, and especially branched-chain fatty acid esters of glycerol and/or of sorbitan, for example polyglyceryl isostearate, such as the product sold under the name Isolan GI 34 by the company Goldschmidt, sorbitan isostearate, such as the product sold under the name Arlacel 987 by the company ICI, and sorbitan glyceryl isostearate, such as the product sold under the name Arlacel 986 by the company ICI, and mixtures thereof.

As other emulsifying agents that may be used for the preparation of O/W emulsions, examples that may be mentioned include nonionic emulsifiers such as oxyalkylenated (more particularly polyoxyethylenated) fatty acid esters of polyols, for example polyethylene glycol stearates, for instance PEG-100 stearate, PEG-50 stearate and PEG-40 stearate; and mixtures thereof,

such as the mixture of glyceryl monostearate and of polyethylene glycol stearate (100 EO) sold under the name Simulsol 165 by the company SEPPIC; oxyalkylenated fatty acid esters of sorbitan comprising, for example, from 20 to 100 EO, for example those sold under the trade names Tween 20 or Tween 60 by the company Uniqema; oxyalkylenated (oxyethylenated and/or oxypropylenated) fatty alcohol ethers; alkoxyated or non-alkoxyated sugar esters, for instance sucrose stearate and PEG-20 methylglucose sesquistearate; sorbitan esters such as the sorbitan palmitate sold under the name Span 40 by the company Uniqema; esters of diacid and of fatty alcohol, such as dimyristyl tartrate; mixtures of these emulsifiers, for instance the mixture of glyceryl stearate and of PEG-100 stearate, sold under the name Arlacel 165 by the company Uniqema; and mixtures containing these emulsifiers, such as the mixture of dimyristyl tartrate, cetearyl alcohol, Pareth-7 and PEG-25 laureth-25, sold under the name Cosmacol PSE by the company Sasol (CTFA name: dimyristyl tartrate/cetearyl alcohol/12-15 Pareth 7/PPG 25 laureth 25).

Co-emulsifiers may be added to these emulsifiers, for instance fatty alcohols containing from 8 to 26 carbon atoms, for instance cetyl alcohol, stearyl alcohol and the mixture thereof (cetearyl alcohol), octyldodecanol, 2-butyloctanol,

2-hexyldecanol, 2-undecylpentadecanol or oleyl alcohol, or fatty acids.

Emulsions free of emulsifying surfactants or containing less than 0.5% of emulsifying surfactants relative to the total weight of the composition may also be prepared, by using suitable compounds, for example polymers having emulsifying properties, such as the polymers sold under the names Carbopol 1342 and Pemulen by the company Noveon; or polymers in emulsion form such as the product sold under the name Sepigel 305 by the company Seppic (INCI name: polyacrylamide/C13-C14 isoparaffin/laureth-7); particles of ionic or nonionic polymers, more particularly particles of anionic polymer such as, especially, isophthalic acid or sulfoisophthalic acid polymers, and in particular the phthalate/sulfoisophthalate/glycol copolymers (for example diethylene glycol/phthalate/isophthalate/1,4-cyclohexanedimethanol (INCI name: diglycol/CHDM/isophthalates/SIP copolymer) sold under the names Eastman AQ polymer (AQ35S, AQ38S, AQ55S and AQ48 Ultra) by the company Eastman Chemical. Emulsifier-free emulsions stabilized with silicone particles or metal oxide particles such as TiO_2 or the like may also be prepared.

When the aqueous composition is in emulsion form, it comprises at least one oily phase that

contains at least one oil, especially a cosmetic oil. The term "oil" means a fatty substance that is liquid at room temperature (25°C).

As oils that may be used in the composition of the invention, examples that may be mentioned include:

- hydrocarbon-based oils of animal origin, such as perhydrosqualene (or squalane);
- hydrocarbon-based oils of plant origin, such as liquid triglycerides of fatty acids containing from 4 to 10 carbon atoms, for instance heptanoic or octanoic acid triglycerides, or alternatively oils of plant origin, for example sunflower oil, corn oil, soybean oil, marrow oil, grapeseed oil, sesame seed oil, hazelnut oil, apricot oil, macadamia oil, arara oil, coriander oil, castor oil, avocado oil, jojoba oil, shea butter oil, or caprylic/capric acid triglycerides, for instance those sold by the company Stearineries Dubois or those sold under the names Miglyol 810, 812 and 818 by the company Dynamit Nobel;
- synthetic esters and ethers, especially of fatty acids, for instance the oils of formulae R^1COOR^2 and R^1OR^2 in which R^1 represents a fatty acid residue containing from 8 to 29 carbon atoms and R^2 represents a branched or unbranched hydrocarbon-based chain containing from 3 to 30 carbon atoms, for instance purcellin oil, isononyl isononanoate, isopropyl

myristate, 2-ethylhexyl palmitate, 2-octyldodecyl stearate, 2-octyldodecyl erucate or isostearyl isostearate; hydroxylated esters, for instance isostearyl lactate, octyl hydroxystearate, octyldodecyl hydroxystearate, diisostearyl malate, triisocetyl citrate and fatty alcohol heptanoates, octanoates and decanoates; polyol esters, for instance propylene glycol dioctanoate, neopentyl glycol diheptanoate and diethylene glycol diisononanoate; pentaerythritol esters, for instance pentaerythrityl tetraisostearate; lipophilic derivatives of amino acids, such as isopropyl lauroyl sarcosinate (INCI name: isopropyl lauroyl sarcosinate) sold under the name Eldew SL 205 by the company Ajinomoto;

- linear or branched hydrocarbons of mineral or synthetic origin, such as mineral oils (mixtures of petroleum-derived hydrocarbon-based oils; INCI name: mineral oil), volatile or non-volatile liquid paraffins, and derivatives thereof, petroleum jelly, polydecenes, isohexadecane, isododecane, hydrogenated isoparaffin such as the Parleam[®] oil sold by the company NOF Corporation (INCI name: hydrogenated polyisobutene);

- silicone oils, for instance volatile or non-volatile polymethylsiloxanes (PDMS) containing a linear or cyclic silicone chain, which are liquid or pasty at room temperature, especially cyclopolydimethylsiloxanes

(cyclomethicones) such as cyclopentasiloxane and cyclohexadimethylsiloxane; polydimethylsiloxanes comprising alkyl, alkoxy or phenyl groups, which are pendent or at the end of a silicone chain, these groups containing from 2 to 24 carbon atoms; phenyl silicones, for instance phenyl trimethicones, phenyl dimethicones, phenyltrimethylsiloxydiphenylsiloxanes, diphenyl dimethicones, diphenylmethyldiphenyltrisiloxanes 2-phenylethyltrimethyl siloxysilicates and polymethylphenylsiloxanes;

- fluoro oils such as partially hydrocarbon-based and/or partially silicone-based fluoro oils, for instance those described in document JP-A-2 295 912;
- ethers such as dicaprylyl ether (CTFA name: dicaprylyl ether); and C₁₂-C₁₅ fatty alcohol benzoates (Finsolv TN from Finetex);
- mixtures thereof.

The aqueous composition may also contain any suitable additive compound. It may contain, for example, one or more compounds chosen from formulation adjuvants and/or active agents different from those present in the film(s).

One of the advantages of the kit according to the invention is, for example, the ability to obtain a cosmetic product containing incompatible active agents, one or more compatible active agents being present in the aqueous composition and one or more different

active agents that are incompatible with those of the aqueous composition being present in the anhydrous film(s). The extemporaneous mixing of the aqueous composition and of the film(s) then results in a product containing incompatible active agents, their incompatibility not presenting any drawback since the product is used immediately.

C. Compounds

The water-soluble anhydrous film contains at least one compound, especially a compound capable of modifying the aqueous composition. This compound may simply be the polymer constituting the film, this polymer being capable of modifying the rheology of the composition, or alternatively the film may contain one or more other compounds. These compounds may be chosen especially from cosmetic active agents, formulation adjuvants and mixtures thereof. It is also possible to use several films, one containing a formulation adjuvant, the other a different formulation adjuvant or an active agent, and yet another possibly containing another active agent and/or another formulation adjuvant.

The term "cosmetic active agents" means any compound that will have a beneficial effect on the keratin material onto which the final product is applied.

The term "formulation adjuvant" means any

compound capable of modifying the appearance of the aqueous composition, for example the rheology, the texture, the colour, the fragrance or the pH of the aqueous composition.

Moreover, as indicated above, the aqueous composition may also contain one or more compounds chosen from cosmetic active agents and formulation adjuvants, and mixtures thereof.

Thus, these compounds may be incorporated either into the aqueous composition or into one or more films, which makes it possible to solve the possible problems of physicochemical incompatibility of these compounds, and also to have final products that are suited to the need of the user. This also makes it possible to obtain products whose concentrations of active agents are higher than the concentrations that might be obtained by using only one composition.

As indicated above, the kit according to the invention has the advantage of allowing the preparation of cosmetic or dermatological products containing incompatible compounds. It also has the advantage of allowing the production of cosmetic or dermatological products containing compounds that are sensitive to an external stimulus, especially sensitive to water, to oxidation, to light and/or to an increase in temperature. These compounds sensitive to an external stimulus (water, oxidizing agents such as air, light

and/or temperature) are unstable and undergo, upon exposure to such an external stimulus, degradation via a mechanism of chemical hydrolysis, oxidation, photolysis or photodegradation, or alternatively of ion exchange, which leads to cosmetic compositions that become inefficient and/or whose appearance, odour and/or feel are unacceptable to the consumer. Such is therefore the case, for example, for ascorbic acid, which, as a result of this degradation, has a tendency to yellow compositions containing it. The fact of placing these sensitive compounds in an anhydrous film and of not incorporating them into the aqueous composition until the time of use makes it possible to avoid all these problems.

Besides ascorbic acid, compounds sensitive to an external stimulus that may be mentioned include retinol (vitamin A) and its derivatives; urea; DHA (dihydroxyacetone); rutin; enzymes such as lipase, protease, phospholipase and cellulases; natural extracts such as green tea, extract of balm, extract of thyme, procyanidol oligomers (PCO) such as hawthorn PCO, pine PCO and grape PCO; certain acids such as kojic acid, caffeic acid, retinoic acid and its derivatives, benzene-1,4-bis(3-methylidene-10-camphorsulfonic acid); carotenoids such as carotenes, for instance α -, β - and γ -carotenes, β , ϕ -carotene, ξ -carotene, β , γ -carotene and lycopene

(ψ, ψ -carotene); polyunsaturated fatty acids such as gamma-linolenic acid.

The compounds that may be used in the kit according to the invention may be chosen especially from moisturizers, anti-seborrhoeic agents, anti-ageing active agents, antimicrobial active agents, anti-inflammatory or calmative active agents, lipolytic or slimming active agents, fillers, sunscreens, skin-colouring or hair-colouring agents, concealing active agents, antiperspirant active agents, deodorant active agents, hair-treating active agents, hair-removing agents, pigments, dyes, polymers, fragrances, electrolytes, pH adjusters and preserving agents, and mixtures thereof.

I) Moisturizers, for instance sodium lactate; polyols, and in particular glycerol, sorbitol and polyethylene glycols; mannitol; amino acids; hyaluronic acid; lanolin; urea and mixtures containing urea, such as NMF ("Natural Moisturizing Factor"); petroleum jelly; N-lauroylpyrrolidonecarboxylic acid and its salts; essential fatty acids; essential oils; and mixtures thereof.

II) Anti-seborrhoeic agents, chosen, for example, from:

- sulfur and sulfur derivatives;
- zinc salts such as zinc lactate, gluconate, pidolate, carboxylate, salicylate and/or cysteate;
- selenium chloride;

- vitamin B6 or pyridoxine;
- the mixture of capryloyl glycine, of sarcosine and of extract of *Cinnamomum zeylanicum* sold especially by the company SEPPIC under the trade name Sepicontrol A5[®];
- an extract of *Laminaria saccharina* sold especially by the company SECMA under the trade name Phlorogine[®];
- an extract of *Spiraea ulmaria* sold especially by the company Silab under the trade name Sebonormine[®];
- plant extracts of the species *Arnica montana*, *Cinchona succirubra*, *Eugenia caryophyllata*, *Humulus lupulus*, *Hypericum perforatum*, *Mentha piperita*, *Rosmarinus officinalis*, *Salvia officinalis* and *Thymus vulgaris*, which are all sold, for example, by the company Maruzen;
- an extract of *Serenoa repens* sold especially by the company Euromed;
- extracts of plants of the genus *Silybum*;
- plant extracts containing sapogenins and in particular extracts of diosgenin-rich or hecogenin-rich *Dioscorea* plants;
- extracts of *Eugenia caryophyllata* containing eugenol and eugenyl glucoside;
- and mixtures thereof.

III) Anti-ageing active agents which may be chosen from any active agent capable of treating or preventing any sign of ageing of the skin. They may be chosen, for

example, from free-radical scavengers, keratolytic agents, vitamins, anti-elastase and anti-collagenase agents, proteins, fatty acid derivatives, steroids, trace elements, bleaching agents, algal and plankton extracts, enzymes and coenzymes, flavonoids, ceramides, tensioning agents and muscle relaxants, and mixtures thereof.

1) Free-radical scavengers and antioxidants that may especially be mentioned include phosphonic acid derivatives such as ethylenediaminetetra(methylenephosphonic acid), hexamethylenediaminetetra(methylene phosphonic acid), diethylenetriaminepenta(methylenephosphonic acid and salts thereof, in particular the sodium salts thereof; ethylenediaminetetraacetic acid and its salts, such as the sodium salt; guanosine; superoxide dismutase; tocopherol (vitamin E) and its derivatives (acetate); ethoxyquine; lactoferrin; lactoperoxidase, and nitroxide derivatives; superoxide dismutases; glutathione peroxidase; plant extracts with free-radical-scavenging activity, such as the aqueous extract of wheatgerm sold by the company Silab under the reference Detoxiline; green tea; and mixtures thereof.

2) Examples of keratolytic agents that may be mentioned include α -hydroxy acids, especially acids derived from fruit, for instance glycolic acid, lactic

acid, malic acid, citric acid, tartaric acid and mandelic acid, derivatives thereof and mixtures thereof; β -hydroxy acids, for instance salicylic acid and its derivatives such as 5-n-octanoylsalicylic acid or 5-n-dodecanoylsalicylic acid; α -keto acids, for instance ascorbic acid or vitamin C and derivatives thereof, such as its salts, for instance sodium ascorbate and magnesium or sodium ascorbyl phosphate; esters thereof, for instance ascorbyl acetate, ascorbyl palmitate and ascorbyl propionate, or sugars thereof, for instance glycosyl ascorbic acid and mixtures thereof; β -keto acids; retinoids, for instance retinol (vitamin A) and its esters, retinal, retinoic acid and its derivatives, and also the retinoids described in documents FR-A-2 570 377, EP-A-199 636, EP-A-325 540 and EP-A-402 072; adapalene; carotenoids; and mixtures thereof.

3) Vitamins, besides vitamins A, E and C indicated above, that may be mentioned in particular include vitamin B3 (or vitamin PP or niacinamide) and its derivatives (tocopheryl nicotinate, nicotinyl alcohol esters and esters of carboxylic acids, 2-chloronicotinamide, 6-methylnicotinamide, 6-aminonicotinamide, N-methylnicotinamide, N,N-dimethylnicotinamide, N-(hydroxymethyl)nicotinamide, quinolinic acid imide, nicotinanilide, N-benzylnicotinamide,

N-ethylnicotinamide, nifedazone, nicotinaldehyde, isonicotinic acid, methylisonicotinic acid, thionicotinamide, nialamide, 2-mercaptonicotinic acid, nicomol and niaprazine); vitamin B5 (or panthenol or panthenyl alcohol or 2,4-dihydroxy-N-(3-hydroxypropyl)-3,3-dimethylbutanamide) in its various forms: D-panthenol, DL-panthenol), and derivatives and analogues thereof, such as calcium panthotenate, panthetine, pantotheine, panthenyl ethyl ether, pangamic acid, pyridoxine, pantoyl lactose, and natural compounds containing them, such as royal jelly; vitamin D and its analogues such as those described in document WO-A-00/26167; vitamin F or its analogues such as mixtures of unsaturated acids containing at least one double bond, and especially mixtures of linoleic acid, of linolenic acid and of arachidonic acid, or compounds containing them and especially oils of plant origin containing them, for instance jojoba oil, and mixtures thereof.

4) Anti-elastase agents that may especially be mentioned include peptide derivatives and especially peptides from legume seeds such as those sold by Laboratoires Sériobiologiques de Nancy under the reference Parelstyl; the N-acylamino amide derivatives described in patent application FR-A-2 180 033, for instance ethyl {2-[acetyl(3-trifluoromethylphenyl)-amino]-3-methylbutyrylamino}acetate and

{2-[acetyl(3-trifluoromethylphenyl)amino]-
3-methylbutyrylamino}acetic acid, and mixtures thereof.

5) Anti-collagenase agents that may be mentioned include metalloprotease inhibitors, such as ethylenediamine acid (EDTA) and cysteine, and mixtures thereof.

6) Examples of proteins that may be mentioned include wheat or soybean proteins, hydrolysates thereof, for instance the products sold by the company Silab under the reference Tensine, and mixtures thereof.

7) Fatty acid derivatives that may especially be mentioned include polyunsaturated phospholipids including the phospholipids of essential fatty acids of octopus, and mixtures thereof.

8) Examples of steroids that may be mentioned include DHEA or dehydroepiandrosterone, biological precursors thereof, metabolites thereof, and mixtures thereof. The term "biological precursors" of DHEA especially means Δ^5 -pregnenolone, 17α -hydroxypregnenolone and 17α -hydroxypregnenolone sulfate. The term "DHEA derivatives" means both the metabolic derivatives thereof and the chemical derivatives thereof. Metabolic derivatives that may especially be mentioned include Δ^5 -androstene-3,17-diol and especially 5-androstene- 3β , 17β -diol, Δ^4 -androstene-3,17-dione, 7-hydroxy DHEA (7α -hydroxy DHEA or 7β -hydroxy DHEA), 7-keto DHEA, which is itself a metabolite of 7β -hydroxy

DHEA, and benzoyl DHEA.

- 9) Examples of trace elements that may be mentioned include copper, zinc, selenium, iron, magnesium and manganese, and mixtures thereof.
- 10) Examples of bleaching or depigmenting agents that may be mentioned include kojic acid and its derivatives; hydroquinone and its derivatives such as arbutin and its esters; vitamin C and its derivatives such as magnesium ascorbyl phosphate; salts such as calcium D-pantetheine sulfonate; ellagic acid and its derivatives; rucinol; linoleic acid and its derivatives; plant extracts and especially extracts of liquorice, of mulberry or of skullcap, glutathione and precursors thereof; cysteine and precursors thereof; the aminophenol-based compounds described in document WO-A-99/10318, such as, especially, N-ethyloxycarbonyl-4-aminophenol, N-ethyloxycarbonyl-O-ethyloxycarbonyl-4-aminophenol, N-cholesteryloxycarbonyl-4-aminophenol and N-ethylaminocarbonyl-4-aminophenol; and mixtures of these compounds.
- 11) Algal extracts that may be mentioned include extracts of red or brown algae, for example the extract of brown algae of the Laminaria family, for instance extracts of the species *Laminaria digitata*, and more particularly the product sold by the company Codif under the name Phycosaccharides, which is a concentrated solution of an oligosaccharide comprising

a sequence of two uric acids: mannuronic acid and guluronic acid.

12) A plankton extract that may be mentioned is the plankton as an aqueous dispersion (CTFA name: Vitreoscilla ferment) sold under the name Mexoryl SAH by the company Chimex.

13) Enzymes that may be used include any enzyme of animal, microbiological (bacterial, fungal or viral) or synthetic origin (obtained via chemical or biotechnological synthesis), in pure crystalline form or in a form diluted in an inert diluent. Examples that may be mentioned include lipases, proteases, phospholipases, laccases, cellulases, peroxidases, especially lactoperoxidases, catalases, superoxide dismutases, or plant extracts containing the abovementioned enzymes, and mixtures thereof. They may be chosen, for example, from the product sold under the trade name "Subtilisin SP 554" by the company Novo Nordisk and the product sold under the trade name "Lysoveg LS" by the company Laboratoires Sériobiologiques de Nancy.

14) Coenzymes that may especially be used include ubiquinone or coenzyme Q10, which belongs to the family of benzoquinones containing an alkylene chain, and coenzyme R, which is biotin (or vitamin H), and mixtures thereof.

15) Examples of flavonoids that may be mentioned

include isoflavonoids, which constitute a subclass of flavonoids, formed from a 3-phenylchroman skeleton, which may comprise various substituents and different levels of oxidation. The term "isoflavonoid" includes several classes of compounds, among which mention may be made of isoflavones, isoflavanones, rotenoids, pterocarpanes, isoflavanes, isoflavan-3-enes, 3-arylcoumarins, 3-aryl-4-hydroxycoumarins, coumestanes, coumaronochromones, α -methyldeoxybenzoins, 2-arylbenzofurans, and mixtures thereof. The isoflavanoids may be of natural or synthetic origin. The term "natural origin" means the isoflavonoid in pure form or as a solution in different concentrations, obtained via various extraction processes from a component, generally a plant, of natural origin. The term "synthetic origin" means the isoflavonoid in pure form or as a solution in different concentrations, obtained via chemical synthesis. Isoflavonoids of natural origin that may be mentioned include daidzin, genistin, daidzein, formononetin, cuneatin, genistein, isoprunitin and prunitin, cajanine, orobol, pratensein, santal, junipegenin A, glycitein, afrormosin, retusin, tectorigenin, irisolidone, jamaicin, and also analogues and metabolites thereof.

16) Ceramides that may be used include any type of ceramide of natural or synthetic origin, for example of type II, of type III, of type IV, of type V or of

type VI, and mixtures thereof. Examples of ceramides that may be mentioned include N-oleoyldihydrosphingosine, N-stearoylphytosphingosine, N- α -hydroxybehenoyldihydrosphingosine, N- α -hydroxypalmitoyldihydrosphingosine, N-linoleoyldihydrosphingosine, N-palmitoyldihydrosphingosine, N-stearoyldihydrosphingosine and N-behenoyldihydrosphingosine, and mixtures thereof.

17) Examples of tensioning agents that may be mentioned include:

- synthetic polymers;
- polymers of natural origin;
- mixed silicates;
- wax microparticles;
- colloidal particles of mineral fillers.

The synthetic polymers that may be used as tensioning agents may be chosen from:

- polyurethane polymers and copolymers;
- acrylic polymers and copolymers;
- sulfoisophthalic acid polymers;
- grafted silicone polymers;
- water-soluble or water-dispersible polymers comprising water-soluble or water-dispersible units and units with an LCST (Lower Critical Solution Temperature).

The polyurethane copolymers, the acrylic

copolymers and the other synthetic polymers that may be used as tensioning agents may be chosen especially from polycondensates, hybrid polymers and interpenetrating polymer networks (IPNs). The term "interpenetrating polymer network" means a mixture of two intermeshed polymers, obtained by simultaneous polymerization and/or crosslinking of two types of monomer, the mixture obtained having a single glass transition temperature. Examples of IPNs that are suitable as tensioning polymers, and also the process for preparing them, are described, for example, in documents US-A-6 139 322 and US-A-6 465 001. Preferably, the IPN comprises at least one polyacrylic polymer, and it more preferably also comprises at least one polyurethane or a copolymer of vinylidene fluoride and of hexafluoropropylene. According to one preferred embodiment, the IPN comprises a polyurethane polymer and a polyacrylic polymer. Such IPNs are especially those of the Hybridur series sold by the company Air Products. An IPN that is particularly preferred as tensioning polymer is in the form of an aqueous dispersion of particles with a weight-average size of between 90 and 110 nm and a number-average size of about 80 nm. This IPN preferably has a glass transition temperature, T_g , ranging from about -60°C to $+100^{\circ}\text{C}$. An IPN of this type is sold especially by the company Air Products under the trade name Hybridur X-01602.

Another IPN that is suitable for use in the present invention has the reference Hybridur X18693-21 or Hybridur 875 polymer dispersion.

Other IPNs that are suitable as tensioning polymers include the IPNs consisting of a mixture of a polyurethane with a copolymer of vinylidene fluoride and of hexafluoropropylene, especially those prepared as described in document US-A-5 349 003. As a variant, they are commercially available in the form of a colloidal dispersion in water, in a ratio of the fluoro copolymer to the acrylic polymer of between 70:30 and 75:25, under the trade names Kynar RC-10,147 and Kynar RC-10,151 from the company Atofina.

Examples of grafted silicone polymers are indicated in document EP-A-1 038 519, which is incorporated herein by reference. A preferred example of a grafted silicone polymer is polysilicone-8 (CTFA name), which is a polydimethylsiloxane on which are grafted, via a linking chain of thiopropylene type, mixed polymer units of the poly(meth)acrylic acid type and of the polyalkyl (meth)acrylate type. A polymer of this type is especially available under the trade name VS 80 (at 10% in water) or LO 21 (in pulverulent form) from the company 3M. It is a copolymer of polydimethylsiloxane containing propylthio, methyl acrylate, methyl methacrylate and methacrylic acid groups.

The abovementioned synthetic polymers may be in the form of latices. As suitable latices that may be used as tensioning agents, mention may be made especially of polyester-polyurethane and polyether-polyurethane dispersions, such as those sold under the names Avalure UR410 and UR460 by the company Noveon, and under the names Neorez R974, Neorez R981 and Neorez R970, and also acrylic copolymer dispersions such as those sold under the name Neocryl XK-90 by the company Avecia.

Finally, synthetic polymers that are suitable as tensioning polymers may be water-soluble or water-dispersible polymers comprising water-soluble or water-dispersible units and comprising units with an LCST, the said units with an LCST having, in particular, a demixing temperature in water of from 5 to 40°C at a mass concentration of 1%. This type of polymer is more fully described in document FR-A-2 819 429.

The polymers of natural origin that may be used as tensioning agents may be chosen from:

- plant proteins and plant protein hydrolysates;
- polysaccharides of plant origin, optionally in the form of microgels, such as starch;
- latices of plant origin.

As examples of plant proteins and plant protein hydrolysates that may be used as tensioning agents, mention may be made of proteins and protein

hydrolysates of corn, rye, *Triticum aestivum*, buckwheat, sesame, spelt, pea, bean, lentil, soybean and lupin.

The polysaccharides that may be used as tensioning agents may be chosen from polysaccharides of natural origin capable of forming heat-reversible or crosslinked gels and solutions. The term "heat-reversible" means that the gel state of these polymer solutions is obtained reversibly, once the solution has cooled below the characteristic gel point of the polysaccharide used. As polysaccharides of natural origin of this type, mention may be made of carrageenans and most particularly kappa-carrageenan and iota-carrageenan; agars, gellans; alginates; pectins; chitosans and derivatives thereof; pullulans and derivatives thereof. These tensioning polysaccharides may be present in the form of microgels as described in document FR-A-2 829 025.

The polysaccharides may also be chosen from starch and its derivatives. The starch may be of any origin: for example rice, corn, potato, cassava, pea, *Triticum aestivum* or oat, and it may be natural or optionally modified by means of a treatment such as crosslinking, acetylation or oxidation. It may optionally be grafted. As a starch that may be used as a tensioning agent, an example that may be mentioned is the product sold by the company Lambert-Rivière under

the name Remi Dri.

Another class of tensioning agents that may be used according to the invention consists of mixed silicates. This term means any silicate of natural or synthetic origin containing several types of cations chosen from alkali metals (for example Na, Li or K) or alkaline-earth metals (for example Be, Mg or Ca) and transition metals. Phyllosilicates are preferably used, i.e. silicates having a structure in which the SiO_4 tetrahedra are organized in lamellae between which the metal cations are enclosed. One family of silicates that is particularly preferred as tensioning agents is the laponite family. Laponites are magnesium lithium sodium silicates that have a layer structure similar to that of montmorillonites. Laponite is the synthetic form of the natural mineral known as hectorite. The laponite sold under the name Laponite XLS or Laponite XLG by the company Rockwood may be used, for example.

Yet another class of tensioning agents consists of wax microparticles. These are particles with a diameter generally of less than 5 μm , or better still 0.5 μm , and consisting essentially of a wax or a mixture of waxes chosen, for example, from carnauba wax, candelilla wax or esparto grass wax. The melting point of the wax or of the mixture of waxes is preferably between 50°C and 150°C.

As another variant, tensioning agents that

may be used are colloidal particles of mineral fillers. The term "colloidal particles" means colloidal particles dispersed in an aqueous, aqueous-alcoholic or alcoholic medium, having a number-average diameter of between 0.1 and 100 nm and preferably between 3 and 30 nm. Examples of mineral fillers that may be mentioned include silica, cerium oxide, zirconium oxide, alumina, calcium carbonate, barium sulfate, calcium sulfate, zinc oxide and titanium dioxide. A mineral filler that is particularly preferred is silica. Colloidal silica particles are especially available in the form of an aqueous dispersion of colloidal silica from the company Catalysts & Chemicals under the trade names Cosmo S-40 and Cosmo S-50. Silica-alumina composite colloidal particles may also be used, such as those sold by the company Grace under the names Ludox AM, Ludox HSA and Ludox TMA.

18) As muscle relaxants, which are agents for smoothing out expression wrinkles, examples that may be mentioned include sapogenins (see patent application EP-A-1 352 643); adenosine (see patent application FR-02/14828); antagonists of receptors associated with the calcium channels (see patent application FR-A-2 793 681) and in particular manganese and its salts (see patent application FR-A-2 809 005) and alverine (see patent application FR-A-2 798 590); agonists of receptors associated with the chlorine

channels, including glycine (see patent application EP-A-0 704 210) and certain extracts of *Iris pallida* (see patent application FR-A-2 746 641).

IV) Antimicrobial or antifungal active agents,

especially 2,4,4'-trichloro-2'-hydroxydiphenyl ether (or triclosan), 3,4,4'-trichlorobanilide (or triclocarban), phenoxyethanol, phenoxypropanol, phenoxyisopropanol, hexamidine isethionate, metronidazole and its salts, miconazole and its salts, itraconazole, terconazole, econazole, ketoconazole, saperconazole, fluconazole, clotrimazole, butoconazole, oxiconazole, sulfaconazole, sulconazole, terbinafine, ciclopirox, ciclopiroxolamine, undecylenic acid and its salts, benzoyl peroxide, 3-hydroxybenzoic acid, 4-hydroxybenzoic acid, phytic acid, N-acetyl-L-cysteine acid, lipoic acid, azelaic acid and its salts, arachidonic acid, resorcinol, 2,4,4'-trichloro-2'-hydroxydiphenyl ether, 3,4,4'-trichlorocarbanalide, octopirox, octoxyglycerol, octanoylglycine, caprylyl glycol, 10-hydroxy-2-decanoic acid, dichlorophenylimidazole dioxolane and derivatives thereof described in document WO-A-93/18743, farnesol, phytosphingosines, selenium derivatives, zinc pyrithione, tetracyclines, for instance erythromycin, and mixtures of these compounds.

V) Anti-inflammatory or calmative active agents such as pentacyclic triterpenes and plant extracts (e.g.:

Glycyrrhiza glabra) containing them, for instance β -glycyrrhetic acid and salts and/or derivatives thereof (glycyrrhetic acid monoglucuronide, stearyl glycyrrhetinate or 3-stearoyloxyglycyrrhetic acid); ursolic acid and its salts; oleanolic acid and its salts; betulinic acid and its salts; extracts of the pea Paeonia suffruticosa, of lactiflora, of Laminaria saccharina, of camomile, of Pygeum, of Boswellia serrata, of Centipeda cunnighami, of Helianthus annuus, of Linum usitatissimum, of Cola nitida, of clove, of Epilobium angustifolium or of Bacopa monieri; salicylic acid salts, and in particular zinc salicylate; phycosaccharides from the company Codif; Canola oil; bisabolol; allantoin; Sepivital EPC (phosphoric diester of vitamin E and C) from the company SEPPIC; omega-3 unsaturated oils such as musk rose oil, blackcurrant oil, Echium oil, or fish oil; capryloyl glycine; Seppicalm VG (sodium palmitoylproline and Nymphaea alba) from the company SEPPIC; tocotrienols; piperonal, Aloe vera; phytosterols.

VI) Lipolytic or slimming active agents, i.e. active agents with direct or indirect favourable activity on reducing adipose tissue, such as:

- xanthine derivatives, for instance caffeine and its derivatives, especially the 1-hydroxyalkylxanthines described in document FR-A-2 617 401, caffeine citrate, theophylline and its derivatives, theobromine,

acefylline, aminophylline, chloroethyltheophylline, diprofylline, diniprophylline, etamiphylline and its derivatives, etofylline and proxyphylline; or combinations containing xanthine derivatives, for instance the combination of caffeine and silanol (methylsilanetriol derivative of caffeine), for example the product sold by the company Exsymol under the name cafeisilane C; or compounds of natural origin containing xanthine bases and especially caffeine, such as extracts of tea, of coffee, of guarana, of maté, of cola (*Cola nitida*) and especially the dry extract of guarana fruit (*Paulina sorbilis*) containing 8 to 10% caffeine; ephedrine and its derivatives, which may especially be in natural form in plants such as Ma Huang (*Ephedra* plant);

- plant extracts and extracts of marine origin, which are either active on the receptors to be inhibited, such as β -2 blockers, NPY blockers (described in document EP-A-838 217), or inhibit the synthesis of LDL or VLDL receptors, or are active in stimulating the β receptors and the G proteins, leading to the activation of adenylyclase. Examples of plant extracts of this type that may be mentioned include:

- *Garcinia cambogia*,
- extracts of *Bupleurum chinensis*,
- extracts of climbing ivy (*Hedera helix*), of arnica (*Arnica Montana L*), of rosemary (*Rosmarinus*

officinalis N), of marigold (*Calendula officinalis*), of sage (*Salvia officinalis* L), of ginseng (*Panax ginseng*), of St. John's Wort (*Hypericum perforatum*), of ruscus (*Ruscus aculeatus* L), of ulmaria (*Filipendula ulmaria* L), of orthosiphon (*Orthosiphon stamineus* Benth), of birch (*Betula alba*), of pumpwood and of argan tree,

- extracts of ginkgo biloba,
- extracts of horsetail,
- extracts of escine,
- extracts of cangzhu,
- extracts of *Chrysanthellum indicum*,
- extracts of diosgenin-rich dioscoria plants or pure diosgenin or hecogenin and derivatives thereof,
- extracts of plants of the genus *Armeniacea*, *Atractylodis platicodon*, *Sinom-menum*, *Pharbitidis* and *Flemingia*,
- extracts of *Coleus* such as *C. forskohlii*, *C. blumei*, *C. esquirolii*, *C. scutellaroides*, *C. xanthanthus* and *C. barbatus*, such as the extract of *Coleus barbatus* root containing 60% forskolin,
- extracts of ballota,
- extracts of *Guioa*, of *Davallia*, of *Terminalia*, of *Barringtonia*, of *Trema* or of *Antirobia*.

Extracts of marine origin that may be mentioned include:

- extracts of algae or of phytoplankton, such as rhodysterol or the extract of *Laminaria digitata* sold under the name Phycox 75 by the company Secma, the alga skeletonema described in document FR-A-2 782 921 or the diatoms described in document FR-A-2 774 292.

VII) Fillers, and especially those that provide optical effects, i.e. fillers capable of imparting, after application to the skin, the following optical effects:

- matting or a reduction in gloss;
- soft focus effect: the term "soft focus effect" means the visible reduction in wrinkles, pores and irregularities of the skin microrelief, this reduction being obtained instantaneously after applying the cosmetic composition to skin presenting imperfections associated with an irregular microrelief;
- homogenization and lightening of the complexion: the term "homogeneity of the complexion" means the visible reduction in dyschromia and pigmentary irregularities of the skin, obtained instantaneously after applying the cosmetic composition to skin presenting these imperfections.

The fillers are solid, generally white particles, which are insoluble in the medium of the composition.

Among the fillers with an optical effect that

may be used in the invention, mention may be made of mineral fillers (amorphous titanium dioxide or titanium dioxide crystallized in rutile and/or anatase form, zinc oxide, iron oxide, cerium oxide, silica, alumina, boron nitride, talc, sericite, mica, etc), which may be coated or uncoated, and also composite fillers, nacres, clays, starch and its derivatives, aqueous dispersions of acrylic styrene, melamine-formaldehyde or urea-formaldehyde resin particles, aqueous dispersions of polytetrafluoroethylene (PTFE), wax microdispersions, polyvinylpyrrolidone/1-tricontene copolymers, silicone waxes and resins, organopolysiloxane particles, microspheres of expanded terpolymer of vinylidene chloride, of acrylonitrile and of methacrylate, Nylon particles, cellulose microbeads, fibres, hollow hemispherical silicone particles such as those sold under the names NLK-500 and NLK-503 by the company Takemoto Oil and Fat.

VIII) Sunscreens which may be chosen from the UVA and UVB chemical screening agents or the physical sun blocks that may usually be used in cosmetics.

Examples of UVB screening agents that may be mentioned include:

- (1) salicylic acid derivatives, in particular homomenthyl salicylate and octyl salicylate;
- (2) cinnamic acid derivatives, in particular the 2-ethylhexyl p-methoxycinnamate sold by the company

Givaudan under the name Parsol MCX;

(3) liquid β,β' -diphenylacrylate derivatives, in particular 2-ethylhexyl α -cyano- α,β' -diphenylacrylate, or octocrylene, sold by the company BASF under the name Uvinul N539;

(4) p-aminobenzoic acid derivatives;

(5) the 4-methylbenzylidenecamphor sold by the company Merck under the name Eusolex 6300;

(6) the 2-phenylbenzimidazole-5-sulfonic acid sold under the name Eusolex 232 by the company Merck;

(7) 1,3,5-triazine derivatives, in particular:

- 2,4,6-tris [p-(2'-ethylhexyl-1'-oxycarbonyl)anilino]-1,3,5-triazine sold by the company BASF under the name Uvinul T150, and

- the dioctylbutamidotriazone sold by the company Sigma 3V under the name Uvasorb HEB;

(8) mixtures of these screening agents.

Examples of UVA screening agents that may be mentioned include:

(1) dibenzoylmethane derivatives, in particular the 4-(tert-butyl)-4'-methoxydibenzoylmethane sold by the company Givaudan under the name Parsol 1789;

(2) benzene-1,4-bis(3-methylidenecamphor-10-sulfonic acid), optionally in partially or totally neutralized form, sold under the name Mexoryl SX by the company Chimex;

(3) benzophenone derivatives, for example:

- 2,4-dihydroxybenzophenone (benzophenone-1);
 - 2,2',4,4'-tetrahydroxybenzophenone (benzophenone-2);
 - 2-hydroxy-4-methoxybenzophenone (benzophenone-3),
sold under the name Uvinul M40 by the company BASF;
 - 2-hydroxy-4-methoxybenzophenone-5-sulfonic acid
(benzophenone-4), and also its sulfonate form
(benzophenone-5), sold by the company BASF under the
name Uvinul MS40;
 - 2,2'-dihydroxy-4,4'-dimethoxybenzophenone
(benzophenone-6);
 - 5-chloro-2-hydroxybenzophenone (benzophenone-7);
 - 2,2'-dihydroxy-4-methoxybenzophenone (benzophenone-8);
 - the disodium salt of 2,2'-dihydroxy-4,4'-
dimethoxybenzophenone-5,5'-disulfonic acid
(benzophenone-9);
 - 2-hydroxy-4-methoxy-4'-methylbenzophenone
(benzophenone-10);
 - benzophenone-11;
 - 2-hydroxy-4-(octyloxy)benzophenone (benzophenone-12);
- (4) silane derivatives or polyorganosiloxanes
containing a benzophenone group;
- (5) anthranilates, in particular the
menthylantranilate sold by the company Haarman &
Reimer under the name Neo Heliopan MA;
- (6) compounds comprising, per molecule, at least two
benzazolyl groups or at least one benzodiazolyl group,
in particular 1,4-bis(benzimidazolyl)phenylene-

3,3',5,5'-tetrasulfonic acid, and also its salts, sold by the company Haarman & Reimer;

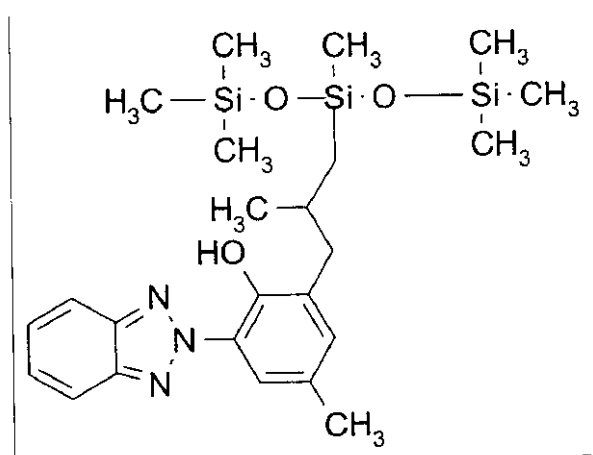
(7) silicon derivatives of N-substituted benzimidazolyl-benzazoles or of benzofuranyl-benzazoles, and in particular:

- 2-[1-[3-[1,3,3,3-tetramethyl-1-[(trimethylsilyl)oxy]-disiloxanyl]propyl]-1H-benzimidazol-2-yl]benzoxazole;
- 2-[1-[3-[1,3,3,3-tetramethyl-1-[(trimethylsilyl)oxy]-disiloxanyl]propyl]-1H-benzimidazol-2-yl]benzothiazole;
- 2-[1-(3-trimethylsilanylpropyl)-1H-benzimidazol-2-yl]benzoxazole;
- 6-methoxy-1,1'-bis(3-trimethylsilanylpropyl)-1H,1'H-[2,2']bibenzimidazolylbenzoxazole;
- 2-[1-(3-trimethylsilanylpropyl)-1H-benzimidazol-2-yl]benzothiazole;

which are described in document EP-A-1 028 120;

(8) triazine derivatives, and in particular 2,4-bis{[4-(2-ethylhexyloxy)-2-hydroxy]phenyl}-6-(4-methoxyphenyl)-1,3,5-triazine sold by the company Ciba Geigy under the name Tinosorb S, and 2,2'-methylenebis[6-(2H-benzotriazol-2-yl)-4-(1,1,3,3-tetramethylbutyl)phenol] sold by the company Ciba Geigy under the name Tinosorb M;

(9) benzotriazole silicones, which are described especially in document EP-A-0 392 883, in particular the benzotriazole silicone of formula:



(10) mixtures thereof.

A mixture of several of these screening agents may also be used.

IX) Skin-colouring and hair-colouring agents, in particular skin-colouring agents such as dihydroxyacetone (DHA), natural dyes such as plant extracts, for instance extracts of sorghum, and optical brighteners.

Optical brighteners are a family of fluorescent substances that are well known to those skilled in the art. Such compounds are described in "Fluorescent Whitening Agent, Encyclopedia of Chemical Technology, Kirk-Othmer", vol. 11, pp. 227-241, 4th edition, 1994, Wiley. They are agents that optically bleach the skin, consisting of chemical compounds endowed with fluorescence properties, which absorb in the ultraviolet range (maximum absorption at a wavelength of less than 400 nm) and re-emit the energy via fluorescence at a wavelength of between 380 nm and 830 nm. An emission of energy of between

400 nm and 480 nm results in an emission in the blue region of the visible range, which contributes, when this emission takes place on the skin, towards visually whitening it.

They may be defined more particularly as compounds that absorb essentially in the UVA and UVB range between 290 and 400 nm and re-emit essentially between 400 and 525 nm. Among the optical brighteners that are preferably used are stilbene derivatives, coumarin derivatives, oxazole and benzoxazole derivatives and imidazole derivatives. Such compounds are readily commercially available. The optical brighteners preferably used in the product according to the invention are the distyryl-4,4'-biphenyl disulfonate sold by the company Ciba Geigy under the name Tinopal CBS-X[®]. Examples that may also be mentioned include sodium 4,4'-bis[(4,6-dianilino-1,3,5-triazin-2-yl)amino]stilbene-2,2'-disulfonate and 2,5-thiophenediylbis(5-tert-butyl-1,3-benzoxazole), sold by the company Ciba Geigy under the names Tinopal SOP[®] and Uvitex OB[®].

X) Concealing active agents, such as vitamin K1 and its derivatives, and coumarins.

XI) Antiperspirant active agents such as aluminium and/or zirconium salts, for instance aluminium chlorohydrate, aluminium chlorohydrate, aluminium chlorohydrate PEG, aluminium chlorohydrate PG, aluminium

dichlorohydrate, aluminium dichlorohydrate PEG, aluminium dichlorohydrate PG, aluminium sesquichlorohydrate, aluminium sesquichlorohydrate PEG, aluminium sesquichlorohydrate PG, alun salts, aluminium sulfate, aluminium zirconium octachlorohydrate, aluminium zirconium pentachlorohydrate, aluminium zirconium tetrachlorohydrate, aluminium zirconium trichlorohydrate and more particularly the aluminium chlorohydrate sold by the company Reheis under the name Reach 301 or 303, or by the company Guilini Chemie under the name Aloxicoll PF 40, and the aluminium zirconium salt sold by the company Reheis under the name Reach AZP-908-SUF; complexes of zirconium hydroxychloride and of aluminium hydroxychloride with an amino acid, such as those described in document US-A-3 792 068, which are commonly known as "ZAG complexes", for instance aluminium zirconium octachlorohydrate GLY, aluminium zirconium pentachlorohydrate GLY, aluminium zirconium tetrachlorohydrate GLY and aluminium zirconium trichlorohydrate-GLY.

XII) Deodorant active agents, such as zinc pyrrolidonecarboxylate (more commonly known as zinc pidolate), zinc sulfate, zinc chloride, zinc lactate, zinc gluconate and zinc phenolsulfonate, 2,4,4'-trichloro-2'-hydroxydiphenyl ether (Triclosan), 2,4-dichloro-2'-hydroxydiphenyl ether, 3',4',5'-

trichlorosalicylanilide, 1-(3'4',-dichlorophenyl)-3-(4'-chlorophenyl)urea (Triclocarban) or 3,7,11-trimethyldodeca-2,5,10-trienol (Farnesol); quaternary ammonium salts, for instance cetyltrimethylammonium salts and cetylpyridinium salts; chlorhexidine and its salts; diglyceryl monocaprate, diglyceryl monolaurate and glyceryl monolaurate; polyhexamethylene biguanide salts.

XIII) Hair-treating active agents such as (1) hair-loss inhibitors and hair-growth stimulators, such as minoxidil, biotin, aminexil, cysteine, finasteride, 2,4-dipyrimidine N-oxide, panthenol and derivatives, flavanone T, calcium antagonists, for instance diltiazem, verapamil, alverine and nifedipine, hormones, for instance progesterone, FP receptor agonists, for instance latanoprost, type-1 15-hydroxyprostaglandin dehydrogenase inhibitors, prostaglandins and derivatives thereof, or more generally any plant extract having type I or II anti-5-alpha reductase activity; (2) antidandruff agents such as zinc pyrithione, 1-hydroxy-2-pyrrolidone derivatives or selenium sulfides.

XIV) Hair-removing agents, which are used to inhibit the growth of hairs, such as thioglycolic acid and its derivatives; dithioglycolic acid and its derivatives; the serine proteases described in document US-A-6 407 056; caffeic acid; quercetin; propyl

gallate; norhydroguaiaretic acid or NDGA; indomethacin; eflornithine hydrochloride; plant extracts as described in document US-A-6 171 595, for instance extracts of clove, of rosebud, of burnet or of Bengal gambir; the compounds described in document US-A-6 075 052; tetramisole; sodium orthovanadate; levamisole; disodium chromoglycate; vanadium nitrate and gallium nitrate as described in document US-A-6 020 006; the compounds described in documents US-A-4 885 289, US-A-4 720 489, US-A-5 132 293, US-A-5 096 911, US-A-5 095 007, US-A-5 143 925, US-A-5 328 686, US-A-5 440 090, US-A-5 364 885, US-A-5 411 991, US-A-5 648 394, US-A-5 468 476, US-A-5 475 763, US-A-5 455 608, US-A-5 674 477, US-A-5 728 736 and US-A-5 652 273, WO-A-94/27586, WO-A-94/27563 and WO-A-98/03149; extracts of juniper as described in document US-A-6 375 948.

XV) Pigments, which are used especially when the product obtained is intended for making up the skin, or when they are metal oxide pigments, when the product obtained is intended to constitute an antison product for protecting coloured hair or skin from sunlight.

These pigments may be mineral and/or organic, interference, goniochromatic, fluorescent, white, coloured, nacreous or reflective, or in the form of flakes. The term "pigment" should be understood as meaning particles that are insoluble in the

physiological medium of the composition.

Among the mineral pigments that may be mentioned are titanium dioxide, optionally surface-treated, zirconium oxide or cerium oxide, and also zinc oxide, iron oxide (black, yellow or red) or chromium oxide, manganese violet, ultramarine blue, chromium hydrate and ferric blue. Among the organic pigments that may be mentioned are carbon black, pigments such as organic lakes of barium, strontium, calcium or aluminium including those submitted for certification by the Food and Drug Administration (FDA) (for example D&C or FD&C) and those exempt from FDA certification, for instance lakes based on cochineal carmine.

The nacreous pigments or nacres may be chosen from white nacreous pigments such as mica coated with titanium or with bismuth oxychloride, coloured nacreous pigments such as titanium mica with iron oxides, titanium mica with, especially, ferric blue or chromium oxide, titanium mica with an organic pigment of the abovementioned type, and nacreous pigments based on bismuth oxychloride. Among the commercially available nacres that may be mentioned are the nacres sold under the names Timica[®] and Flamenco[®] by the company Engelhard and the nacres sold under the name Timiron[®] by the company Merck.

It is also possible to use goniochromatic pigments, for instance pigments with a multilayer

interference structure, for example of Al/SiO₂/Al/SiO₂/Al structure, sold by the company Dupont de Nemours; of Cr/MgF₂/Al/MgF₂/Cr structure sold under the name Chromaflair[®] by the company Flex; of MoS₂/SiO₂/Al/SiO₂/MoS₂, Fe₂O₃/SiO₂/Al/SiO₂/Fe₂O₃ or Fe₂O₃/SiO₂/Fe₂O₃/SiO₂/Fe₂O₃ structure sold under the name Sicopearl[®] by the company BASF; of MoS₂/SiO₂/mica-oxide/SiO₂/MoS₂, Fe₂O₃/SiO₂/mica-oxide/SiO₂/Fe₂O₃, TiO₂/SiO₂/TiO₂ or TiO₂/Al₂O₃/TiO₂ structure, sold under the name Xirona[®] by the company Merck. The pigments sold under the name Infinite Colors[®] from the company Shiseido may also be mentioned.

It is also possible to use reflective pigments, for instance particles with a silver-coated glass substrate, in the form of platelets, such as those sold, for example, under the name Microglass Metashine REFSX 2025 PS[®] by the company Toyal; particles with a glass substrate coated with nickel/chromium/molybdenum alloy, such as those sold, for example, under the names Crystal Star GF 55[®] and GF 2525[®] by the company Toyal; pigments of brand name Reflecks[®], sold by the company Engelhard, comprising a glass substrate coated with brown iron oxide; particles comprising a stack of at least two polymer layers, for instance those sold by the company 3M under the name Mirror Glitter[®].

Examples of liquid-crystal goniochromatic

particles that may be used include those sold by the company Chenix and also the product sold under the name Helicone[®] HC by the company Wacker.

XVI) Dyes, which give a colour to the film(s) and/or to the aqueous composition, especially water-soluble dyes such as copper sulfate, iron sulfate, water-soluble sulfopolyesters, rhodamines, natural dyes, for instance carotene and beetroot juice, methylene blue, caramel, the disodium salt of tartrazine and the disodium salt of fuschin, and mixtures thereof. Liposoluble dyes may also optionally be used. The dye(s) is (are) preferably present in the film(s). The aqueous composition may thus be coloured at the time of use according to the shade desired at that time.

The dyes and pigments allow the colour to be modified as a function of the desired aim (for example healthy complexion or concealing effect).

XVII) Fragrances, which may be of any type, either composite fragrances comprising a mixture of odoriferous materials, or an isolated odoriferous material. Thus, the kit may comprise several films each comprising a different odoriferous material such that several films mixed into the aqueous composition give a particular fragrance. Fragrances with muscle-relaxing properties, which afford a relaxing effect when the product is applied to the skin, may also be introduced.

The odoriferous materials are compounds

usually used by perfumers and they are described especially in S. Arctander, Perfume and Flavor Chemicals (Montclair, N.J., 1969) and S. Arctander, Perfume and Flavor Materials of Natural Origin (Elizabeth, N.J., 1960) and in "Flavor and Fragrance Materials - 1991", Allured Publishing Co. Wheaton, III. USA.

They may be natural products (essential oils, absolutes, resinoids, resins or concretes) and/or synthetic products (hydrocarbons, alcohols, aldehydes, ketones, ethers, acids, esters, acetals, ketals or nitriles, which may be saturated or unsaturated, and aliphatic or cyclic).

Examples of essential oils comprise essential oils of lemon, of orange, of aniseed, of bergamot, of rose, of geranium, of ginger, of neroli, of basil, of rosemary, of cardamom, of camphor, of cedar, of camomile, of sandalwood and of sage, and mixtures thereof, without this list being limiting.

Examples of other odoriferous materials are especially geraniol, geranyl acetate, farnesol, borneol, bornyl acetate, linalol, linalyl acetate, linalyl propionate, linalyl butyrate, tetrahydrolinalol, citronellol, citronellyl acetate, citronellyl formate, citronellyl propionate, dihydromyrcenol, dihydromyrcenyl acetate, tetrahydromyrcenol, terpineol, terpinyl acetate, nopol,

nopyl acetate, nerol, neryl acetate, 2-phenylethanol, 2-phenylethyl acetate, benzyl alcohol, benzyl acetate, benzyl salicylate, styrallyl acetate, benzyl benzoate, amyl salicylate, dimethylbenzylcarbinol, trichloromethylphenylcarbiny acetate, p-tert-butylcyclohexyl acetate, isononyl acetate, vetiveryl acetate, vetiverol, α -hexylcinnamaldehyde, 2-methyl-3-(p-tert-butylphenyl)propanol, 2-methyl-3-(p-isopropylphenyl)propanal, 3-(p-tert-butylphenyl)propanal, 2,4-dimethylcyclohex-3-enylcarboxaldehyde, tricyclodecenyl acetate, tricyclodecenyl propionate, 4-(4-hydroxy-4-methylpentyl)-3-cyclohexenecarboxaldehyde, 4-(4-methyl-3-pentenyl)-3-cyclohexenecarboxaldehyde, 4-acetoxy-3-pentyltetrahydropyran, 3-carboxymethyl-2-pentylcyclopentane, 2-n-heptylcyclopentanone, 3-methyl-2-pentyl-2-cyclopentenone, menthone, carvone, tagetone, geranyl acetone, n-decanal, n-dodecanal, 9-decen-1-ol, phenoxyethyl isobutyrate, phenylacetaldehyde dimethyl acetal, phenylacetaldehyde diethyl acetal, geranonitrile, citronellonitrile, cedryl acetate, 3-isocamphylcyclohexanol, cedryl methyl ether, isolongifolanone, aubepinonitrile, aubepine, heliotropine, coumarin, eugenol, vanillin, diphenyl ether, citral, citronellal, hydroxycitronellal, damascone, ionones, methylionones, isomethylionones, solanone, irones, cis-3-hexenol and its esters, indane

musks, tetralin musks, isochroman musks, macrocyclic ketones, macrolactone musks and ethylene brassylate, and mixtures thereof.

XVIII) Polymers which, as indicated above, may be those intrinsically present in the anhydrous film(s), but it is also possible to use other polymers present in anhydrous films and liable to afford particular rheological properties to the aqueous composition. Examples of polymers that may be mentioned include modified or unmodified carboxyvinyl polymers, such as the products sold under the names Carbopol (INCI name: carbomer) and Pemulen (INCI name: Acrylates/C10-30 alkyl acrylate crosspolymer) by the company Noveon; polyacrylates and polymethacrylates such as the products sold under the names Lubrajel and Norgel by the company Guardian or under the name Hispagel by the company Hispano Chimica; polyacrylamides; 2-acrylamido-2-methylpropanesulfonic acid polymers and copolymers, which are optionally crosslinked and/or neutralized, for instance the poly(2-acrylamido-2-methylpropane-sulfonic acid) sold by the company Clariant under the name "Hostacerin AMPS" (INCI name: ammonium polyacryldimethyltauramide); crosslinked anionic copolymers of acrylamide and of AMPS, which are in the form of a W/O emulsion, such as those sold under the name Sepigel 305 (INCI name: Polyacrylamide/C13-14 Isoparaffin/Laureth-7) and under the name Simulgel 600

(INCI name: Acrylamide/Sodium acryloyldimethyltaurate copolymer/Isohexadecane/Polysorbate 80) by the company SEPPIC; polysaccharide biopolymers, for instance xanthan gum, guar gum, carob gum, acacia gum, scleroglucans, chitin and chitosan derivatives, carrageenans, gellans, alginates, celluloses such as microcrystalline cellulose, carboxymethylcellulose, hydroxymethylcellulose and hydroxypropylcellulose; associative polymers, for instance associative polyurethanes, copolymers comprising at least two hydrocarbon-based lipophilic chains containing from 6 to 30 carbon atoms, separated with a hydrophilic sequence, such as the polyurethanes sold under the names Serad FX1010, Serad FX1100 and Serad FX1035 by the company Hüls (INCI name: Polyurethane), those sold under the names Rheolate 255, Rheolate 278 and Rheolate 244 by the company Rheox (INCI name: Polyether-urea-polyurethane), those sold under the names DW 1206F, DW 1206J, DW 1206B and DW 1206G by the company Röhm & Haas (INCI name: Polyurethane), and the product sold under the name Acrysol RM 2020 from the company Röhm & Haas. Fixing polymers such as those conventionally used in lakes and hairstyling products may also be used.

XIX) Electrolytes, and especially mono-, di- or trivalent metal salts and more particularly the salts of alkaline-earth metals and in particular barium, calcium and strontium salts, alkali metal salts, for

example sodium and potassium salts, and also magnesium, beryllium, yttrium, lanthanum, cerium, praseodymium, neodymium, promethium, samarium, europium, gadolinium, terbium, dysprosium, holmium, erbium, thulium, ytterbium, lutetium, lithium, tin, zinc, manganese, cobalt, nickel, iron, copper, rubidium, aluminium, silicon and selenium salts, and mixtures thereof.

The ions constituting these salts may be chosen, for example, from carbonates, bicarbonates, sulfates, phosphates, sulfonates, glycerophosphates, borates, bromides, chlorides, nitrates, acetates, hydroxides and persulfates, and also α -hydroxy acid ions (citrates, tartrates, lactates and malates) or fruit acid ions, β -hydroxy acid ions (salicylates, 2-hydroxy alkanoates, n-alkylsalicylates and n-alkanoylsalicylates), or amino acid ions (aspartate, arginate, glycocholate and fumarate).

It is also possible to use a mixture of these salts, including natural mixtures or mixtures whose composition is close to that of a natural mixture, and in particular of an aqueous mixture comprising from 30% to 35% magnesium chloride, from 20% to 28% potassium chloride, from 3% to 10% sodium chloride, from 0.2% to 1% calcium chloride, from 0.1% to 0.6% magnesium bromide and from 0.1% to 0.5% of insoluble matter, the said mixture being known as "Dead Sea Bath Salts" since it corresponds to the main salts contained in the

Dead Sea.

Preferred electrolytes are especially sodium chloride, magnesium chloride and Dead Sea salts.

XX) pH adjusters and especially those usually used in cosmetics to adjust the pH of compositions to the desired value. They may be acids or bases chosen from mineral bases, for instance sodium hydroxide, organic bases, for instance amines (for example triethanolamine), mineral acids, for instance hydrochloric acid, and organic acids, for instance citric acid.

XXI) Preserving agents and especially any preserving agent usually used in cosmetics, in particular phenoxyethanol, para-hydroxybenzoic acid esters, also known as Parabens, for instance methyl para-hydroxybenzoate (methylparaben), ethyl para-hydroxybenzoate (ethylparaben) and propyl para-hydroxybenzoate (propylparaben) and mixtures thereof; formaldehyde-releasing agents, for instance imidazolidinylurea or diazolidinylurea; haloalkynyl carbamates, for instance 3-iodo-2-propynyl butyl carbamate (IPBC); caprylyl glycol, also known as 1,2-octanediol; sodium benzoate; N-(3-chloroallyl)-hexaminium chloride (or Quaternium-15); polyhexamethylene biguanide hydrochloride (CTFA name: polyaminopropyl biguanide); alkyltrimethylammonium bromides, for instance dodecyltrimethylammonium

bromide, myristyltrimethylammonium bromide and hexadecyltrimethylammonium bromide, and mixtures thereof. These preserving agents may especially be in the aqueous composition.

The compounds mentioned above may be present in the final product in the usual amounts in the field under consideration, these amounts depending on the compound used and the desired aim. The compounds may be present, for example, in an amount ranging from 0.001% to 20% by weight and better still from 0.01% to 10% by weight relative to the weight of final product. According to the desired aim and the compound used, the compounds are present in one or more films or in the aqueous composition.

According to one particular embodiment of the invention, at least one film contains at least one compound chosen from compounds that are sensitive to an external stimulus, keratolytic agents, fillers and tensioning agents, and mixtures thereof.

The kit according to the invention may be used especially to obtain products intended to be applied to the skin, mucous membranes, the integuments or the hair, especially such as skincare products or as skin makeup products or as hair products or as antisen products.

The examples below of compositions according to the invention are given as non-limiting

illustrations. The amounts therein are given as weight percentages, unless otherwise mentioned, and the names are given as the chemical name or as the CTFA name, depending on the case.

Example 1: Kit for an antiwrinkle product

Anhydrous film

Hydroxypropymethylcellulose	10	%
Glycerol	5	%
Panthenol	2	%
Adenosine	0.15	%
Purified water	50	%

Procedure for preparing the film: the ingredients are all mixed together. The mixture is applied to a silicone paper using standard roller or doctor-blade coating techniques, to a thickness of about 500 μm . After drying in a tunnel with circulating hot air at a temperature of about 50°C, the film obtained is cut into the desired shape, for example into the form of square plates with a side length of 25 mm.

Aqueous composition (serum)

Phase A

Xanthan gum	0.2	%
Methyl paraben	0.2	%
Phenoxyethanol	0.35	
Water	qs	100 %

Phase B

Triethanolamine	0.2 %
Polyacrylamide/C13-C14 isoparaffin/laureth-7 (Sepigel 305)	1 %
Diazolidinylurea	0.3 %
Glycerol	7 %

Procedure for preparing the serum: phase A is heated to about 75°C, with stirring, and phase B is then added to phase A. Next, the heating is stopped while continuing the stirring, until the mixture has cooled to room temperature. Gentle stirring is then continued for 30 minutes.

During use, the consumer mixes in the palm of her hand, with the fingers, one or more plates of anhydrous film with a dose of between 100 and 500 mg of the aqueous composition for about ten seconds. She gently massages the area to be treated so as to promote the spreading of the composition thus obtained onto the skin and the penetration of active agents it contains into the skin. The composition obtained may be applied to the face or the body, especially to the face for treating the wrinkles and fine lines of crowsfeet.

Example 2: Kit for an anti-ageing productAnhydrous film

Polyvinylpyrrolidone	83	%
Ascorbic acid	7	%
PEG-400	10	%

Procedure: the ingredients are all mixed together. The mixture is applied to a silicone paper using standard roller or doctor-blade coating techniques, to a thickness of about 500 µm. After drying in a tunnel with circulating hot air at a temperature of about 50°C, the film obtained is cut into the desired shape, for example into the form of square plates with a side length of 25 mm.

Aqueous composition (O/W emulsion)*Phase A (aqueous phase)*

Xanthan gum		0.25%
Preserving agent		0.3 %
Water	qs	100 %

Phase B (oily phase)

Shea butter		2 %
Methylglucose sesquistearate		2 %
PEG-20 methylglucose sesquistearate		2 %
Apricot kernel oil		6 %
Stearyl fatty alcohol		2 %

Phase C

Polyacrylamine/C13-C14 isoparaffin/laureth-7

(Sepigel 305)	1 %
Preserving agent	0.35%
Volatile silicone oil	10 %

Procedure: phase A is heated to about 75°C, with stirring, and phase B is then added to phase A with very vigorous stirring. Next, the heating is stopped while continuing the stirring, until the mixture has returned to room temperature. Phase C is then added. Gentle stirring is then continued for 30 minutes.

During use, the consumer mixes in the palm of her hand, with the fingers, one or more plates of anhydrous film with a dose of between 100 and 500 mg of the aqueous composition, for about 10 seconds. She gently massages the area to be treated so as to promote the spreading of the composition thus obtained onto the skin, and the penetration of the active agents it contains into the skin. The composition obtained may be applied to the face or the body, especially for preventing or treating the signs of ageing.

Example 3: Kit of product for greasy skinAnhydrous film

Hydroxypropylmethylcellulose	68 %
Glycerol	16 %
Silica (Sunsphere H33 from the company Ashai Glass)	16 %

Procedure: The ingredients are all mixed together. The mixture is applied to a silicone paper using standard roller or doctor-blade coating techniques, to a thickness of about 500 μm . After drying in a tunnel with circulating hot air at a temperature of about 50°C, the film obtained is cut into the desired shape, for example into the form of square plates with a side length of 25 mm.

Aqueous composition (O/W emulsion)

Phase A (oily phase)

Glyceryl stearate		1.35%
Dimyristyl tartrate/cetearyl alcohol/12-15		
Pareth 7/PEG-25 laureth 25 (Cosmacol PSE from the company Sasol)		2 %
PEG-400 stearate		2.7 %
Isohexadecane		2 %
Stearyl alcohol		1.3 %
Vitamin E		0.1 %
Preserving agent		0.6 %

Phase B (aqueous phase)

Water	qs	100 %
Potassium hydroxide		1.5 %
Preserving agent		0.25%
Ammonium polyacryloyldimethyltaurate (Hostacerin AMPS)		0.5 %

Phase C

Volatile silicone oil 6 %

Procedure: phase A and phase B are separately heated to about 75°C, with stirring, and phase A is then added to phase B with very vigorous stirring. Next, the heating is stopped while continuing the stirring, until the mixture has cooled to room temperature. Phase C is added. Gentle stirring is then continued for 30 minutes.

During use, the consumer mixes in the palm of her hand, with the fingers, one or more plates of anhydrous films with a dose of between 100 and 500 mg of the aqueous composition, for about 10 seconds. She gently massages the area to be treated so as to promote the spreading of the composition thus obtained onto the skin, and the penetration of the active agents it contains into the skin. The composition obtained may especially be applied to the face, where it gives an immediate matting effect.

Example 4: Care creamAnhydrous film

Hydroxypropylmethylcellulose	60	%
Glycerol	30	%
Propylene glycol	10	%

Procedure: the ingredients are all mixed together. The mixture is applied to a silicone paper using standard roller or doctor-blade coating techniques, to a

thickness of about 500 μm . After drying in a tunnel with circulating hot air at a temperature of about 50°C, the film obtained is cut into the desired shape, for example into the form of square plates with a side length of 25 mm.

Aqueous composition:

Phase A

Xanthan gum		0.2 %
Methyl paraben		0.2 %
Phenoxyethanol		0.35%
Water	qs	100 %

Phase B

Triethanolamine		0.2 %
Polyacrylamide/C13-C14 isoparaffin/laureth-7 (Sepigel 305)		1 %
Diazolidinylurea		0.3 %
Glycerol		7 %

Procedure: phase A is heated to about 75°C, with stirring, and phase B is then added to phase A. Next, the heating is stopped, while continuing the stirring until the mixture has cooled to room temperature. Gentle stirring is then continued for 30 minutes.

During use, the consumer mixes in the palm of her hand, with the fingers, one or more plates of anhydrous film with a dose of between 100 and 500 mg of the aqueous composition for about 10 seconds. She

gently massages the area to be treated so as to promote the spreading of the composition thus obtained onto the skin. The composition obtained is a thick cream that has very good application properties.

This cream may be applied to the face or the body.

Example 5: Massage cream

Anhydrous film

Hydroxypropylmethylcellulose	40	%
Serad FX1100	20	%
Glycerol	30	%
Propylene glycol	10	%

Procedure: the ingredients are all mixed together. The mixture is applied to a silicone paper using standard roller or doctor-blade coating techniques, to a thickness of about 500 μm . After drying in a tunnel with circulating hot air at a temperature of about 50°C, the film obtained is cut into the desired shape, for example into the form of square plates with a side length of 25 mm.

Aqueous composition:

Phase A

Xanthan gum		0.2	%
Methyl paraben		0.2	%
Phenoxyethanol		0.35	%
Water	qs	100	%

Phase B

Triethanolamine	0.2 %
Polyacrylamide/C13-C14 isoparaffin/laureth-7 (Sepigel 305)	1 %
Glycerol	7 %

Procedure: phase A is heated to about 75°C, with stirring, and phase B is then added to phase A. Next, the heating is stopped, while continuing the stirring until the mixture has cooled to room temperature. Gentle stirring is then continued for 30 minutes.

During use, the consumer mixes in the palm of her hand, with the fingers, one or more plates of anhydrous film with a dose of between 100 and 500 mg of the aqueous composition for about 10 seconds. She gently massages the area to be treated so as to promote the spreading of the composition thus obtained onto the skin. The composition obtained is a cream that has the typical thickening rheological characteristics associated with the polymer Serad FX. The advantage is the control of the amounts applied and of the massage qualities.

This cream may be applied to the face or to the body for a relaxing massage.

CLAIMS

1. Kit for formulating a cosmetic product, comprising (1) an aqueous composition containing at least one fatty substance and (2) at least one water-soluble anhydrous film comprising at least one compound that is capable of modifying the aqueous composition.

2. Kit for formulating a cosmetic product, comprising:

- i) an aqueous composition; and
- ii) at least one water-soluble anhydrous film comprising at least one compound which, for reasons of stability, can only be mixed with the composition extemporaneously in order to form the said cosmetic product.

3. Kit for formulating a cosmetic product, comprising:

- i) an aqueous composition;
- ii) at least one first water-soluble anhydrous film; and
- iii) at least one second water-soluble anhydrous film, the second film being different from the first, with regard to the concentration and/or the nature of at least one compound it contains.

4. Kit for the customized formulation of a cosmetic product, comprising:

- i) an aqueous composition;

- ii) a plurality of identical or different water-soluble anhydrous films, intended to be mixed with the aqueous composition to form the said cosmetic product, and
- iii) instructions for custom-formulating the said cosmetic product as a function of the number of identical or different water-soluble anhydrous films to be mixed with the composition.

5. Kit according to any one of Claims 1 to 4, characterized in that the film is formed from at least one water-soluble or water-dispersible polymer.

6. Kit according to the preceding claim, characterized in that the polymer is chosen from polymers of protein type; chitin-based or chitosan-based polymers; polysaccharide polymers; acrylic polymers or copolymers; vinyl polymers; polymers of natural origin; and mixtures thereof.

7. Kit according to any one of the preceding claims, characterized in that the film has a thickness of from 10 μm to 1000 μm and preferably from 20 to 500 μm .

8. Kit according to any one of the preceding claims, characterized in that the film contains less than 10% water.

9. Kit according to any one of Claims 5 to 8, characterized in that the amount of polymer ranges

from 5% to 100% by weight relative to the total weight of the film.

10. Kit according to any one of the preceding claims, characterized in that the film comprises one or more plasticizers.

11. Kit according to any one of Claims 2 to 10, characterized in that the aqueous composition contains, besides water, at least one fatty substance.

12. Kit according to any one of the preceding claims, characterized in that the aqueous composition is in the form of an emulsion comprising an aqueous phase and an oily phase dispersed in each other.

13. Kit according to any one of the preceding claims, characterized in that the compound of the film(s) is chosen from cosmetic active agents and formulation adjuvants, and mixtures thereof.

14. Kit according to any one of the preceding claims, characterized in that the aqueous composition contains one or more compounds chosen from cosmetic active agents and formulation adjuvants, and mixtures thereof.

15. Kit according to either of Claims 13 and 14, characterized in that the compounds are chosen from moisturizing active agents, anti-seborrhoeic agents, anti-ageing active agents, antimicrobial active agents, anti-inflammatory or calmative active agents, lipolytic

or slimming active agents, fillers, sunscreens, skin-colouring or hair-colouring agents, concealing active agents, antiperspirant active agents, deodorant active agents, hair-treating active agents, hair-removing agents, pigments, dyes, polymers, fragrances, electrolytes, pH adjusters and preserving agents, and mixtures thereof.

16. Kit according to any one of the preceding claims, characterized in that at least one film contains at least one compound chosen from compounds that are sensitive to an external stimulus, keratolytic agents, fillers and tensioning agents, and mixtures thereof.

17. Process for formulating a cosmetic product, which consists in:

- a) determining at least one characteristic of the cosmetic product to be formulated, the characteristic being due to at least one compound present either in a plurality of identical water-soluble anhydrous films, or in a plurality of water-soluble anhydrous films that are different from each other, especially as regards the concentration and/or the nature of at least one compound they contain; and
- b) adding to an aqueous composition a number of the said identical or different films, the said number depending on the said characteristic of the

cosmetic product to be formulated.

18. Process for modifying the rheology, colour and/or fragrance characteristics of an aqueous composition for the purpose of formulating a cosmetic product, which consists in adding to an aqueous composition one or more water-soluble anhydrous films containing one or more compounds capable of modifying the rheology, the colour and/or the fragrance of an aqueous composition.

1. Abstract

The present invention relates to a kit for formulating a cosmetic product, comprising (1) an aqueous composition containing at least one fatty substance, and, (2) at least one water-soluble anhydrous film comprising at least one compound capable of modifying the aqueous composition, the aqueous composition and the film(s) being mixed together extemporaneously to form the said cosmetic product.

The invention also relates to a kit for formulating a cosmetic product, comprising:

- i) an aqueous composition;
- ii) at least one first water-soluble anhydrous film;
- and
- iii) at least one second water-soluble anhydrous film, the second film being different from the first, as regards the concentration and/or the nature of at least one compound it contains.

The anhydrous films and the aqueous composition are intended to be mixed together extemporaneously to form a product that may especially be a makeup or care product for the skin, mucous membranes, the integuments or the hair.

2. Representative Drawing

None